

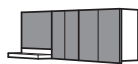


TOTO

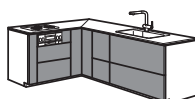
総合組立・設置説明書

システムキッチン ザ・クラッソ THE CRASSO

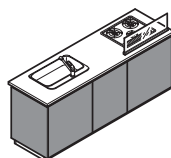
I型



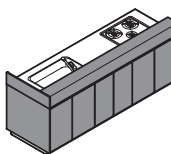
L型



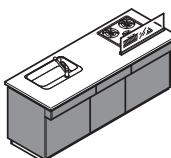
スリム対面・フラット型 D750



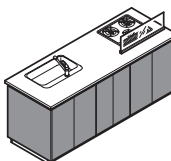
スリム対面・収納充実型 D850



フラット対面型 D970 1段引き出しタイプ



フラット対面型 D970 開き扉タイプ



- 本書を必ずお読みのうえ、正しく取り付けてください。
- 本書では基本となる部材の組立・設置方法を説明しています。
- 本書と併せて、各部材に付属の組立・設置説明書やチラシをご確認のうえ、正しく取り付けてください。
- 取り付け完了後には、試運転および各部の検査を行い異常のないことを確認してください。
- 総合取扱説明書および各種取扱説明書・保証書は付属の保管袋に入れてシンクキャビネット内に保管してお客様にお引き渡ししてください。

もくじ

ページ

安全上のご注意 3

1. 取り付け前の作業 5

1. 部材の確認.....5
2. 設置場所の確認.....5
3. 基準線の墨出し.....5
4. キッチンパネルの取り付け.....6
5. 取り付け前に外す部材.....6
6. 配管用加工.....8

2. ユニットの取り付け 10

- 基本取り付け要領..... 10
- I型..... 16
- L型..... 17
- クリアパーティションプランの注意..... 19
- スリム対面・フラット型／D750..... 20
- スリム対面・収納充実型／D850..... 23
- フラット対面型／D970 1段引き出しタイプ.. 28
- フラット対面型／D970 開き扉タイプ.... 31
(レイアウトにより組立・設置手順が異なります)
- 周辺ユニット..... 33

3. 部材の取り付け 35

1. けこみパネル..... 35
2. 天井フィラー..... 36
3. エンドパネル..... 37
4. キャビネット内の部材..... 38
(排水金具ガード・浄水器カートリッジホルダー・
ラクラクボックス・ガス配管保護カバー・その他)
5. 排水金具・水栓金具・機器類・その他.... 40
6. 取っ手..... 40

4. 着脱と調整 41

1. 扉..... 41
2. 引き出し..... 41
3. カウンター上下調整(コンロ用キャビネット).... 44
4. キャッチ機構..... 44

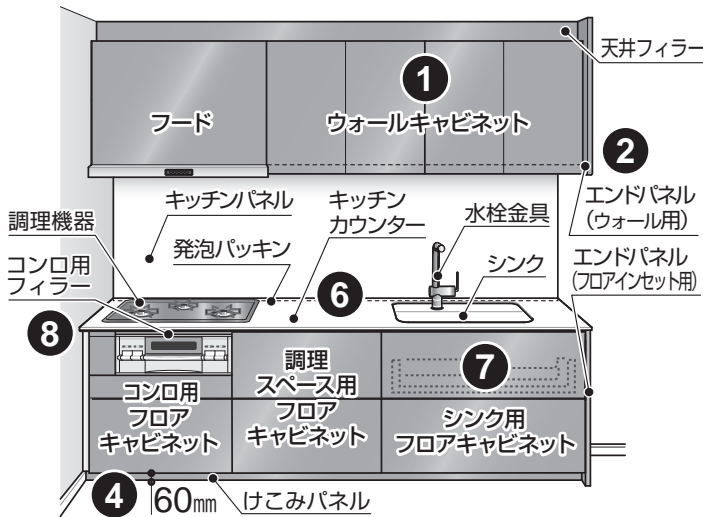
5. コーキング処理 45

6. 清掃・検査・養生 47

総合組立・設置説明書

THE CRASSO 特長と注意点

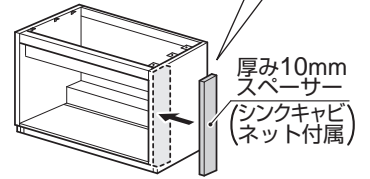
[単位: mm]



POINT 5 シンク側に横壁がある場合

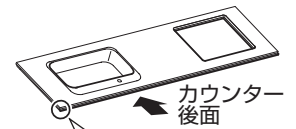
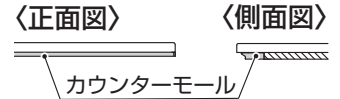
- スペース付きシンクキャビネット付属のスペースを必ず取り付けてください。▶ P11

レイアウト端のキャビネットに取り付ける。



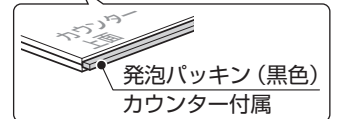
POINT 6 キッチンカウンター(奥行648mm)

- バックガードや水返しのないフラットな形状です。前面下部にはアルミ製のモールがついています。
- カウンター後面に発泡パッキンを必ず取り付けます。▶ P13

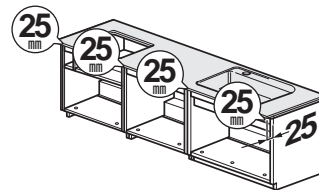


重要

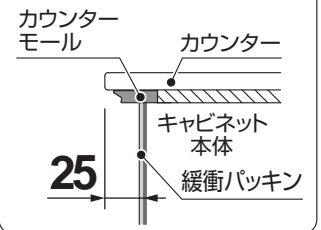
必ず発泡パッキンを取り付ける



- フロアキャビネット側板前面とカウンター前面を均一(25mm)にします。

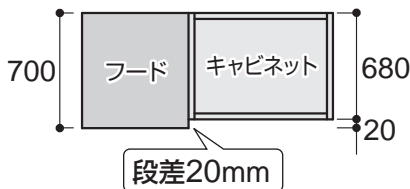


【共通側面図】



POINT 1 ウォールキャビネット

フードの取り合い
(ミドルウォールの場合)



キャビネット底板より扉がでてきます。

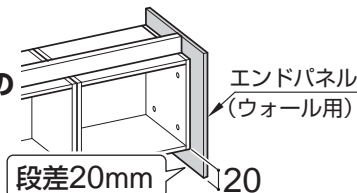
重要

必ず上下を確認して取り付ける
キャビネットは上下の方向性があります。

POINT 2

エンドパネル(ウォール用)の設置位置

▶ P37



POINT 3 キャビネット色

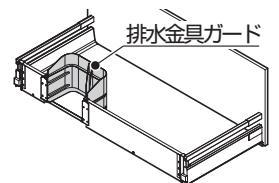
- ホホワイト・ダークグレーの2色あります。

POINT 4 けこみ

- けこみ高さはカウンター高さに関わらず**60mm**です。巾木との干渉に注意してください。
- けこみ部は**けこみパネル**を取り付けます。▶ P35

POINT 7 排水金具ガード

- 引き出しタイプのシンク用フロアキャビネットは、引き出しの背板を加工し、排水金具ガードを取り付けます。▶ P38



POINT 8 コンロ用フィルター

- カウンターと調理機器の間に補強さんとコンロ用フィルターを取り付けます。



▶ P12 補強さんとコンロ用フィルター固定金具の取り付け

● カウンターとフロアキャビネット

キッチンカウンター[D=650]	
〈 〉はI型スリムキッチンカウンター[D=600]	
カウンター奥行	648(598)※
キャビネット奥行	625(575)
けこみ奥行	570(520)
※発泡パッキンを含めた呼び寸法650(600)	
フロアキャビネット高さ(A)	
カウンター高800(U)	779
カウンター高850(N)	829
カウンター高900(H)	879

● キッチン用ウォールキャビネット

※ h=扉高さ
H=キャビネット高さ

ウォール高さ(h/H)	
ショート	500/480
セミミドル	600/580
ミドル	700/680

安全上のご注意

取り付け前に、この安全上のご注意をよくお読みのうえ、正しく取り付けください。
この説明書ではシステムキッチンを安全に正しく取り付けいただき、使用者や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、次のような表示をしています。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。



この記号は、してはいけない「**禁止**」内容です。

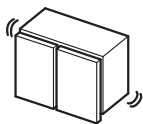


この記号は、必ず実行していただく「**強制**」内容です。

警告

ウォールキャビネットは、建築壁の構造を確かめて
付属の指定の壁固定ねじで確実に取り付ける
また、締めすぎて空回りしないことを確認する

取り付けを誤ると、使用中に取付ねじが
ゆるみウォールキャビネットが落下して、
けがをするおそれがあります。



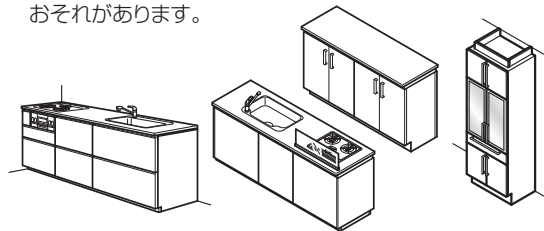
※壁固定部には木さん(90mm×30mm)、耐荷重1960 N/m
(200kg f/m)が必要です。合板を使用する場合は必ず
厚みが12mm以上のJAS規格品を使用してください。
※電動昇降ウォールの場合には必ず木さん(90mm×30mm)
を使用してください。

ウォールキャビネット裏面が露出する場合は必ず
裏面処理を行う

キャビネットが吸湿することにより、キャビネットの強度が低下し、
落下してけがをするおそれがあります。

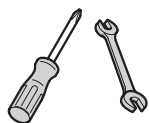
- ・フロアキャビネット、トールキャビネット(収納ユニット)は必ず壁面に固定する
- ・対面型(フラット対面・間仕切り仕様など)は必ず付属のねじで床固定する

※床暖房の場合は、ねじ固定しないで接着剤で床固定する。
その際使用するエポキシ系接着剤の説明書に従い、接着面の
処理(サンディングやプライマー塗布等)を行う。
取り付けを誤ると使用中にキャビネットが転倒してけがをする
おそれがあります。



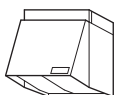
水道・ガス・電気工事は、
関連する法令・規定に従って
必ず「有資格者・指定業者」が行う

火災・感電・水漏れ・ガス漏れの
原因となります。



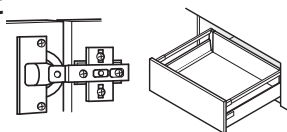
キッチンに組み込まれている水栓・調理機器・フード・
その他機器については、それぞれの商品の組立・
設置説明書および本体の注意表示を必ず確認し、
正しい取り付けを行う

取り付けを誤ると、思わぬ事故や故障の
原因となります。



取り付け完了後は、扉や引き出しの傾き・がたつき・
丁番のゆるみがないこと
を必ず確認する

扉の取り付けに異常があると、
使用中に落下してけがをする
おそれがあります。



作業を行うときは、必ず保護手袋をする
(特にステンレスカウンターやシンク、
機器などの金属製品およびキッチン
パネルを取り扱うときは注意する)

切断面に触れるとけがをするおそれがあります。



必ず実行

有機溶剤(シンナー・アセトンなど)は使用しない
変色・変質の原因になります。

取り付け・仕上げに使われる接着剤・洗剤・その他
薬品類については、容器などに記載の注意表示に
従って正しく使用する

誤った使い方をすると、人体に影響が出たり
キッチン部材の損傷や劣化の原因となります。



禁止

組立・設置説明書に記載されている内容以外で
製品の現場加工や改造(梁欠き加工・丁番やレールの
位置ずらしなど)をしない

キャビネットや扉、引き出しが落下しけがをするおそれがあります。

注意

集合住宅等の高圧洗浄が行われる現場は、ジャバラの
排水管は使用しないで偏心対応排水キットまたは直管
(現場手配)にて接続する

排水管が破損し、漏水の原因となります。



必ず実行

現場カット後の端面は、必ずバリ取り処理を行うこと
けがをするおそれがあります。

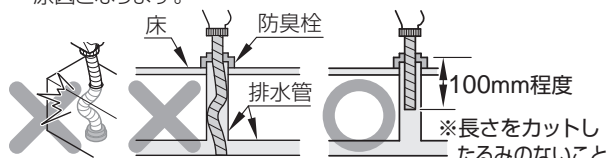
ジャバラの排水管で接続する場合は

- ・U字型に曲げたり、たるんだ状態で取り付けない
- ・長いまま排水管に差し込み、横管に当たる状態
で取り付けない

排水能力の低下、および防臭栓部から水があふれて、床を汚す
原因となります。



禁止



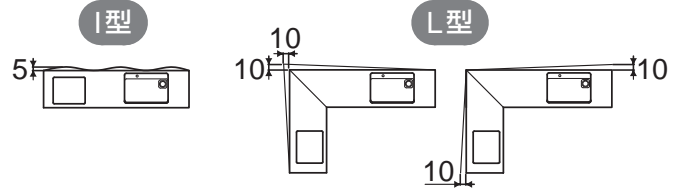
■ 事前建築工事

⚠️ 注意

- ・壁固定部には施工図に従って木さん(90mm×30mm)、耐荷重1960N/m (200kgf/m)が必要、合板を使用する場合は必ず厚みが12mm以上のJAS規格品を使用する
- ・キッチンユニットは1キャビネットあたり200kg程度の重量があるため、全長に合わせた総重量でも、たわみ・沈みの起こらない床構造および強度にする
床強度が弱いと床のたわみ・沈みが生じ、不具合の原因になります。

キッチン取り付け壁面の水平・垂直、コーナーの直角等の精度が出ていること

壁面の平面度およびL型時の直角度の精度により、建築躯体、壁面への被水、汚損などが生じるおそれがあります。カウンター止水パッキン(発泡パッキン)を確実につぶすために平面度は5mm、L型の直角度は10mm以内におさえてください。

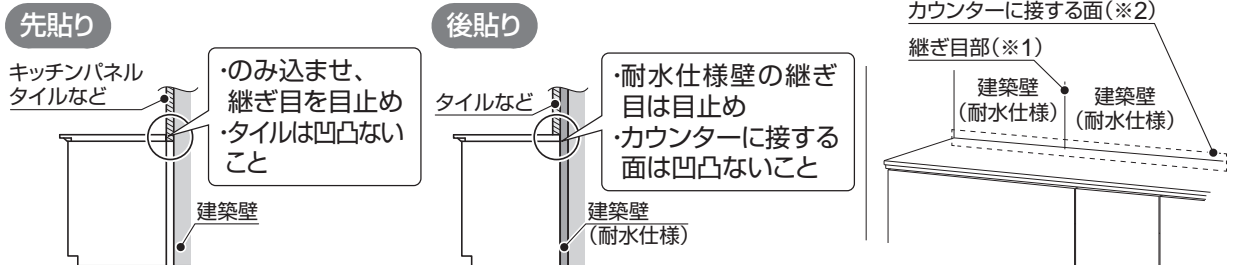


必ず実行

カウンター取付壁面は耐水性を有する仕様とする

継ぎ目部(※1)にも防水のため目止めを行ってください。また、カウンターに接する面(※2)は凹凸がないようにしてください。カウンター周辺からの吸水による、躯体への被水の原因となります。床から750~950mmの高さ範囲で、吸水防止のための目止めを行ってください。

【耐水性を有する仕様例】



■ システムキッチンの工事区分

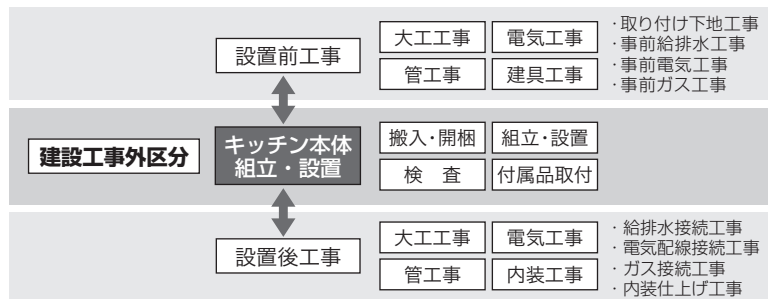
⚠️ 警告

流通業者様(販売店様等)を通して本体の組立・設置を行う場合は、「建設工事部分」と「システムキッチン本体の組立・設置」を区別して行う



必ず実行

建設工事は、関連する法令・規定に従って法的有資格者による工事が必要になります。



システムキッチン本体工事区分(※新築の場合を想定)

工程	作業名称(区分)	建設業区分			建設業外		作業内容
		大工事業	管事業	電気事業	ガス設備	キッチン取付	
設置前工事	外壁の開口工事	○	○				レンジフードの換気扇用又はダクト用の建築壁への穴あけ工事
	建築壁の下地処理工事	○					キャビネット等の取り付けのための壁下地処理工事
	排気ダクトの関連工事		○	○			建築物の事前ダクト配管等の工事
	各機器の電源・アース工事(レンジフード・調理機器・食洗機・照明等)			○			所定位置への電源ケーブル・アース・コンセント工事
	排水配管の立ち上げ工事		○				所定位置への排水管の立ち上げ工事
	給水・給湯配管の立ち上げ工事		○				所定位置への配管の立ち上げ工事
キッチン本体組立・設置	ガス調理機器のガス配管				□		ガス機器用の事前ガス配管工事
	キッチンパネルの取り付け					□	製品を加工して建築下地への取り付け
	製品間のシリコン充てん					□	製品間のすき間を仕上げ処理作業
	レンジフードの取り付け					□	本体および化粧パネルを取り付ける作業
	ウォールキャビネットの取り付け					□	所定の建築仕上げ壁へ取り付ける作業
	フロアキャビネット・カウンターの取り付け					□	フロアキャビネット・カウンターの組み立て・調整して設置する作業
	キッチン排水部品の組み立て					□	シンクへの排水部品の取り付け
	水栓の組み立て・カウンターの取り付け					□	水栓、浄水器同梱部材の組み立て(カウンターへの取り付け)
ビルトイン機器の取り付け					□	ビルトイン機器のキッチン本体への組込作業	
設置後工事	電気配線器具の取り付け			○			スイッチ、コンセント等の電気配線工事
	レンジフードとダクトの接続工事		○				建築ダクトとレンジフードの接続、検査
	各機器への電源接続工事			○			各機器への電源ケーブル、アースの接続工事
	ガス調理機器のガス管接続				□		ガス機器とガス配管の配管接続工事
	給水・給湯配管と水栓の接続		○				給水・給湯の一次側と水栓の接続、検査
建築側排水管への接続工事		○				建築排水管との接続、検査	

1. 取り付け前の作業

[単位: mm]

1 部材の確認

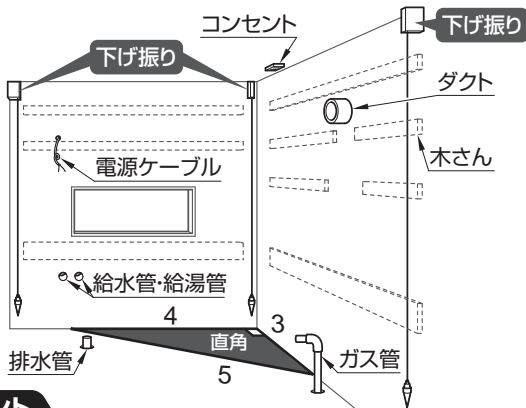
- 荷受けした商品の品番・数量(送り状参照)を確認する
- 開梱前: 包装材など外観に破損がないことを確認する
- 開梱後: 商品に傷・破損がないことを確認する

ポイント

開梱前: 包装材など外観に破損がないこと
開梱後: 商品に傷・破損がないこと

2 設置場所の確認

- 床・壁・天井の直角な交差と水平・垂直を確認する
※ 下げ振り・水準器・水盛管など使用
- 施工図面通りに、下地・木さん・給排水管・コンセント・電源ケーブル・ガス管・ダクトなどの工事が完了していることを確認する
※ 修正が必要なものは、修正工事依頼をすること



ポイント

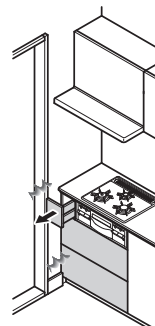
L型の場合、現場では3:4:5にて直角度を出してください

重要

調理器具・レンジフード・レンジフード用ダクトは取り付け面の不燃指定や可燃物との離隔距離が火災予防条例で定められています。

※ 詳しくは所轄の消防署で確認してください。

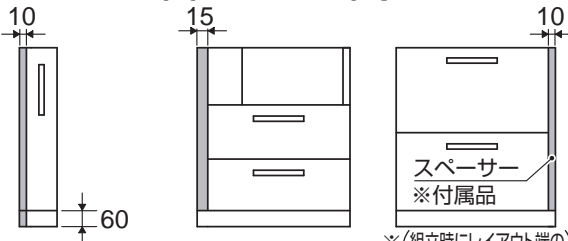
- 設置場所の寸法(間口・高さ)および床の仕上がりを確認する
※ 壁-壁間に設置する場合は、キッチン寸法+5mm以上あること
※ 床は仕上がっていること
- ドア枠・窓枠・巾木が引き出しやはね上げ式扉等と干渉しないことを確認する
※ レイアウト図で商品を確認し、枠や巾木と干渉しないことを確認すること



ポイント

横壁ありプラン用に、見切り対応キャビネットを品揃えしています

【調味料・升びんラック】 【コンロ用キャビネット】 【シンク用キャビネット】



※ (組立時にレイアウト端のキャビネットに取り付ける)

3 基準線の墨出し

水平・垂直基準線および設置高さ基準線の墨出し

- ① 水盛管やレーザー水準器などで水平点を決め、水平基準線に墨を打つ
- ② 床の一番高い所を基準に設置高さ墨を打つ
- ③ 下げ振りやレーザー水準器で壁面への垂直墨を打つ(同時に壁のタチを確認する)

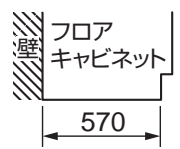
ポイント

L型の場合は壁の一番出ている所を基準にけこみ前面位置(570mm)で90°に墨を打つ
カウンターと扉前面の寸法がそろわなくなります。

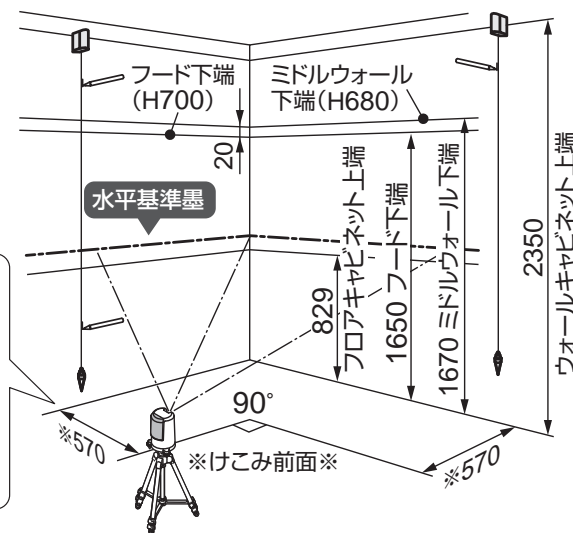
注意

水平・垂直を正確に出す
仕上がり不良や、引き出しおよびキャッチ機構などの作動不良の原因になり、けがをします。
必ず実行

- L型の場合
壁からけこみ前面位置に墨を打つ



(カウンター高850、ミドルウォール標準高さ設置の場合)



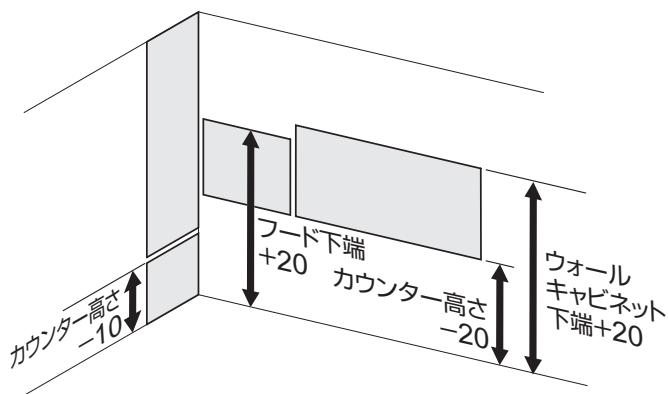
4 キッチンパネルの取り付け

レイアウト図面でキッチンパネルの取り付け面を確認し、下記例を参考に割り付けして取り付ける

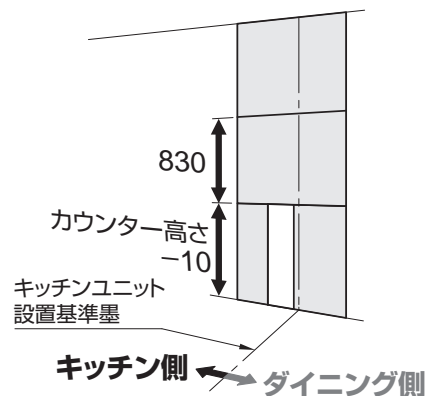
参照 キッチンパネル接着キット付属の説明書

【割り付け例】

I型



対面型



配管まわしキャビネット

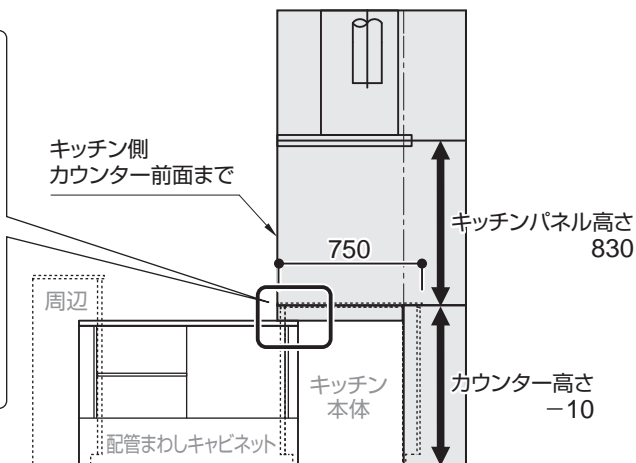
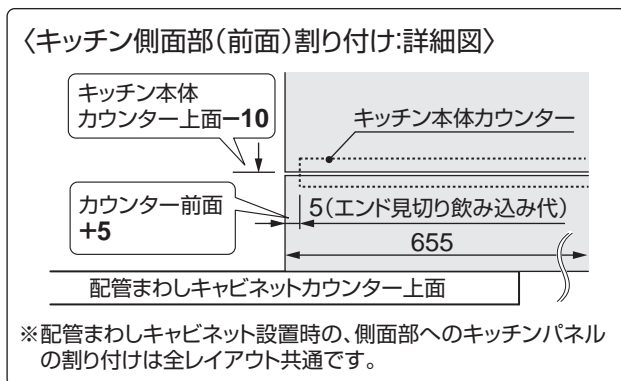
- 1 配管まわしキャビネットを設置する
- 2 キッチンパネルを取り付ける

参照 配管まわしキャビネット付属の説明書

ポイント

- ・配管まわしキャビネットがある場合は、キッチンパネルより先に取り付けを完了する
- ・キッチン側はカウンター前面までにおさめる

【例：スリム対面D750の場合のイメージ図】



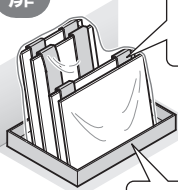
5 取り付け前に外す部材

1 扉・引き出しの取り外し

参照 P41～ 着脱と調整

【取り外した扉・引き出しの養生方法】

扉



扉と扉の間にダンボールを挟む

ダンボールを必ず敷く

引き出し



積み重ねて保管するときは互い違いにする

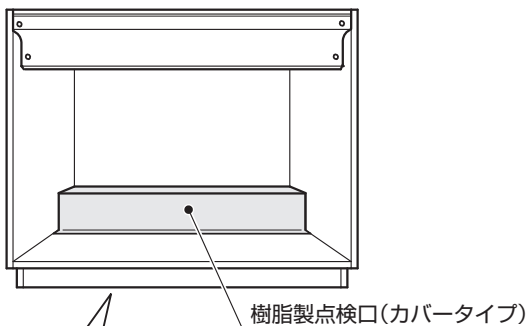
緩衝材(キャビネット包装材)を間に挟む

ダンボールを必ず敷く

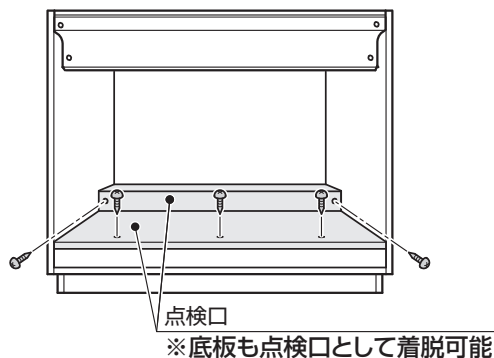
取り付け前に外す部材 (つづき)

2 シンク用キャビネット点検口の取り外し

引き出しタイプ

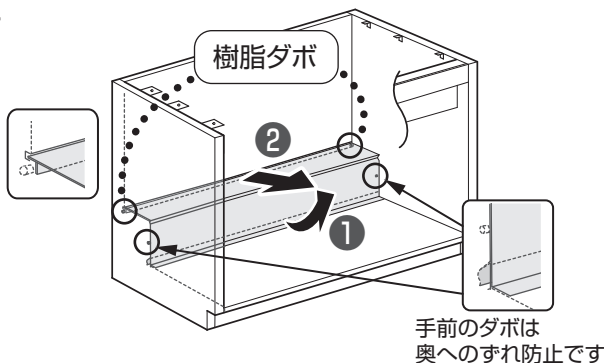


けこみ配管タイプ



裏板溝への差し込みと左右樹脂ダボで支えています

- ① 手前を上へ引き上げる
 - ② 裏板溝と奥のダボから外しながら、斜め上へ上げる
- ※ 取り付けは逆の手順です。
※ シンクキャビネット以外の配管スペース付キャビネットも同様の樹脂製点検口になります。(一部例外あり)

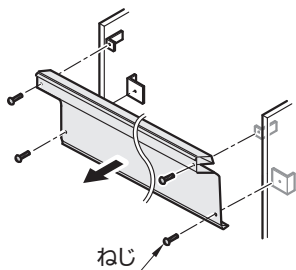


3 シンク用キャビネット幕板の取り外し(通常は取り外し不要)

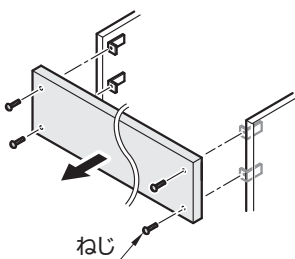
ねじを外し、幕板を取り外す

- ※ カウンターを設置する際に、必要に応じて実施してください。
取り付け時は、カウンターとのすき間がないよう固定してください。

樹脂製タイプ

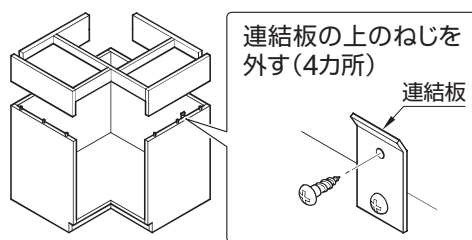


木製タイプ



4 L型コーナー用キャビネットの上下分割

- ※ 搬入口がせまい場合に、キャビネットを上下分割して搬入が可能です。(650×800のL型コーナーキャビネットは上下分割できません。)



※組み立ては逆の手順です。

配管スペース付キャビネット

※配管スペース高さ寸法(★)は カウンター高H/N:250、U:200

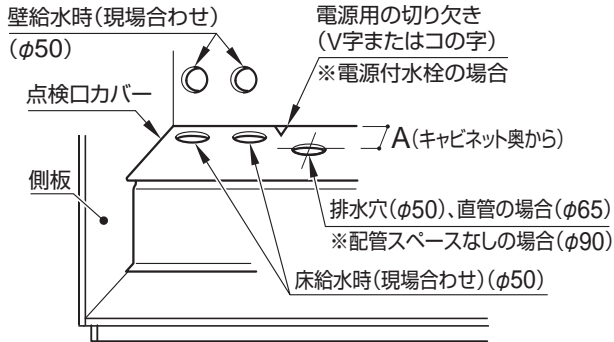
	樹脂製点検口(カバータイプ)	シンク用:オープン	シンク用:けこみ配管	コンロ用:裏板樹脂点検口タイプ	食器洗い乾燥機用
側面図					
備考	シンク用、コンロ用、その他配管スペース用	—	[]はI型スリムの場合	スリム対面・収納充実型プランの場合 他	※U:324、H:424 ※横引き配管の場合 内配管の取り合いに注意

6 配管用加工

1 取り付け前の作業

1 シンク用キャビネットの給水・給湯、排水用穴加工

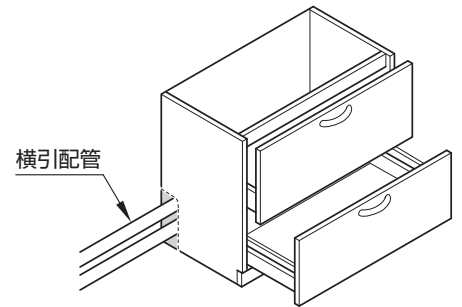
参照 水栓付属の施工説明書



	シンク形状	A 寸法
スクエアすべり台シンク		50mm
スペースアップシンク スマイルクリーンシンク		65mm (I型スリムは 50mm)

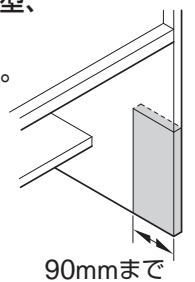
2 側板の切り欠き加工 (配管スペースありキャビネットのみ)

横引配管の場合は、配管が通るキャビネットの側板を切り欠く



ポイント

フラット対面型、スリム対面・フラット型、スリム対面・収納充実型の場合、90mm以上切り欠かないでください。床固定金具が取り付けられなくなります。



90mmまで

3 コンロ用キャビネットの加工

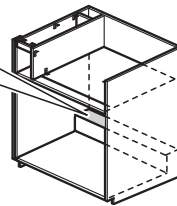
〈共通仕様〉着脱式天板、樹脂製点検口(カバータイプ)または裏板樹脂点検口タイプ

1. ガス調理機器の場合

① ガス配管用穴加工 (位置は施工図参照)

- ※ 壁配管時は、裏板にφ50の穴加工をしてください。
- ※ TOTO 製品以外の場合は、機器に付属の説明書を参照してください。

樹脂製点検口(カバータイプ)上部に穴加工し、ガス配管を立ち上げる



⚠ 注意



配管取り出し位置を守る

ガス配管の位置が下がると上段の収納物と接触してガス漏れのおそれがあります。

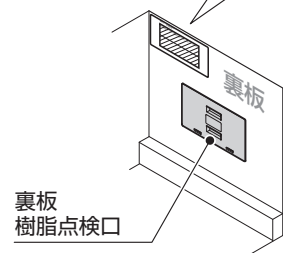
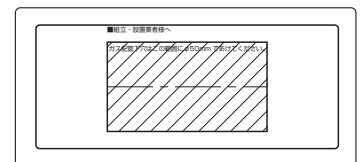
必ず実行



※ 2段引き出しの場合は、ガス配管保護カバーを取り付けます。

参照 P40 ガス配管保護カバー

【裏板樹脂点検口タイプの場合】シールの斜線範囲に取り出し用穴(φ50)をあける

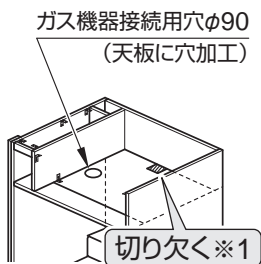


裏板
樹脂点検口

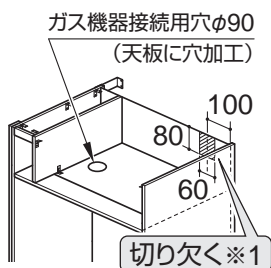
② 天板へのガス機器接続用穴加工 (位置は機器に合わせる)

※1の切り欠きは電源コード付ガス調理機器の場合

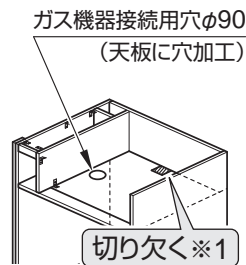
● D650用



【裏板樹脂点検口タイプの場合】



● I型スリム用

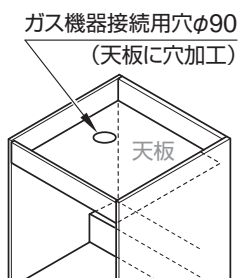


※1の電源コード用切り欠き加工
【裏板樹脂点検口タイプ以外の場合】

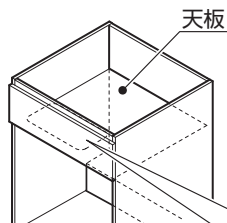
参照 2.IH調理機器の場合

- ① キャビネットの天板を外す
- ② 機器をセットし、電源コードの位置に合わせて天板を切り欠く

● D650 グリルレス用



● I型スリム グリルレス用

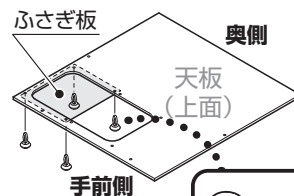


※ ガス調理機器の場合は、付属のシーリングプレートをご購入いただき、ガス配管加工穴部へ取り付けます。

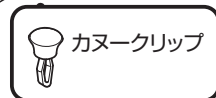
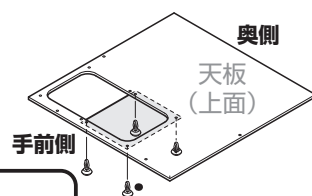
出荷時はふさぎ板の位置が右シンク用になっています。左シンクの場合は付け替えをしてください。

【右シンクの場合】

※出荷時の状態



【左シンクの場合】

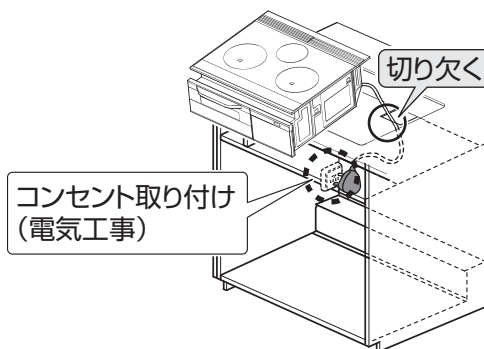


2.IH調理機器の場合

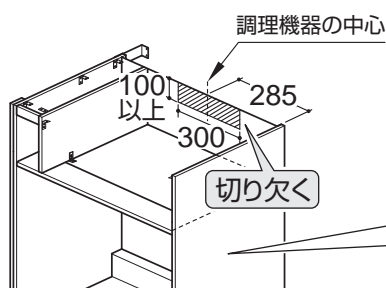
200V電源コード用切り欠き加工

- ① キャビネットの天板を外す
- ② 機器をセットし、電源コードの位置に合わせて天板を切り欠く

- ※ TOTO製品以外の場合は、機器に付属の説明書を参照してください。
- ※ コンセント位置は施工図および施工添付資料でご確認ください。
- ※ 電源コードを通す際は、カウンターに傷が付かないよう、カウンターを養生してください。



【裏板樹脂点検口タイプの場合】



以下の手順で外す

- ① 上にあげる
- ② 手前に引きながら下げる

※取り付けは逆の手順です。

2. ユニットの取り付け【基本取り付け要領】

レイアウト図面と見積書の部材No.を照合し、見積書品番と製品ラベル品番を確認のうえ取り付ける

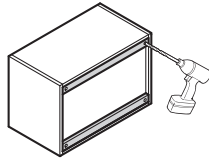
[単位: mm]

1 ウォールキャビネットの取り付け

〈事前準備 1: 下穴あけ・加工〉

背面から後横さんの下穴にあわせて裏板に穴をあける

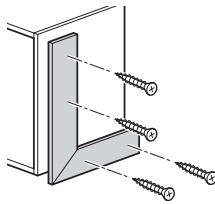
- ※ キャビネットの上下方向を確認する
- ※ キャビネット裏板には壁固定用穴があいていません。(一部穴あけ出荷しているものは除く)



● エンドスペーサーを取り付ける場合

事前に壁側設置キャビネットの側面に取り付ける

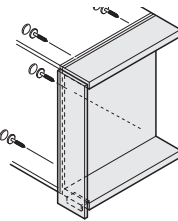
参照 エンドスペーサー付属の組立・設置説明書



● 間口調整フィラーを取り付ける場合

事前に壁側設置キャビネットの側面に取り付ける

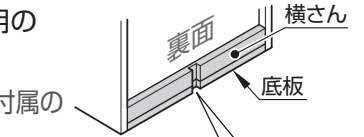
参照 間口調整フィラー付属の組立・設置説明書



● LEDスリムライトを取り付ける場合

電源ケーブル取り出し用の溝加工をする

参照 LEDスリムライト付属の組立・設置説明書

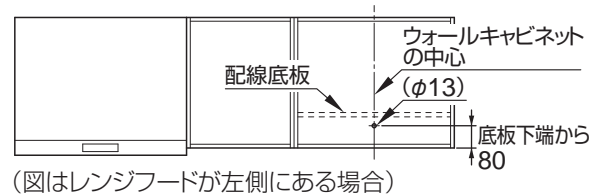


電源ケーブル用溝
(幅10mm、深さ7mm程度)

● 配線底板を取り付ける場合

背板に電源ケーブル引き込み用の穴をあける

参照 ワイドLED照明、配線底板付属の組立・設置説明書

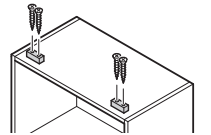


(図はレンジフードが左側にある場合)

● 天井フィラーを取り付ける場合

天板上面に受け木を取り付ける

参照 P36 天井フィラーの取り付け



2

ユニットの取り付け【基本取り付け要領】

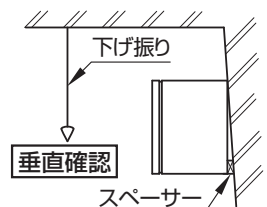
〈事前準備 2: 水平・垂直確認〉

ウォールキャビネットを取り付ける壁面に凹凸がある場合は、スペーサー(現場調達)などで調整し、ゆるみなく垂直に取り付ける

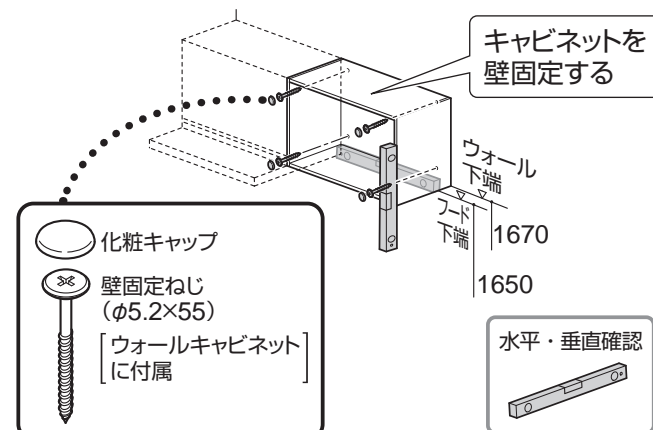
重要

必ず水平・垂直になるように、取り付ける

キャッチ機構の誤作動の原因や、キャビネットにゆがみが生じ、扉調整での対応ができなくなります。



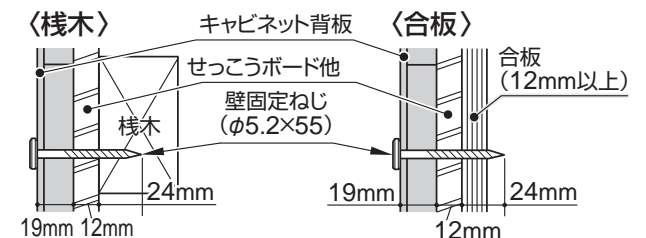
1 壁固定 (カウンター高さ850、ミドルウォール時)



重要

キャビネットには上下の方向性があるため必ず確認して取り付ける

【壁固定ねじ部断面図】



警告



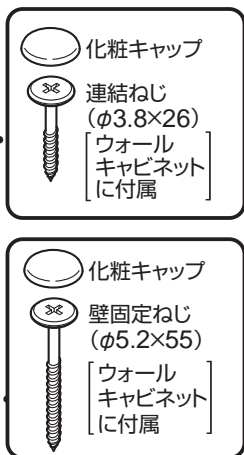
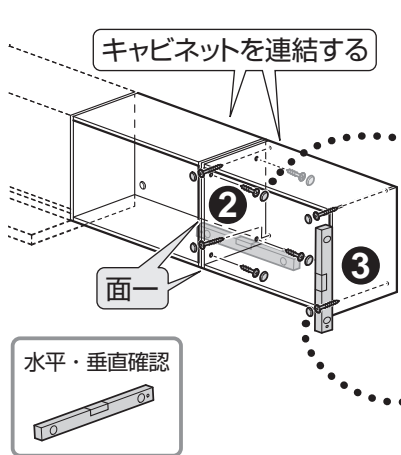
必ず実行

- ねじ止め部は壁とキャビネット裏面にすき間がないように取り付ける
- 製品付属の壁固定ねじでゆるみや浮き、締め過ぎによるねじの空転等のないように確実に取り付ける
使用中にウォールキャビネットが落下して、けがをすることがあります。

ウォールキャビネットの取り付け(つづき)

2 連結

3 連結したキャビネットの壁固定



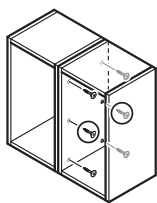
警告

- ねじ止め部は壁とキャビネット裏面にすき間がないように取り付ける
- 製品付属の壁固定ねじでゆるみや浮き、締め過ぎによるねじの空転等のないように確実に取り付ける

必ず実行

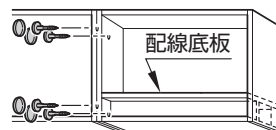
使用中にウォールキャビネットが落下して、けがをするおそれがあります。

●高さのあるキャビネットの場合
中段も連結する



●照明用配線底板を取り付ける場合
ねじの干渉を避けるため、
配線底板がない側から連結する

参照 配線底板付属の組立・設置説明書

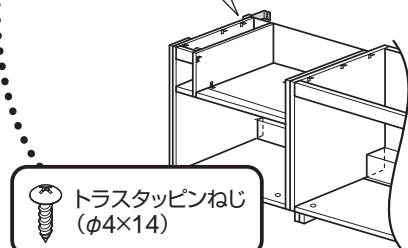
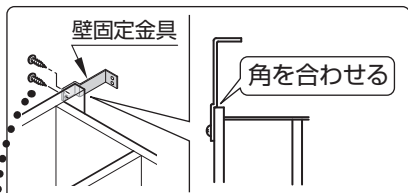


2 フロアキャビネットの取り付け

〈事前準備：下穴あけ・加工〉

各フロアキャビネットに下穴をあけ、固定金具を取り付ける

●壁固定金具を使用するタイプの
コンロキャビネットの場合

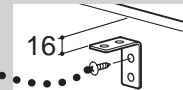
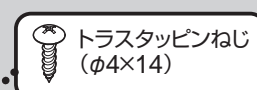
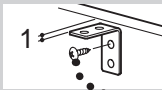


重要

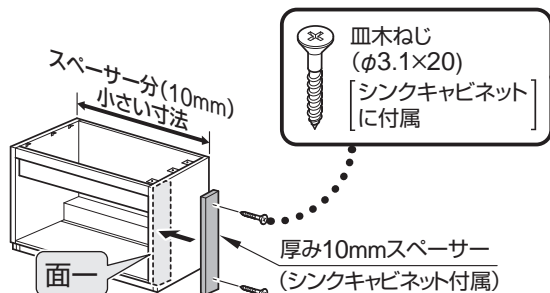
●ステンレススクエアすべり台シンクの場合

シンクの中心となる位置にカウンター固定用アングルを取り付ける
[シンクキャビネットに付属]
〈カウンター種類〉
ステンレス/ライトストーン/クリスタルの場合

コーリアンの場合



●シンク側横に壁がある場合
スペーサー付きシンクキャビネットを使用し、
付属のスペーサーを壁側に取り付ける



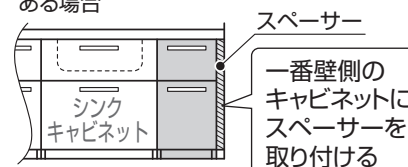
●オープンタイプの
シンクキャビネット
の場合

重要

スペーサーは一番端(壁側設置)キャビネットの
側面に取り付ける

※レイアウト図面を確認してください。

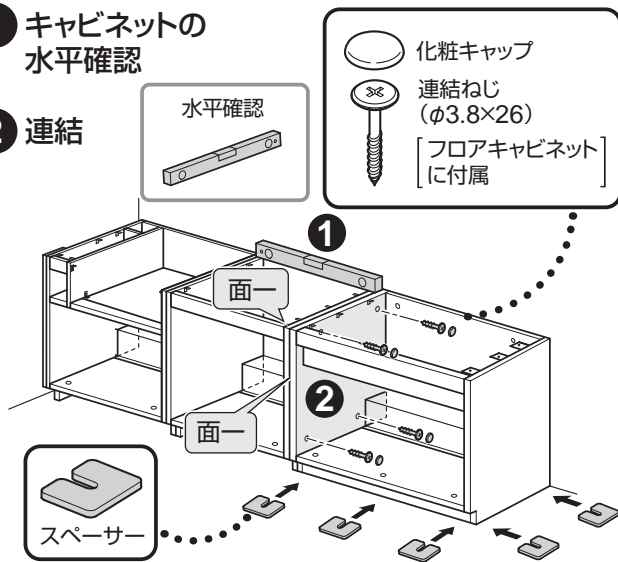
(例)シンクキャビネットと壁の間に他のキャビネットが
ある場合



フロアキャビネットの取り付け(つづき)

1 キャビネットの水平確認

2 連結



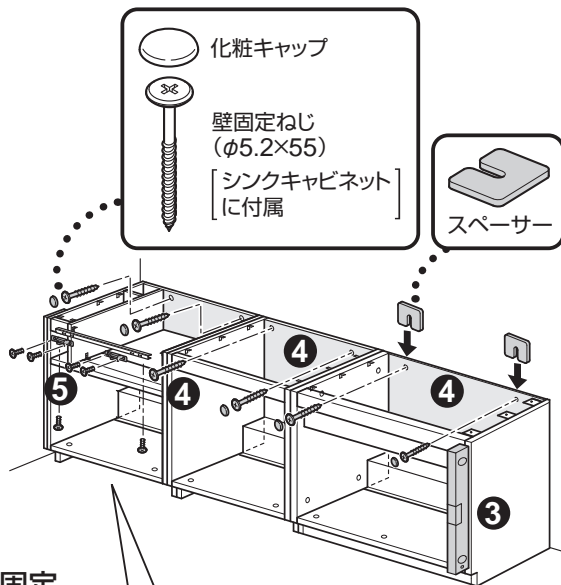
重要

キャビネットが水平・垂直になるように不陸調整用スペーサーを入れて調整する

3 キャビネットの垂直確認

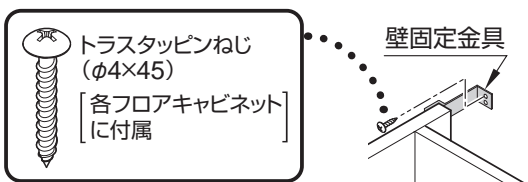
重要

壁とキャビネットの間にすき間がある場合はスペーサーを入れる



4 壁固定

4 壁固定金具を使用するタイプのコンロキャビネットは専用ねじを使う



※ スリム対面収納充実型の場合は対面用キャビネットに付属のねじを使う

参照 P23 スリム対面・収納充実型の取り付け

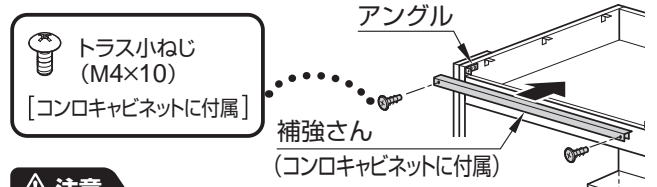
5 補強さんとコンロ用フィラー固定金具の取り付け

● グリルレスコンロ用キャビネット以外の場合

参照 コンロ用フィラー付属の組立・設置説明書

● グリルレスコンロ用キャビネットの場合

側板のアングルに補強さんを取り付ける

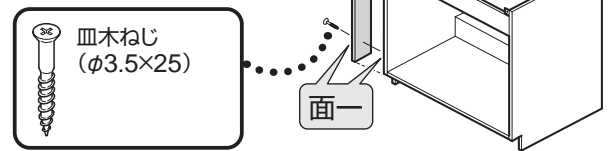


注意

補強さんは必ず取り付ける
使用中にカウンター割れにより、必ず実行 お客様がけがをするおそれがあります。

【スペーサー付きの場合】

付属のスペーサーを壁側に取り付ける

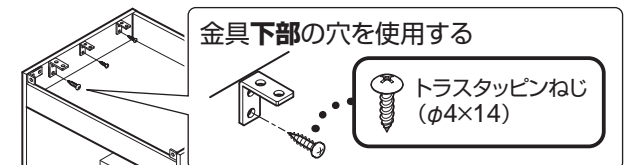


【スペーサー付き・なし共通】

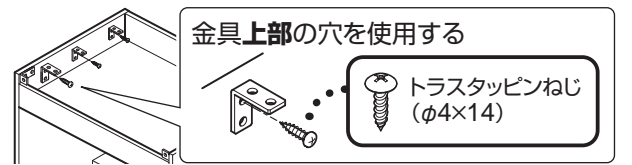
一番端に設置される場合は端側の側板にカウンター固定金具を取り付ける

〈カウンター種類〉

● ステンレス/ライトストーン/クリスタルの場合

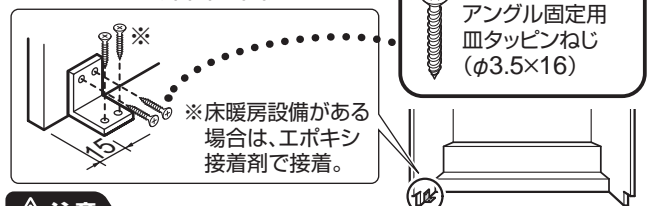


● コーリアンの場合



● オープンタイプシンクキャビネットの場合

側面オープンの場合は、付属のLアングルで床面に固定する

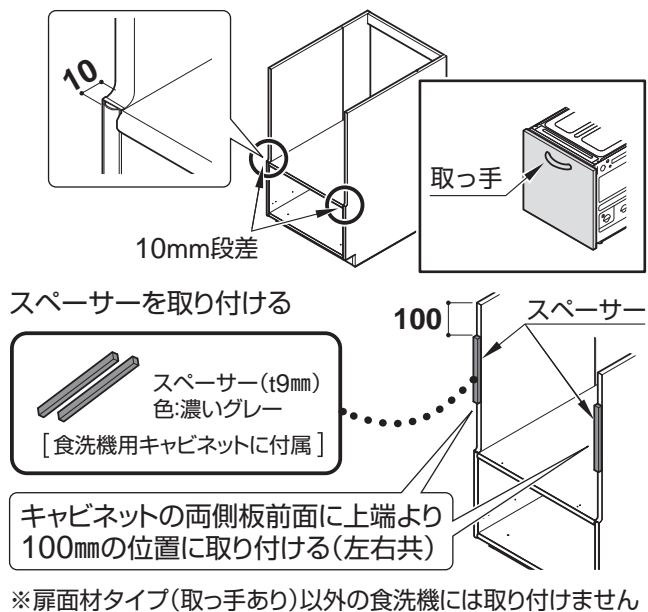


注意

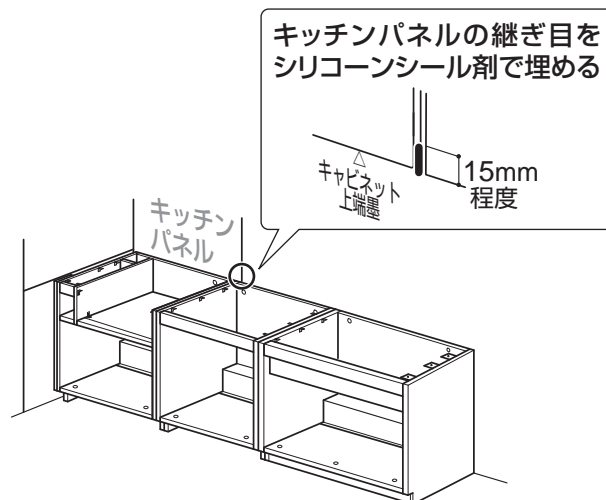
床暖房設備がある場合は、床にねじ固定しない
禁止 設備が破損するおそれがあります。

3 カウンターの取り付け

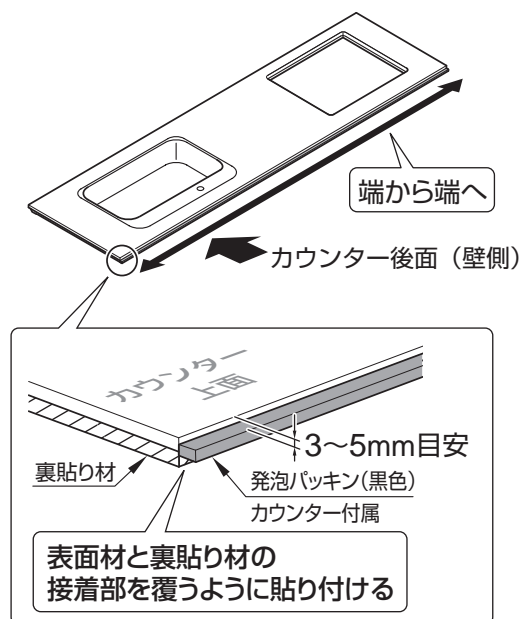
- 食洗機用フロアキャビネット(側板あり)の場合
【側板前面に10mmの段差があるキャビネットで、食洗機が扉面材タイプ(取っ手あり)の場合】



- 1 キッチンパネル継ぎ目へのシリコンシーล剤の塗布
※2 発泡パッキンが当たる部分のみ(防水のため)



- 2 発泡パッキンの取り付け
両面テープをはがし、カウンター後面の端から端(カウンター間口分)へ貼り付ける



⚠ 注意



必ず実行

発泡パッキンは必ず取り付ける

万が一のシリコン切れの場合にカウンターからの水がしみ込み、躯体が被水することを防ぐためです。

※ P23 スリム対面・収納充実型を除く

2

ユニットの取り付け【基本取り付け要領】

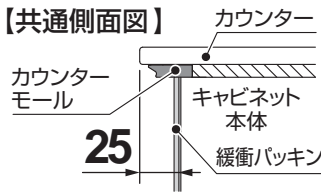
カウンターの取り付け(つづき)

3 カウンター固定

直接固定タイプ

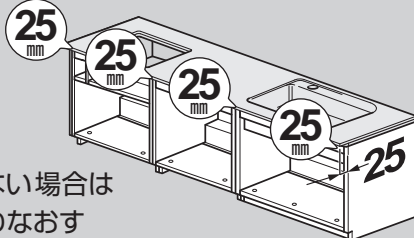
対象品番	カウンター種類	裏貼り材厚み	固定ねじ長さ
KTCS~	ステンレス	20mm	14mm
KTCB~	ライトストーン	15mm	14mm
KTCC~	クリスタル	9mm	8mm

【共通側面図】



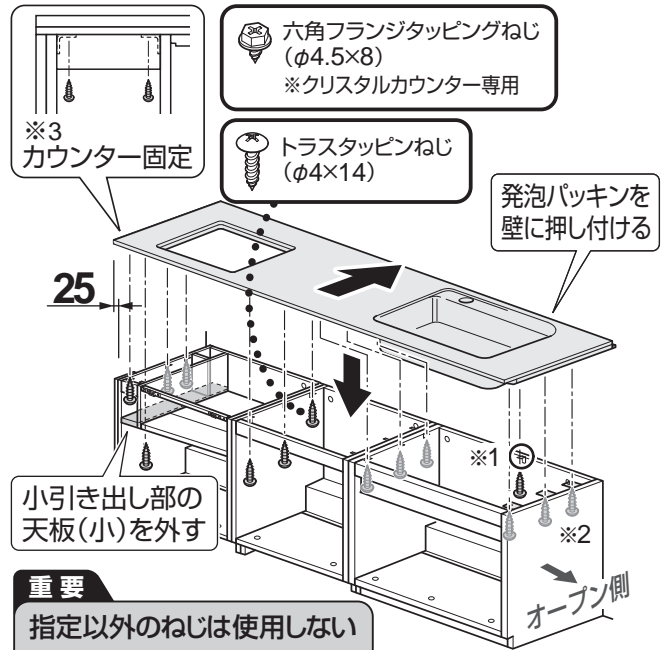
重要

フロアキャビネット側板前面とカウンター前面を均一(25mm)にする



※前面がそろわない場合は
2 3 からやりなおす

カウンターを仮置きし、位置をそろえて固定してください。



重要

指定以外のねじは使用しない
固定が弱くなる、またはカウンターが割れるおそれがあります。

- ※1: ステンレススクエアすべり台シンクの場合取り付ける
- ※2: シンクキャビネット部は隣接するキャビネットがある側はねじ固定不要。(図はオープン側3カ所のみ固定)
- ※3: 小引き出しコンロキャビネットの場合、小引き出し部のアングルは全てカウンター固定をすること

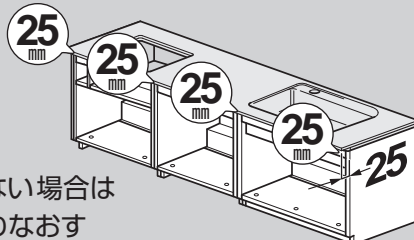
合板接着固定タイプ

対象品番	カウンター種類	裏貼り材厚み(合板厚み)	固定ねじ長さ
KTCD~	コーリアン	15mm	14mm

参照 カウンター固定セット付属の組立・設置説明書

重要

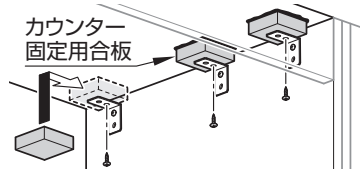
フロアキャビネット側板前面とカウンター前面を均一(25mm)にする



※前面がそろわない場合は
2 3 からやりなおす

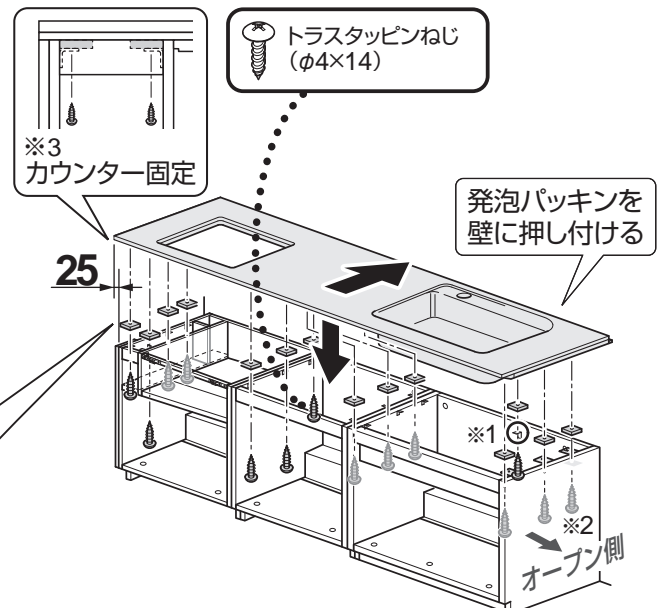
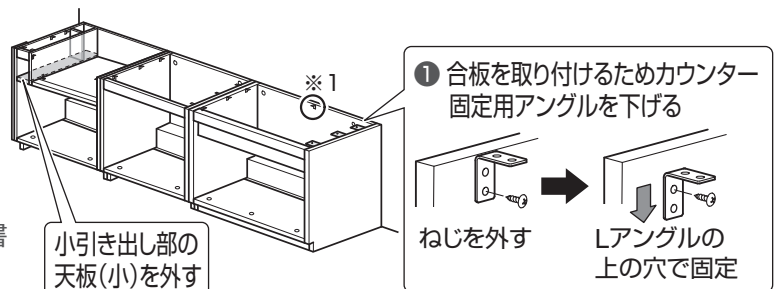
カウンターを仮置きし、位置をそろえて固定してください。

- 2 カウンターをのせ位置決め後、接着剤を塗布した合板(付属品)をカウンター裏面に貼り付ける
- 3 接着剤完全硬化後にカウンターを壁に押し付けながら固定する



重要

必ず15mm合板を貼ること

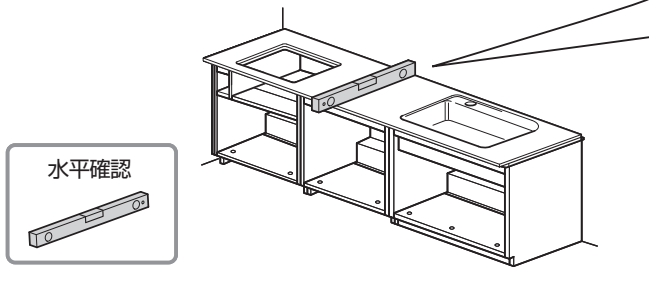


- ※1: ステンレススクエアすべり台シンクの場合取り付ける
- ※2: シンクキャビネット部は隣接するキャビネットがある側はねじ固定不要。(図はオープン側3カ所のみ固定)
- ※3: 小引き出しコンロキャビネットの場合、小引き出し部のアングルは全てカウンター固定をすること

4 カウンター上面の確認と調整

①カウンター面の水平度を確認する

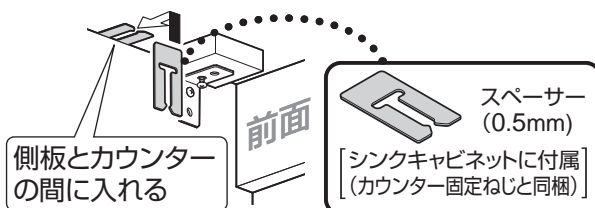
※フロアキャビネットは 2 で水平・垂直に設置済み



●傾斜が2mmより大きい場合

固定ねじをゆるめてキャビネット側板とカウンターの間にスペーサーを入れて調整する

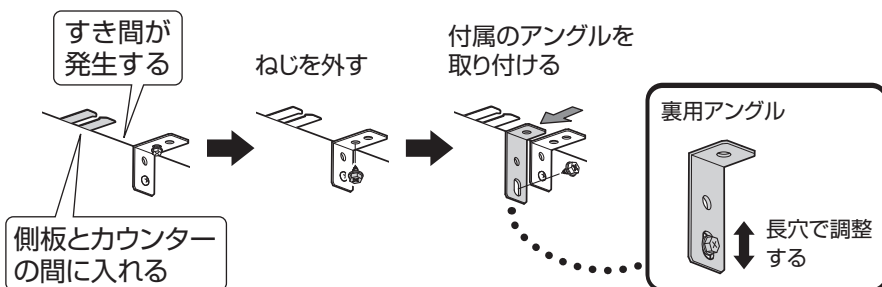
例：前面(手前側)が低い場合



●クリスタルカウンターの場合

重要

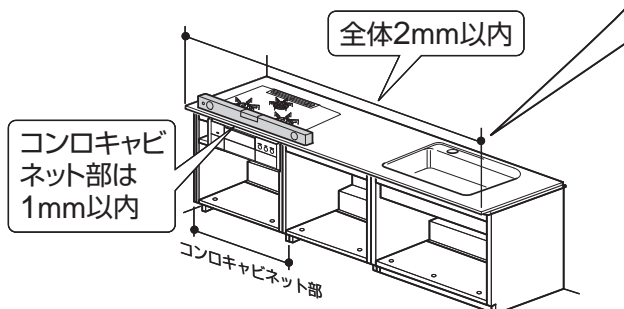
スペーサーを入れた場合は必ず裏用アングルですき間を調整する
固定の強度に影響するおそれがあります。



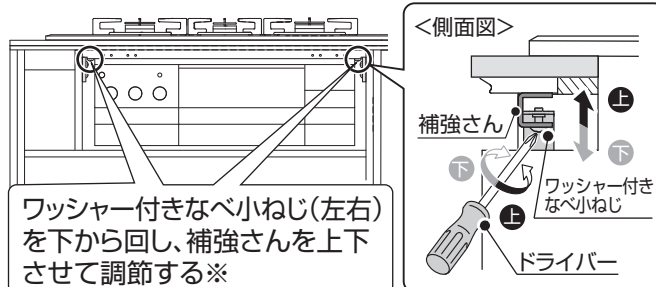
②調理機器設置後、

カウンター面のうねりを確認する

※フロアキャビネットは 2 で水平・垂直に設置済み



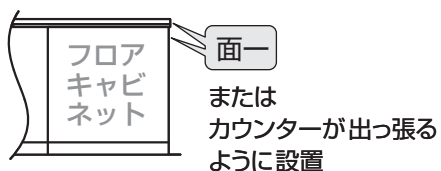
●コンロキャビネット部のうねりが1mmより大きい場合



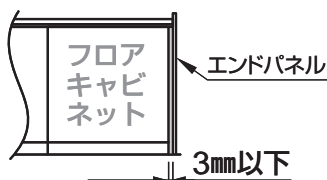
※グリルレスコンロ用キャビネット/オープンレンジは調整できません。

【カウンターとキャビネットのおさまり】

●エンドパネルがない場合



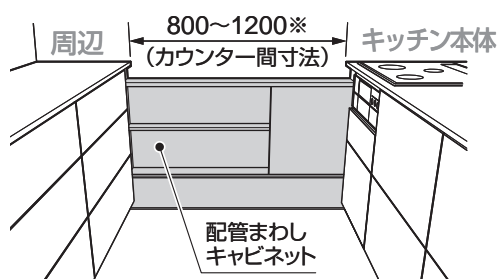
●エンドパネルが付く場合



重要

カウンターの出っ張りは、3mm以下にする
固定の強度に影響するおそれがあります。

■各ユニット取り付けの前に



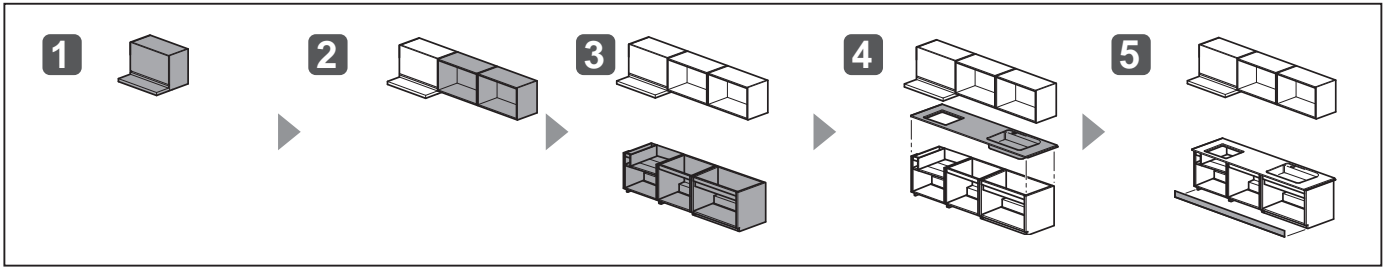
- 配管まわしキャビネットがプランに含まれる場合は、キッチン本体および周辺より先に取り付けてください。
- 横引き配管と干渉する側板を切り欠いてください。
- 組立・設置説明書は配管まわしキャビネットに付属しています。

お願い

施工図および施工図添付資料をご確認のうえ、指示通り配管されていることをご確認ください。

※周辺ユニット背面に配管スペースが不要な場合(D450カウンタープラン)は、カウンター間寸法が850~1200になります。

I型



[単位：mm]

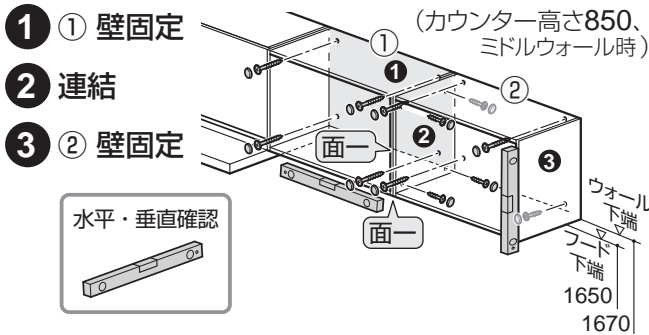
1 フードの取り付け

フード下端墨に合わせて取り付ける

参照 フード付属の組立・設置説明書

2 ウォールキャビネットの取り付け

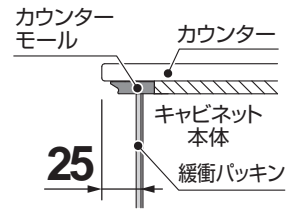
参照 P10・11 ウォールキャビネットの取り付け



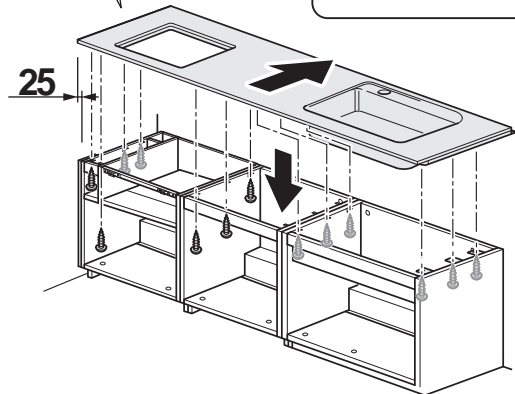
4 カウンターの取り付け

参照 P13~15
 カウンターの取り付け

【共通側面図】



キャビネット前面から
 カウンター前面までを
 25mmにそろえて固定

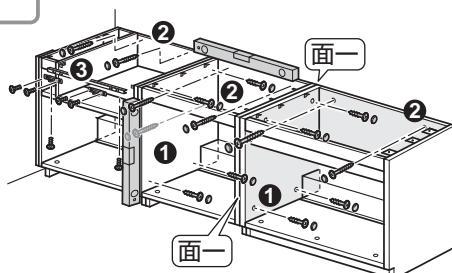
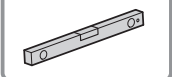


3 フロアキャビネットの取り付け

参照 P11~13 フロアキャビネットの取り付け

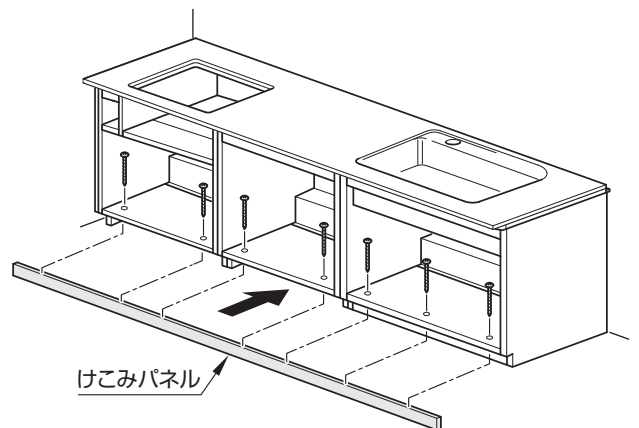
- ① 連結
- ② 壁固定
- ③ 補強さんとコンロ用フィラー固定金具の取り付け

水平・垂直確認



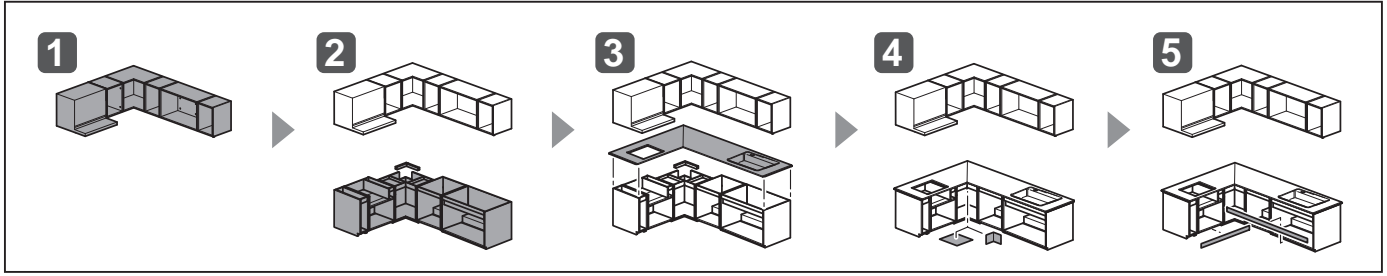
5 けこみパネルの取り付け

参照 P35 けこみパネル



2 ユニットの取り付け【I型】

L型



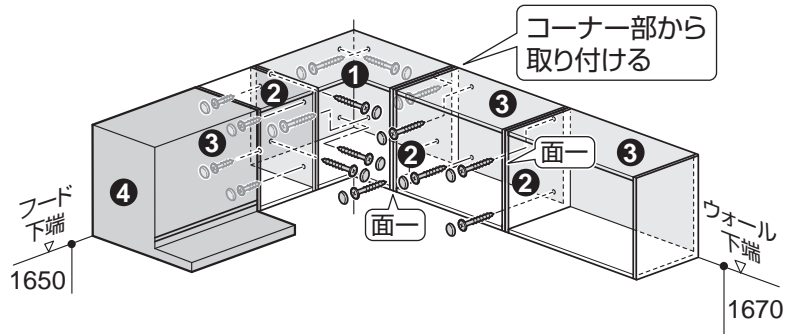
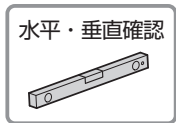
1 ウォールキャビネット・フードの取り付け

参照 P10・11 ウォールキャビネットの取り付け

(カウンター高さ850、ミドルウォール時)

- 1 コーナー部壁固定
- 2 連結
- 3 壁固定
- 4 フードの取り付け

参照 フード付属の組立・設置説明書

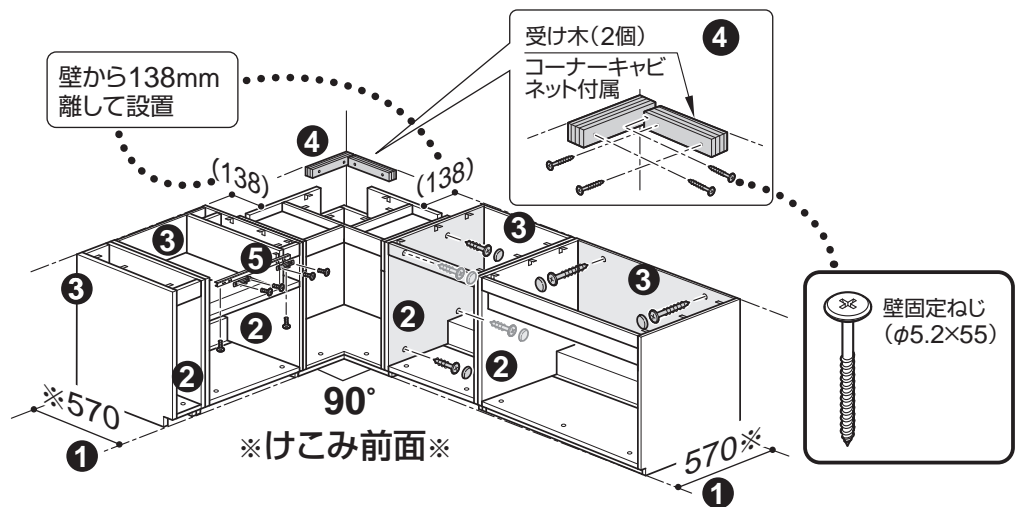
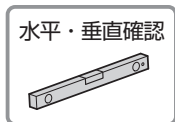
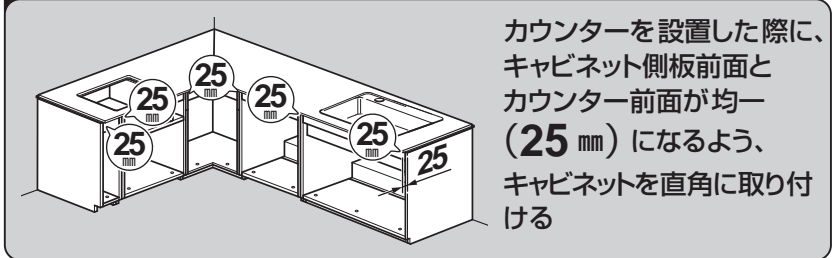


2 フロアキャビネットの取り付け

参照 P11~13 フロアキャビネットの取り付け

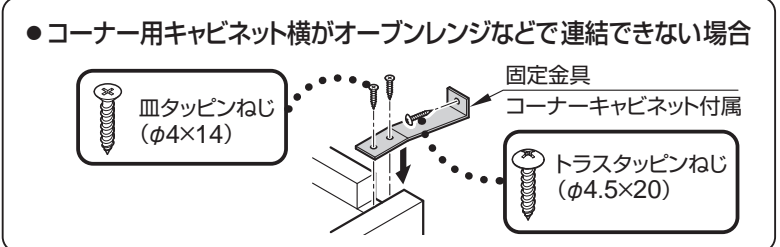
重要

- 1 けこみ前面墨出し
- 2 連結
- 3 壁固定
- 4 壁面コーナー部への受け木固定
- 5 補強さんとコンロ用フィラー固定金具の取り付け



重要

壁とキャビネットの間にすき間がある場合はスペーサーを入れる
けこみ前面で墨を出すなどの方法で、必ずキャビネットが直角になるように配置してください。

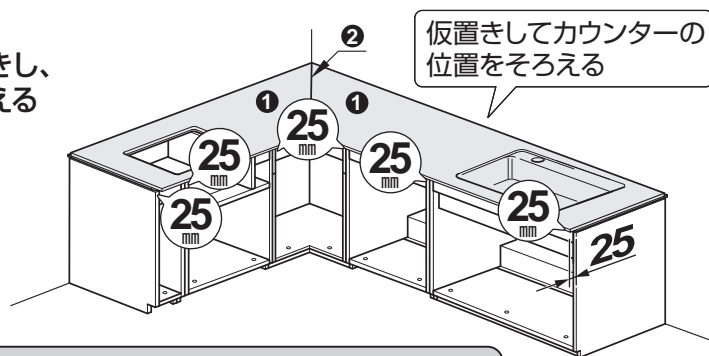


2 ユニットの取り付け【L型】

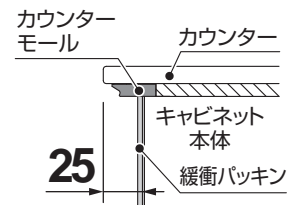
3 カウンターの取り付け

参照 カウンター付属の組立・設置説明書

- 1 カウンターを仮置きし、前面を25mmにそろえる
- 2 カウンター連結 (接着・研磨)



【共通側面図】

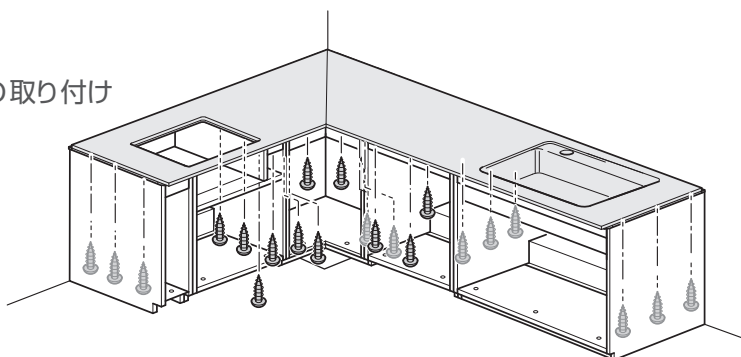


重要

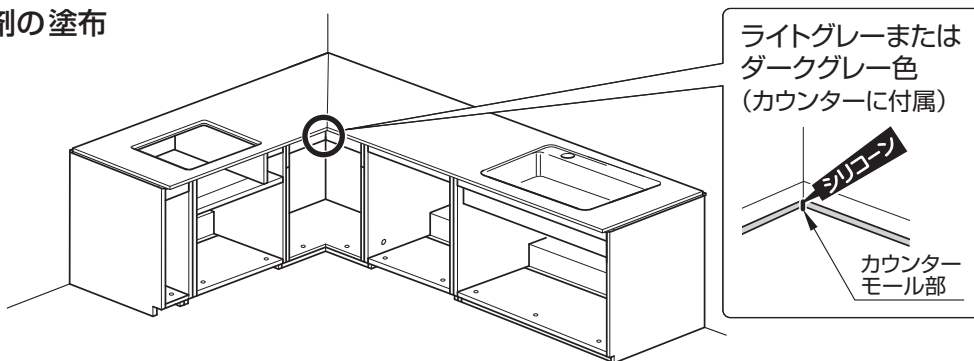
連結前に確実に前面が均一 (25 mm) になることを確認する
 ※前面がそろわない場合は 2 からやりなおす

3 ねじ固定

参照 P13~15
 カウンターの取り付け

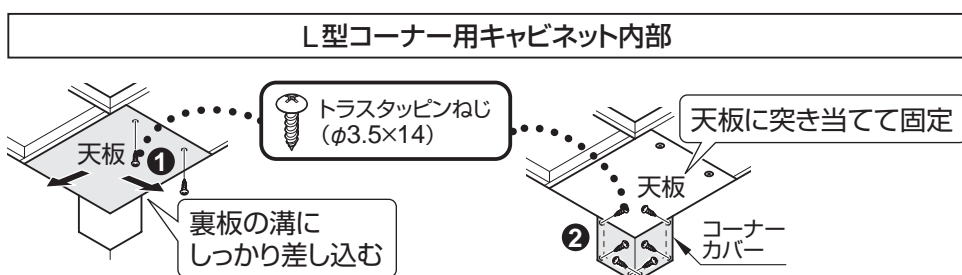


4 シリコンシール剤の塗布



4 L型コーナー用キャビネットの付属品取り付け

- 1 コーナー用キャビネットに天板を取り付ける
- 2 コーナーカバーを取り付ける



5 けこみパネルの取り付け

参照 P35 けこみパネル

クリアパーティションプランの注意

ゼロフィルターセンターフード、ゼロフィルターサイドフードとフロアユニットを設置する場合は取り合いに注意してください。

※ クリアパーティションが正しく設置できなくなります。

参照 クリアパーティション付属の組立・設置説明書

[単位: mm]

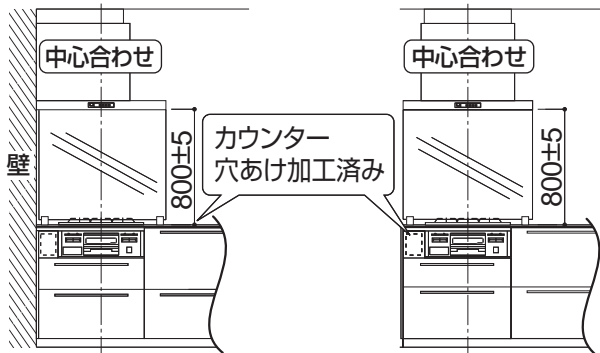
フラット対面型

- スリム対面フラット型、フラット対面型用クリアパーティション

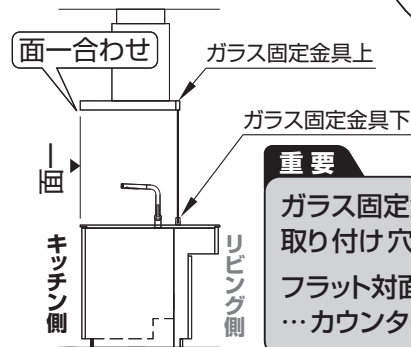
〈正面図〉

〈正面図〉

【ゼロフィルターサイドフード】 【ゼロフィルターセンターフード】



〈側面図〉



重要

ガラス固定金具下の
取り付け穴
フラット対面型
…カウンター穴あけ加工済み



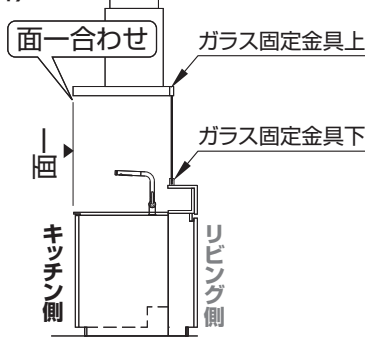
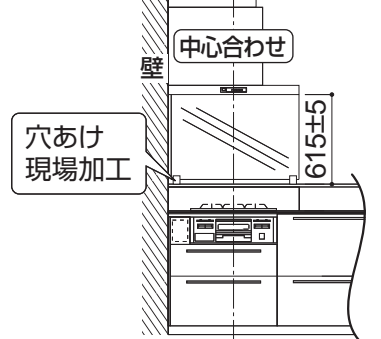
スリム対面収納充実型

- スリム対面収納充実型用クリアパーティション

【ゼロフィルターサイドフード】

〈正面図〉

〈側面図〉



重要

ガラス固定金具下の
取り付け穴
スリム対面収納充実型
…現場にて穴あけ加工



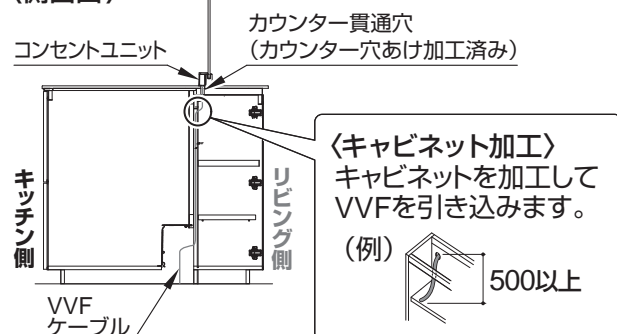
コンセント(クリアパーティション用)

- コンセント(クリアパーティション用)を設置する場合

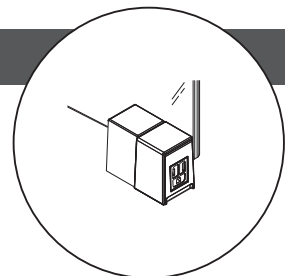
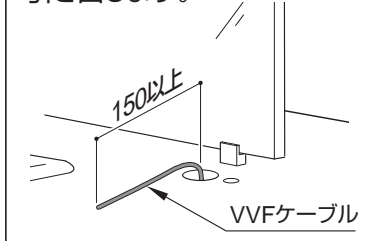
リビング側キャビネットにあらかじめ加工が必要です。コンロキャビネットの背面床よりVVFケーブルを取り出し、カウンター上へVVFケーブルを引き出します。

参照 コンセント(クリアパーティション用)付属の組立・設置説明書
表の内容に沿って、加工の有無を確認してください。

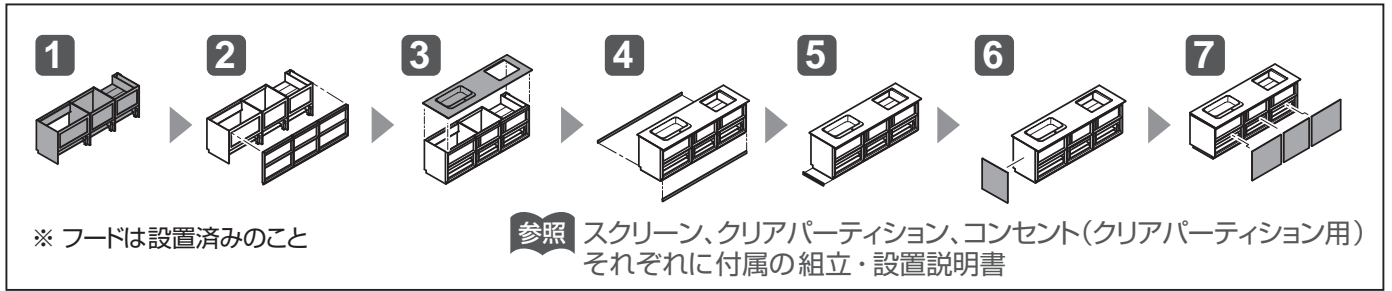
〈側面図〉



〈カウンター貫通穴〉
カウンター設置後、
VVFをカウンター上へ
引き出します。



スリム対面・フラット型 / D750

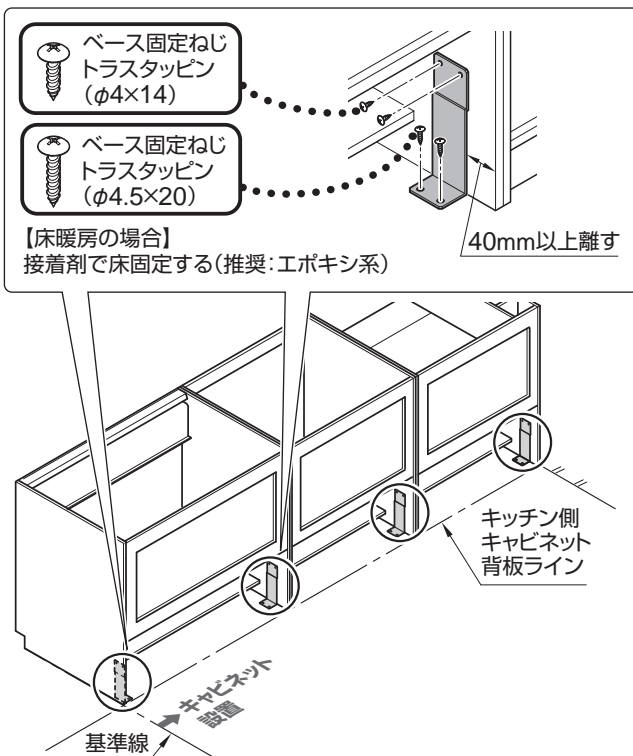


[単位: mm]

1 キッチン側キャビネットの固定 (対面型共通)

参照 P11~13 フロアキャビネットの取り付け

床固定 ※ 床固定部材は対面施工キットに付属



注意



床暖房設備がある場合は、床にねじ固定しない
設備が破損するおそれがあります。

注意



確実にキャビネットを床固定する
転倒してけがをしたり、財産損害のおそれがあります。
必ず実行

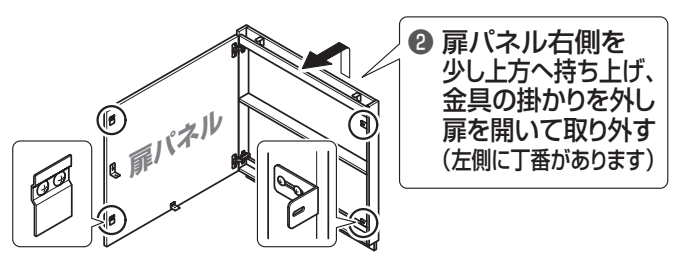
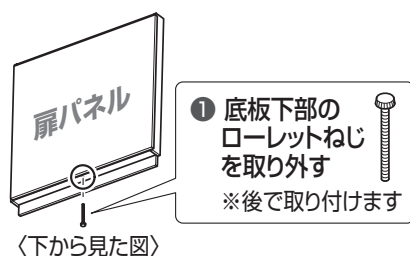
重要

片壁付の場合は、オープン側の基準線に合わせて
オープン側キャビネットから設置する
後のカウンターのチリ合わせに影響がでます。

2 リビング側対面支持部材の取り付け

1 対面支持部材扉パネルの取り外し

参照 P41 着脱と調整



リビング側対面支持部材の取り付け(つづき)

2 対面支持部材の連結

重要

コンセント(クリアパーティション用)を取り付ける場合は、事前にキャビネット内に電源ケーブルを引き込む

参照 コンセント(クリアパーティション用)付属の組立・設置説明書

3 対面支持部材の取り付け

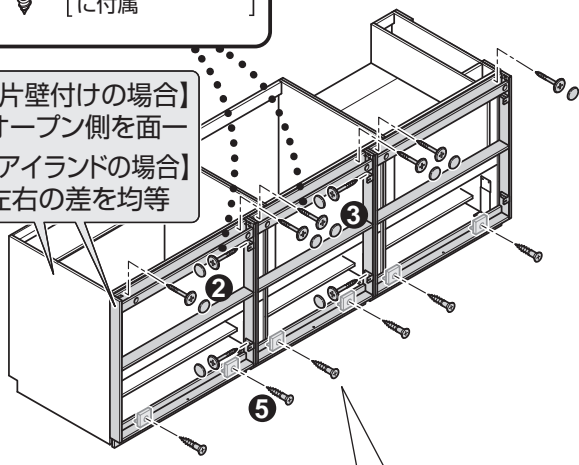
4 床固定木片の取り付け

5 床固定

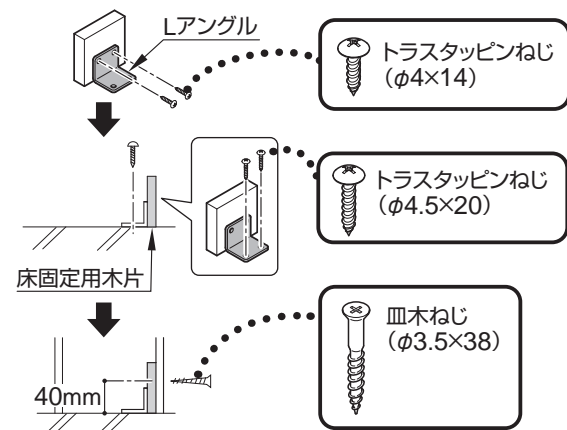
- 化粧キャップ
- 連結ねじ (φ3.8×26)
[フロアキャビネット]に付属

重要
背面固定は、ねじの長さに注意する
ねじがとび出すおそれがあります。

【片壁付けの場合】
オープン側を面一
【アイランドの場合】
左右の差を均等



【床固定木片の取り付け】※対面支持部材に付属



【床暖房の場合】接着剤で床固定する(推奨:エポキシ系)

【アイランドの場合】

〈上面図〉



重要

キッチン本体側との段差

19mm

キッチン側
キャビネット

対面側
キャビ
ネット

床不陸を確認後調整し、
上記取り合いを厳守する

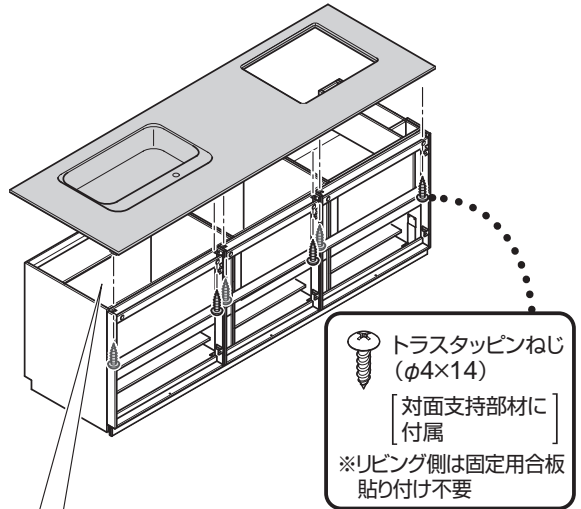
注意



床暖房設備がある場合は、床にねじ固定しない
設備が破損するおそれがあります。

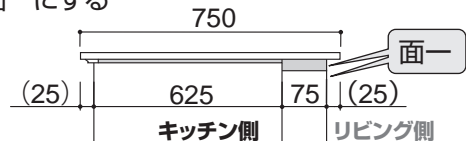
3 カウンターの取り付け

参照 P13~15 カウンターの取り付け



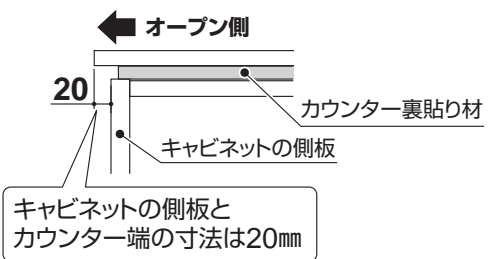
〈奥行き方向:側面図〉

キャビネット側板前面とカウンター裏貼り材面を面一にする



※上記はカウンター設置目安寸法です。

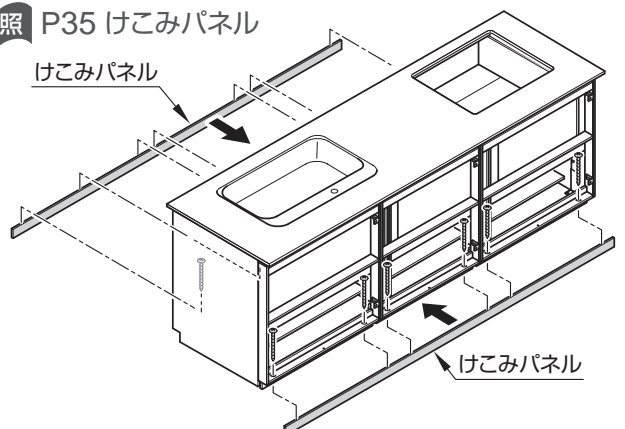
〈間口方向:正面図〉片壁付け



※アイランドタイプの場合、間口方向は左右均等に
設置します。
※サイドパネルとのすき間はコーキングで処理してください。

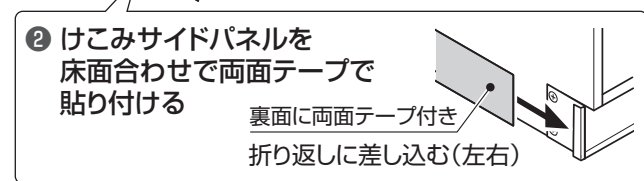
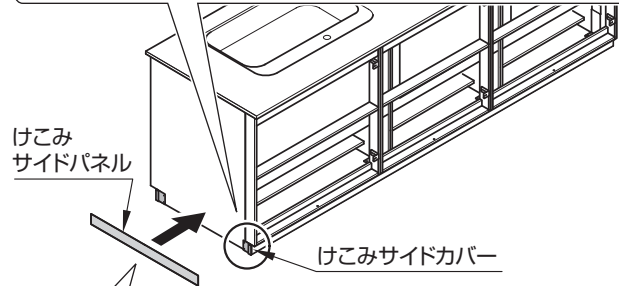
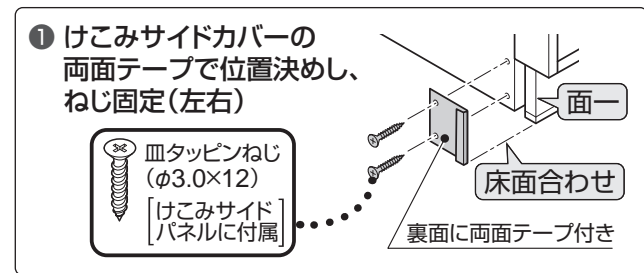
4 けこみパネルの取り付け

参照 P35 けこみパネル

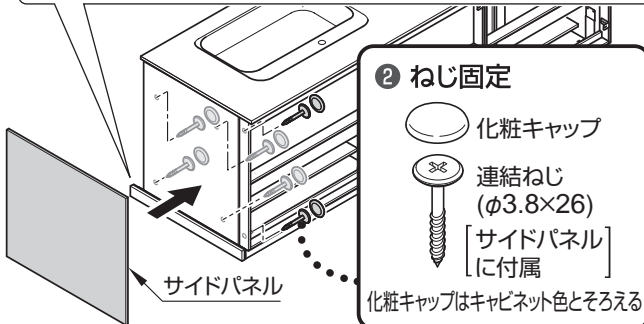
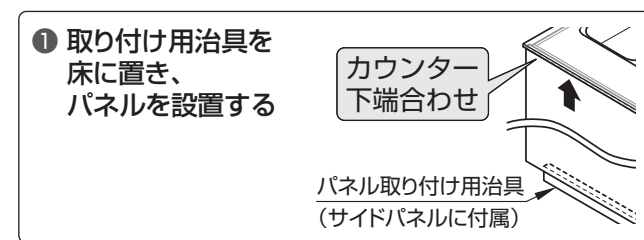


5 けこみサイドパネルの取り付け

- ※ サイドパネルに付属
- ※ 両面テープ貼り付け面は汚れを除去する



6 サイドパネルの取り付け

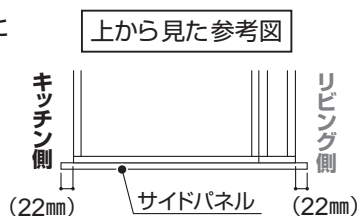


重要

- パネル上端は、カウンター下端に突きあてる
高さがそろわない場合は、治具とパネルの間にスペーサーをはさみ調整する。
- パネルの方向に注意する
高さ・幅寸法が僅差のため、付け間違いに注意する。

【サイドパネルの取り付け位置】

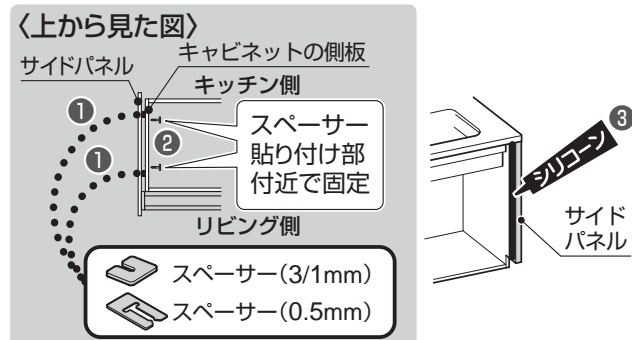
パネルはキッチン側とリビング側へ均等に配置してください



キャビネットとパネルの間にすき間ができる場合

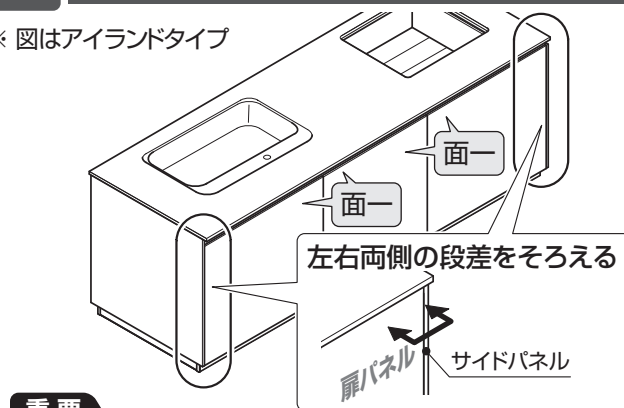
シンクキャビネットに付属のスペーサーなどを利用して、サイドパネルがキャビネットの側板と平行になるように設置する

- ① キャビネットの側板にスペーサーを貼り付ける
- ② サイドパネルをスペーサー貼り付け部付近で固定する
- ③ シリコンシーラ剤ですき間を埋める



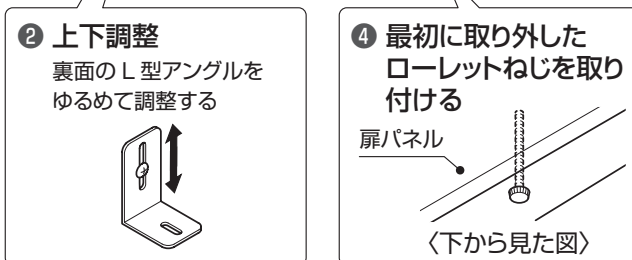
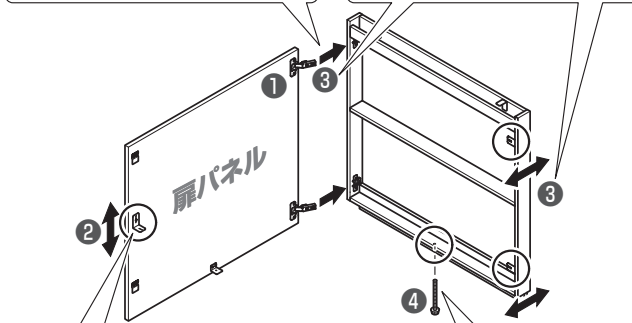
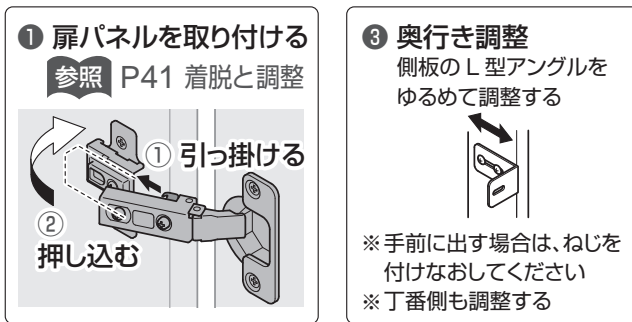
7 扉パネルの取り付けと調整

※ 図はアイランドタイプ



重要

- 左右両側の段差をそろえる
- 扉パネルがサイドパネルより飛び出さないこと



スリム対面・収納充実型 / D850

1 2 3 4 5 6 7 8 9

※ キッチン側キャビネット (P20)、フードは設置済みのこと
 ※ コンロ背面キャビネット範囲に間口150mmの開き扉 (側板=D625) をキッチン側へ設置する場合は、配管スペース奥行き分の側板をカットしてください。

参照 ・クリアパーティションに付属の組立・設置説明書
 ・袖壁対応プランの場合は袖壁対応用サイドパネル付属の組立・設置説明書と本書参照

[単位: mm]

1 リビング側キャビネットの取り付け

- 1 スペースの取り付け
 - 2 対面用キャビネットの連結
 - 3 床固定木片の取り付け
※ キャビネットを仮置きし、位置を決めてください。
 - 4 対面用キャビネットの取り付け
※ ガス調理機器の場合は取り付け前にキャビネットの加工が必要です。
- 参照** P27 ガス調理機器の場合

重要
 背面固定は、ねじの長さに注意する
 ねじがとび出すおそれがあります。

連結ねじ (φ3.8×26) 壁固定ねじ (φ5.2×55)

[対面用キャビネットに付属]

トラスタッピンねじ (φ3.5×14) トラスタッピンねじ (φ4×45)

[対面用キャビネットに付属]

重要
 キッチン本体側との段差
13mm
 キッチン側キャビネット 対面側キャビネット
 床不陸を確認後調整し、上記取り合いを厳守する

化粧キャップ
 連結ねじ (φ3.8×26)
 [対面用キャビネットに付属]

④ 対面側からの固定位置
 上端から 30mm

④ 対面用キャビネット
 固定金具

④ 対面用キャビネット
 固定金具

コンロ背面对面用キャビネットは間口750mmのみ

① スペースの取り付け
 ※ 縁貼面を上にする
 スペース (事前取り付け)
 (コンロ背面キャビネットに付属)

皿タッピンねじ (φ4×25)
 [壁側に設置するキャビネットに付属]

③ 床固定木片の取り付け ※ 対面用キャビネットに付属

Lアングル 床固定用木片

【床暖房の場合】
 接着剤で床固定する (推奨: エポキシ系)

注意
 床暖房設備がある場合は、床にねじ固定しない
 禁止
 設備が破損するおそれがあります。

トラスタッピンねじ (φ4×14) トラスタッピンねじ (φ4.5×20)

5 床固定

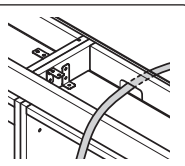
皿木ねじ (φ3.5×38)
 40mm

2 ユニットの取り付け【スリム対面・収納充実型 / D850】

リビング側キャビネットの取り付け(つづき)

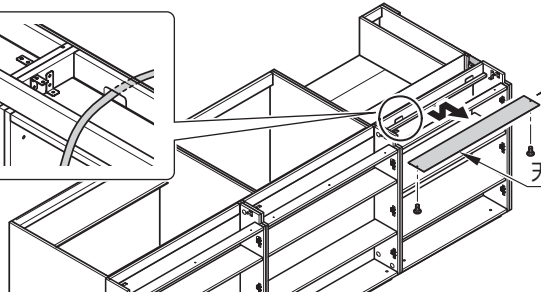
6 電源ケーブルの取り出し

- ① 床出しの電源ケーブルは
コンロ背面キャビネットの
穴を通して取り出す



- ② コンロ背面キャビネットの点検口を外す
※小ねじと天板点検口は外して保管

天板点検口

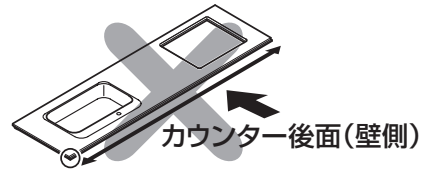


2 カウンターの取り付け

参照 P13~15 カウンターの取り付け

重要

スリム対面・収納充実型の場合はキッチンカウンター
後ろ面にI型キッチン用の発泡パッキンを取り付けない

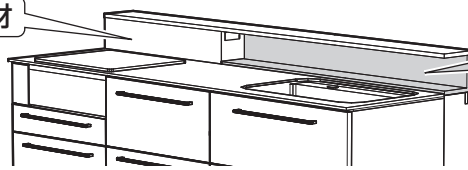


3 下準備

〈設置箇所イメージ図〉

コンロ前部材

収納カウンター(下)



1 収納カウンター同梱の発泡シーリング材を、途中で継ぎ目ができないよう取り付ける

コンロ前部材

輸送用の
補強さんを外す

- ② 上部木口面の手前に合わせる

木口面

- ① 正面の下端合わせ

正面より10mm程度巻き込む



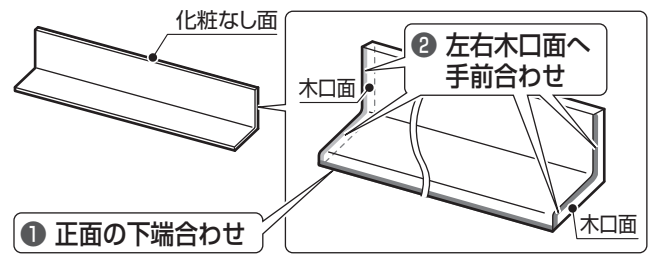
収納カウンター(下)

化粧なし面

- ② 左右木口面へ
手前合わせ

木口面

- ① 正面の下端合わせ



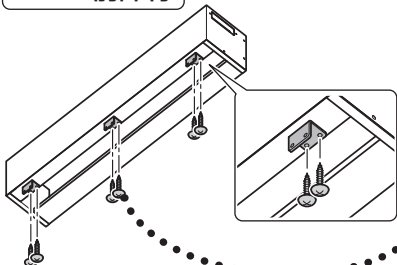
注意



発泡シーリング材は必ず収納カウンター(下)とコンロ前部材へ取り付ける
必ず実行
漏水の原因となります。

2 下面の下穴にアングルを取り付ける

コンロ前部材

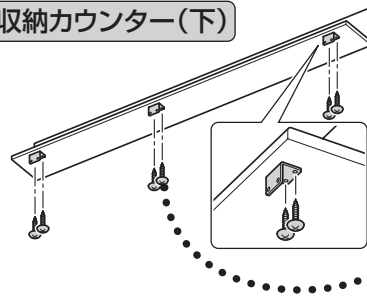


Lアングル

トラスタッピンねじ
(φ4×16)

[コンロ前部材に付属]

収納カウンター(下)



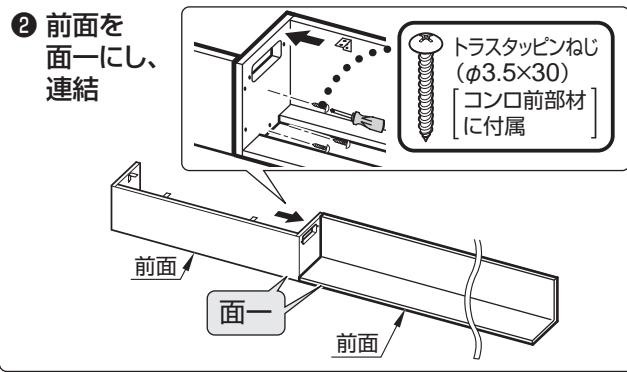
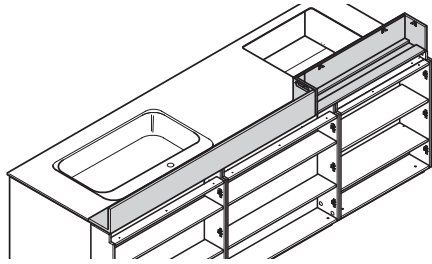
Lアングル

トラスタッピンねじ
(φ4×16)

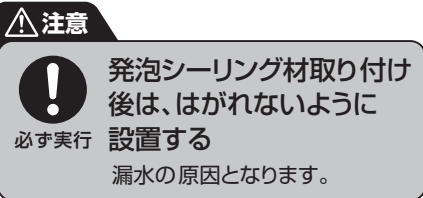
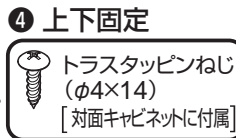
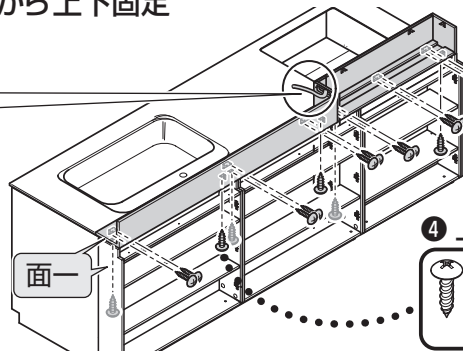
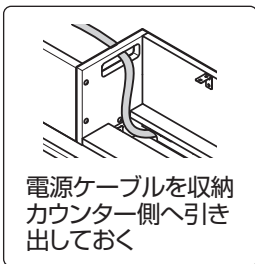
[収納カウンターに
付属]

4 対面キャビネットとの固定

- 1 収納カウンターおよびコンロ前部材の仮置き
- 2 コンロ前部材と収納カウンター木口の連結



- 3 3 2で取り付けしたLアングルから裏板へ固定
- 4 側板のアンクルから上下固定



5 けこみパネルの取り付け

参照 P21 けこみパネルの取り付け
P35 けこみパネル

6 けこみサイドパネルの取り付け

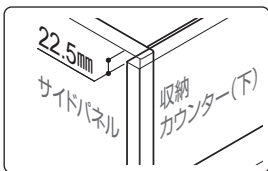
参照 P22 けこみサイドパネルの取り付け

7 サイドパネルの取り付け

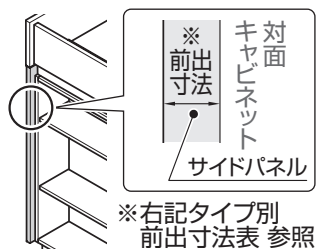
- 1 サイドパネル設置
- 2 ねじ固定

1 サイドパネル設置

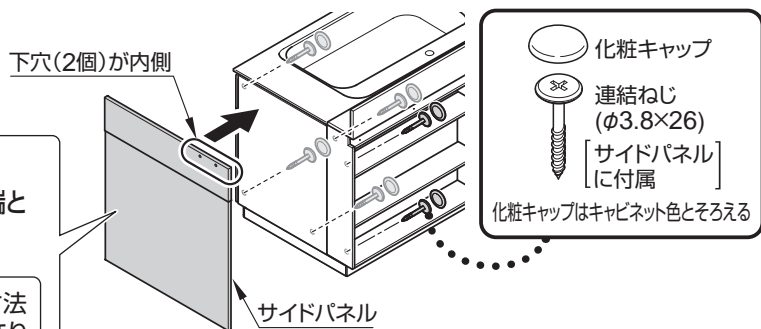
取り付け用治具を床に置き、パネルを浮かせ、パネル上端と収納カウンター(下)の上端が22.5mmになるように設置



リビング側のパネル前出寸法はパネルタイプにより異なります。



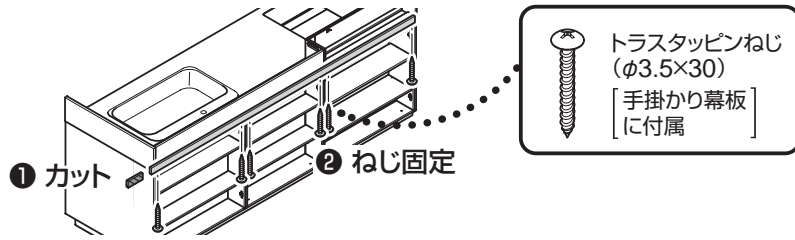
パネル取り付け用治具(サイドパネルに付属)



サイドパネルタイプ	前出寸法	対面キャビネット	サイドパネル
2色タイプ	25	対面キャビネット	サイドパネル
1色タイプ	27	対面キャビネット	サイドパネル

8 手掛かり幕板の取り付け

- 1 カットする
- 2 ねじ固定

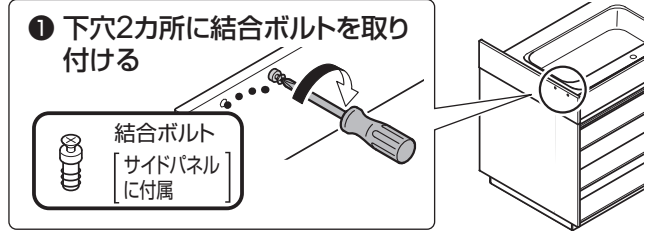


9 収納カウンター(上)の取り付け

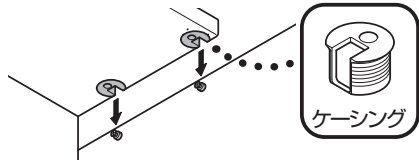
- 1 サイドパネルに結合ボルトを取り付ける
- 2 収納カウンター(上)を乗せる
- 3 ねじ固定

- 1 下穴2カ所に結合ボルトを取り付ける

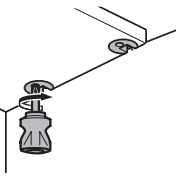
結合ボルト
[サイドパネル] に付属



- 2 収納カウンター裏面(サイドパネル側)のケーシングに①で取り付けした結合ボルトを溝へ差し込むように乗せる



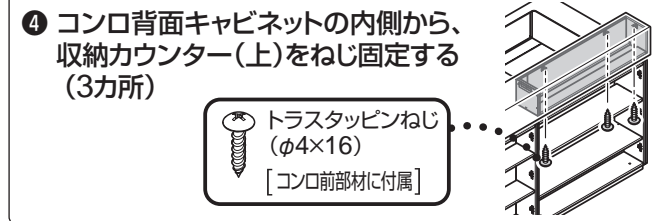
- 3 ドライバーでケーシング内のねじを締める



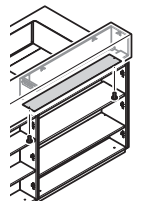
サイドパネルをpushさえ、収納カウンターとの間にすき間ができないように確実に締める

- 4 コンロ背面キャビネットの内側から、収納カウンター(上)をねじ固定する(3カ所)

トラスタッピンねじ (φ4×16)
[コンロ前部材] に付属

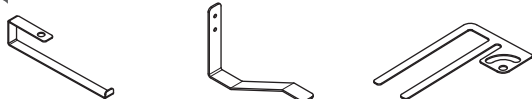


- 1 ⑥で外した天板点検口を取り付ける



10 オプションの取り付け

参照 オプションに付属の組立・設置説明書



ペーパーホルダー

まな板ラック

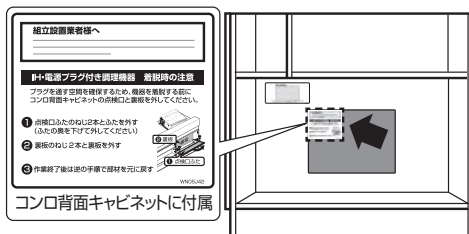
ふきん掛け

11 コンセントの取り付け

参照 電気工事店様用チラシ

12 ラベルの取り付け

コンロ背面キャビネットに同梱されているラベルを必ずコンロキャビネット内の点検口ふたへ貼る

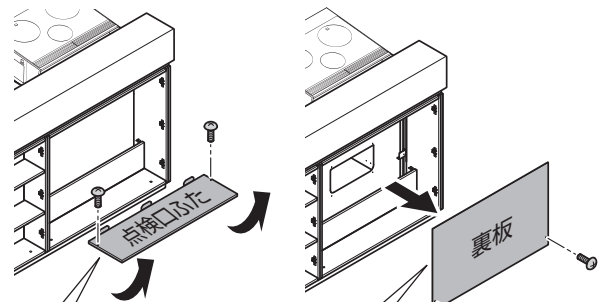


IH調理機器および電源プラグ付調理機器 着脱時の注意

プラグを通す空間を確保するため、機器を着脱する前にコンロ背面キャビネットの点検口と裏板を外す

- 1 点検口ふたのねじ2本とふたを外す
※ ふたの奥を下げて外してください。

- 2 裏板のねじ2本と裏板を外す



1 点検口ふた

2 裏板

- 3 作業終了後は逆の手順で部材を元に戻す

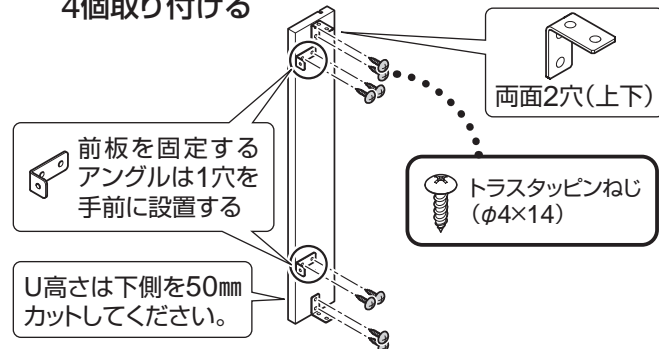
2 ユニットの取り付け【スリム対面・収納充実型】D850

ガス調理機器の場合

コンロ背面キャビネットとともに配管加工キットを現場で加工し、取り付ける

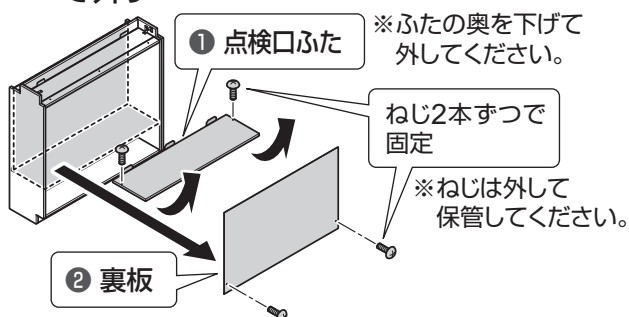
※ 配管加工キットはガス調理機器をお見積りの場合に同梱します。

1 加工キットの側板下穴に合わせ上下にアングルを4個取り付ける

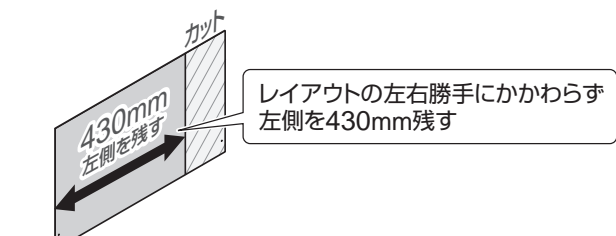


※ U高さ(キャビネット高792mm)の場合の下穴もあいています。

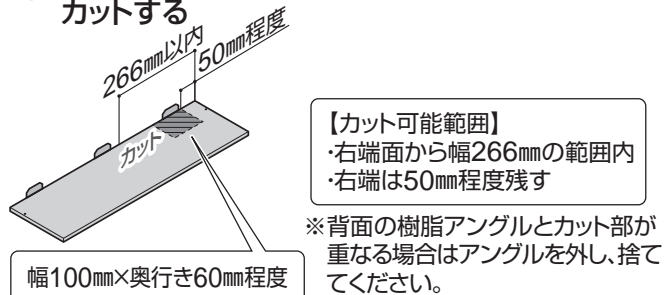
2 コンロ背面キャビネットの点検口ふた、裏板の順で外す



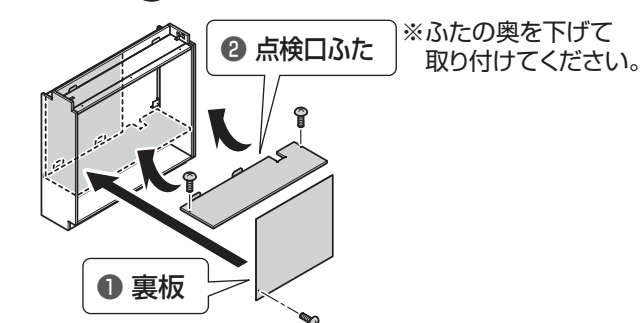
3 裏板の左側を残してカットする



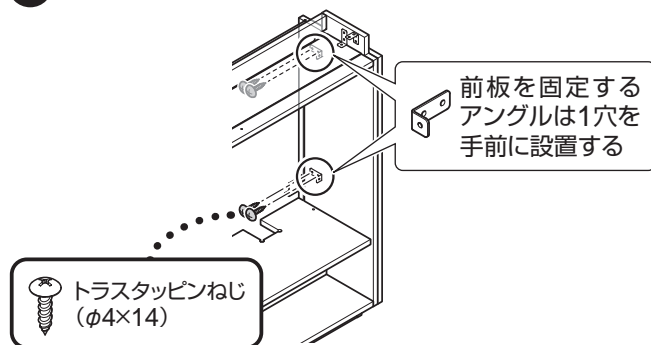
4 点検口ふたをガス管の干渉を避けるためにカットする



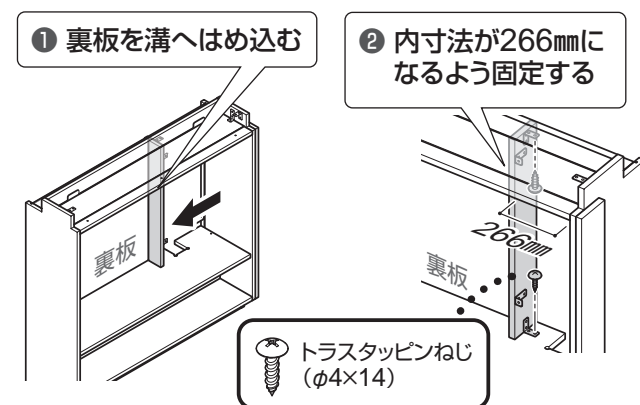
5 上記 2 と逆の手順で部材を元に戻す



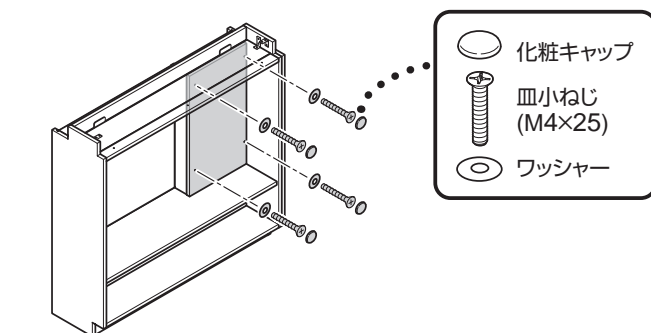
6 右側板の下穴(下図の位置)へアングルを固定する



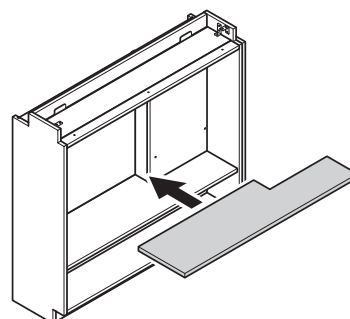
7 1の部材を取り付ける



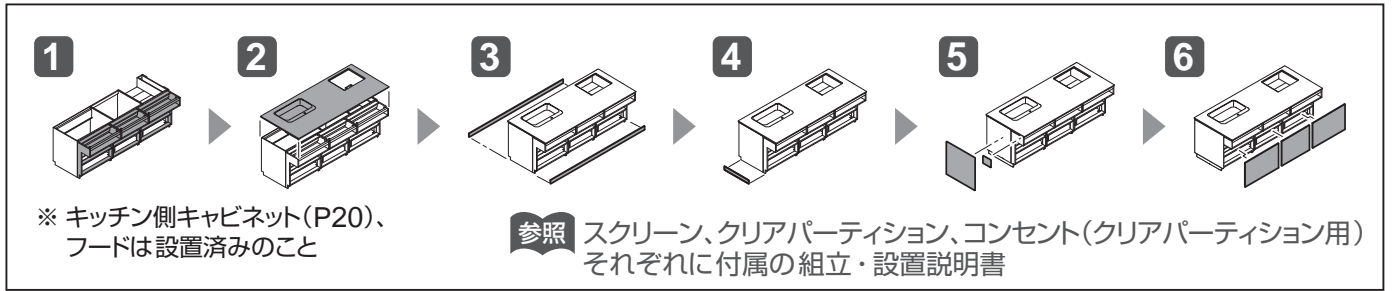
8 配管加工キット前板を取り付ける



9 棚板を配管加工キット付属の棚板に差し替える



フラット対面型 / D970 1段引き出しタイプ



[単位: mm]

1 リビング側キャビネットの取り付け

1 フラット対面用キャビネット扉パネルの取り外し

参照 P20 扉パネルの取り外し

2 スペースの取り付け

3 フラット対面用キャビネットの連結

重要

コンセント(クリアパーティション用)を取り付ける場合は、事前にキャビネット内に電源ケーブルを引き込む

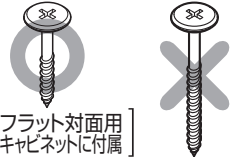
参照 コンセント(クリアパーティション用)付属の組立・設置説明書

4 フラット対面用キャビネットの取り付け

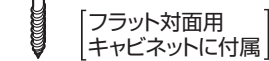
重要

背面固定は、ねじの長さに注意する
ねじがとび出すおそれがあります。

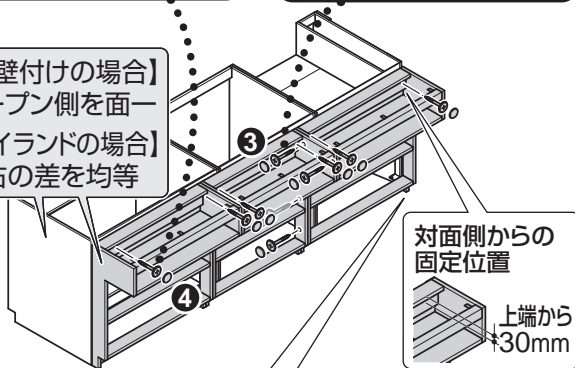
連結ねじ (φ3.8×26) 壁固定ねじ (φ5.2×55)



化粧キャップ
連結ねじ (φ3.8×26)

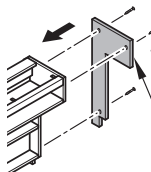


【片壁付けの場合】
オープン側を面
【アイランドの場合】
左右の差を均等



【片側壁付プランの場合】

2 スペースの取り付け



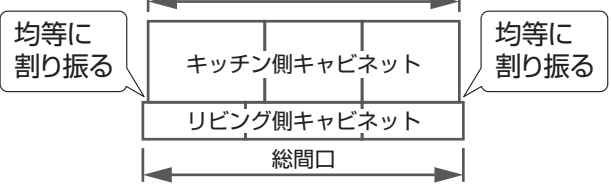
皿タッピンねじ (φ4×25)

【壁側に設置するキャビネットに付属】

スペーサー(事前取り付け)
(壁側設置キャビネットに付属)

【アイランドの場合】

〈上面図〉



重要

キッチン本体側との段差

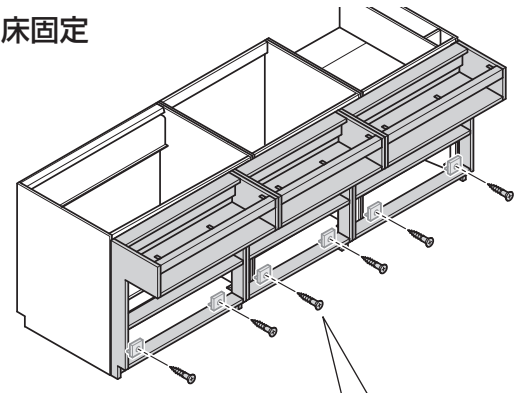
キッチン側
キャビネット

対面側
キャビネット

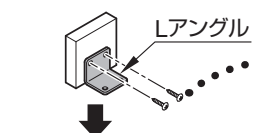
±19mm

床不陸を確認後調整し、上記取り合いを厳守する

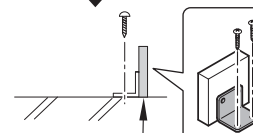
5 床固定



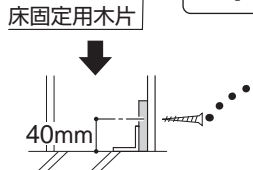
【床固定木片の取り付け】※フラット対面用キャビネットに付属



トラスタッピンねじ (φ4×14)



トラスタッピンねじ (φ4.5×20)



皿木ねじ (φ3.5×38)

【床暖房の場合】接着剤で床固定する(推奨:エポキシ系)

注意



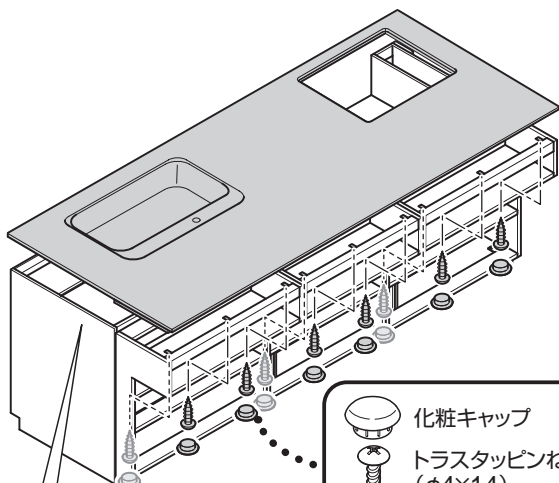
床暖房設備がある場合は、床にねじ固定しない
設備が破損するおそれがあります。

2

ユニットの取り付け【フラット対面型 / D970 1段引き出しタイプ】

2 カウンターの取り付け

参照 P13~15 カウンターの取り付け



- 化粧キャップ
- トラスタッピンねじ (φ4×14)
- [対面キャビネットに付属]
- ※リビング側は固定用合板貼り付け不要

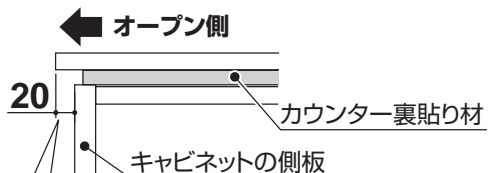
〈奥行き方向:側面図〉

キャビネット側板前面とカウンター裏貼り材面を面一にする



※上記はカウンター設置目安寸法です。
※上面から横さん木口が見えないよう設置してください。

〈間口方向:正面図〉片壁付け



キャビネットの側板と
カウンター端の寸法は20mm

※アイランドタイプの場合、間口方向は左右均等に
設置します。
※サイドパネルとのすき間はコーキングで処理してください。

3 けこみパネルの取り付け

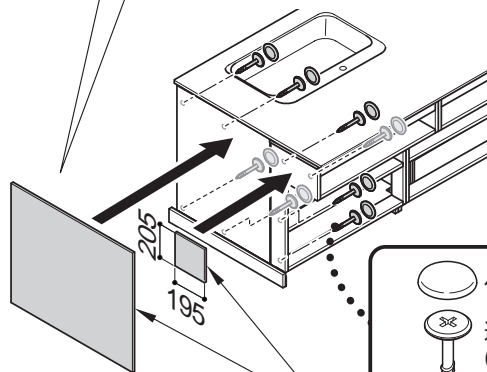
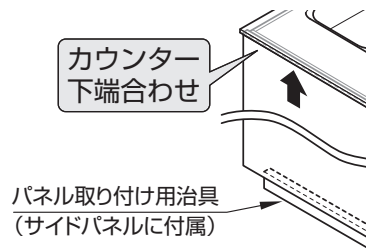
参照 P21 けこみパネルの取り付け
P35 けこみパネル

4 けこみサイドパネルの取り付け

参照 P22 けこみサイドパネルの取り付け

5 サイドパネルの取り付け

① 取り付け用治具を床に置き、パネルを設置する

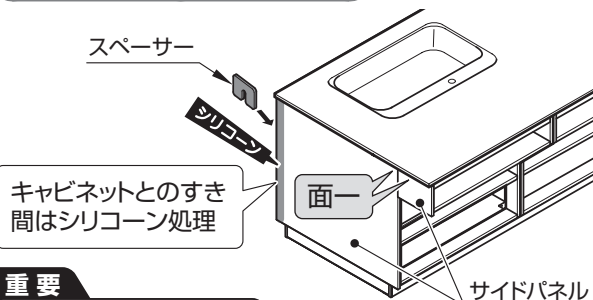


- 化粧キャップ
- 連結ねじ (φ3.8×26)
- [サイドパネルに付属]
- 化粧キャップはキャビネット色とそろえる

重要

- パネル上端は、カウンター下端に突きあてる
高さがそろわない場合は、治具とパネルの間にスペーサーをはさみ調整する。
- パネルの方向に注意する
高さ・幅寸法が僅差のため、付け間違いに注意する。

例: パネルに段差ができる場合

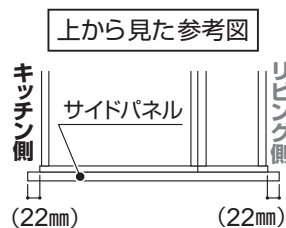


重要

スペーサーを入れて
面一にする

【サイドパネルの取り付け位置】

パネルはキッチン側とリビング側へ均等に配置してください



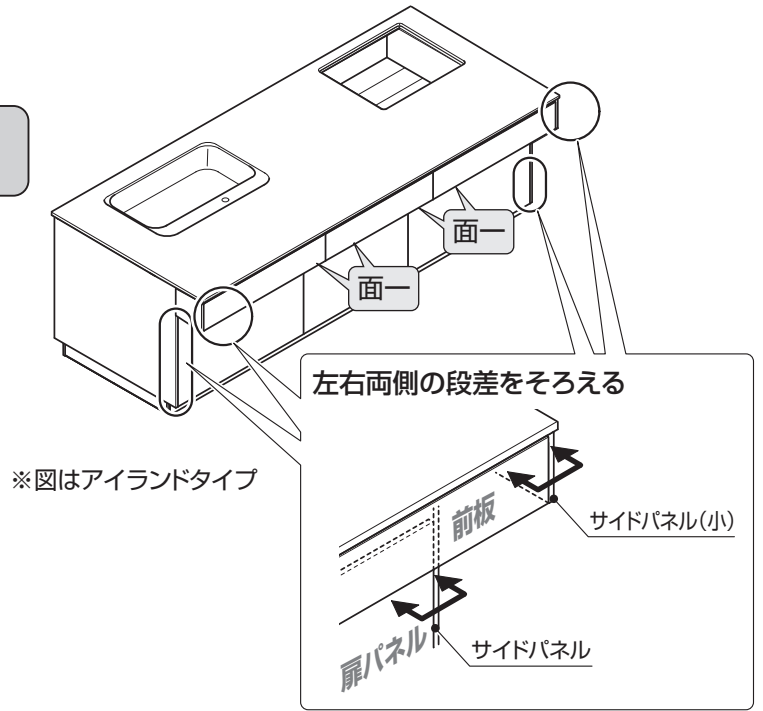
※ () 寸法は参考値

6 扉パネルの取り付けと調整

参照 P22 扉パネルの取り付けと調整

重要

- ・左右両側の段差をそろえる
- ・扉パネル、前板がサイドパネルより飛び出さないこと

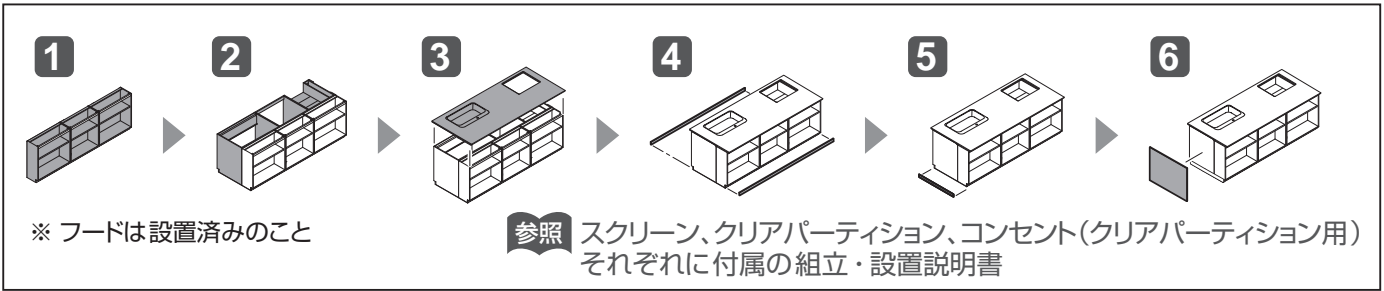


MEMO

2

ユニットの取り付け【フラット対面型／D9701段引き出しタイプ】

フラット対面型 / D970開き扉タイプ



[単位: mm]

1 リビング側キャビネットの取り付け

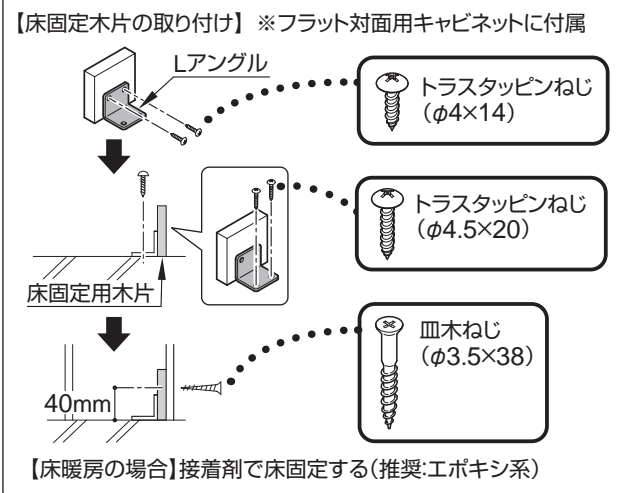
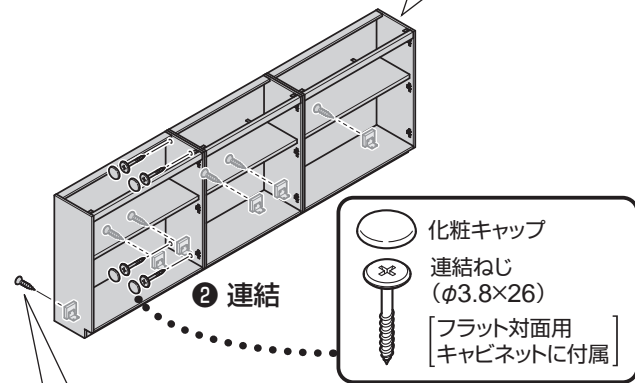
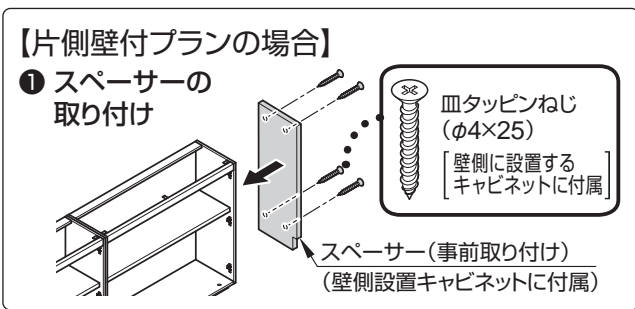
- 1 スペースの取り付け
- 2 フラット対面用キャビネットの連結

重要

コンセント(クリアパーティション用)を取り付ける場合は、事前にキャビネット内に電源ケーブルを引き込む

参照 コンセント(クリアパーティション用)付属の組立・設置説明書

3 床固定

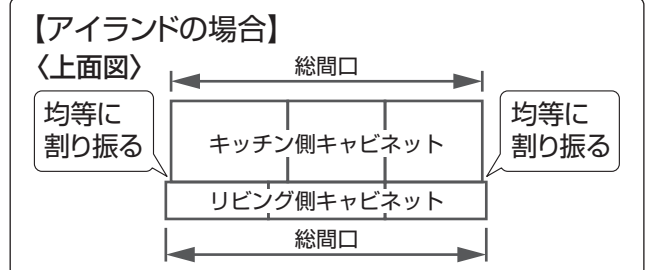
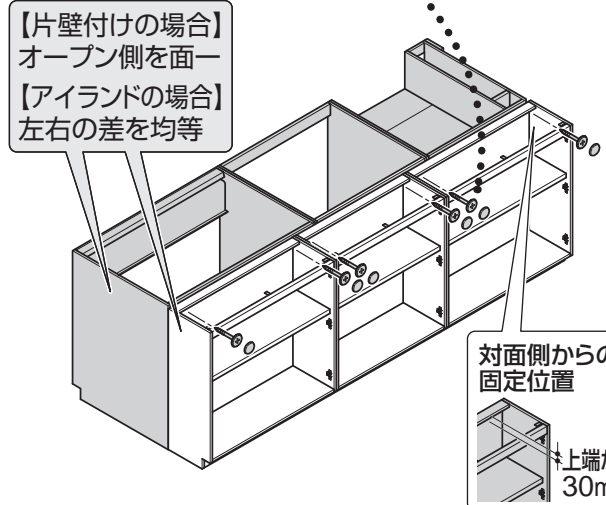
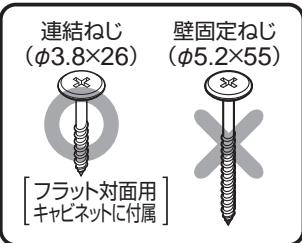


注意



床暖房設備がある場合は、床にねじ固定しない
設備が破損するおそれがあります。

2 キッチン側キャビネットの取り付け



重要

背面固定は、ねじの長さに注意する
ねじがとび出すおそれがあります。

重要

キッチン本体側との段差

19mm

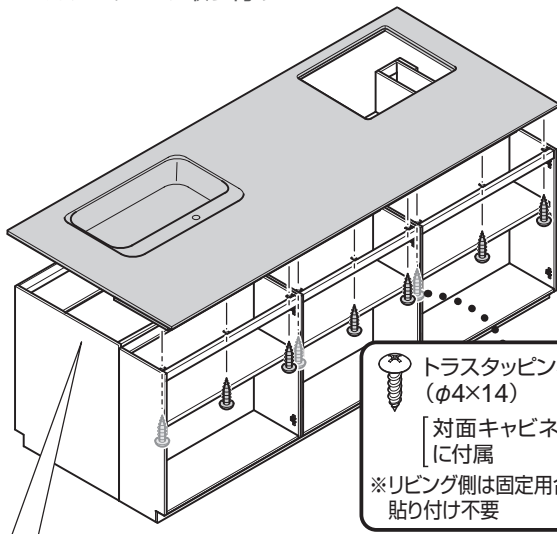
キッチン側
キャビネット

対面側
キャビネット

床不陸を確認後調整し、
上記取り合いを厳守する

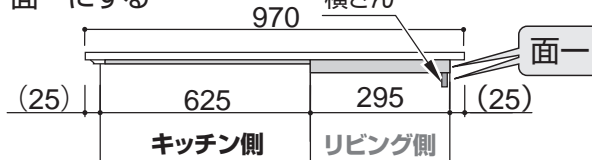
3 カウンターの取り付け

参照 P13~15
カウンターの取り付け



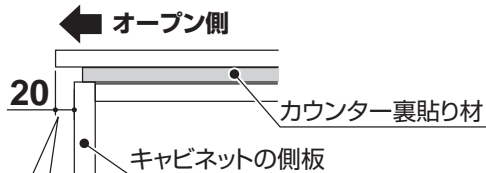
〈奥行き方向:側面図〉

キャビネット側板前面とカウンター裏貼り材面を面一にする



※上記はカウンター設置目安寸法です。
※上面から横さん木口が見えないよう設置してください。

〈間口方向:正面図〉片壁付け



キャビネットの側板と
カウンター端の寸法は20mm

※アイランドタイプの場合、間口方向は左右均等に
設置します。
※サイドパネルとのすき間はコーキングで処理してください。

4 けこみパネルの取り付け

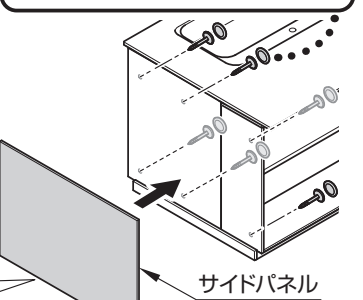
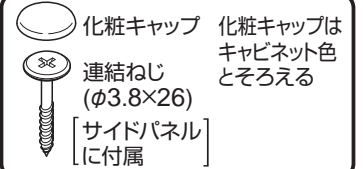
参照 P21 けこみパネルの取り付け
P35 けこみパネル

5 けこみサイドパネルの取り付け

参照 P22 けこみサイドパネルの取り付け

6 サイドパネルの取り付け

① 取り付け用治具を
床に置き、パネルを
設置する



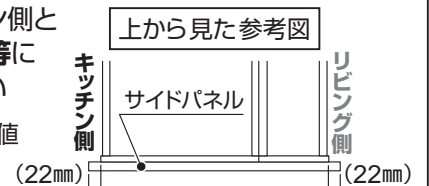
重要

- パネル上端は、カウンター下端に突きあてる
高さがそろわない場合は、治具とパネルの間にスペーサーをはさみ調整する。
- パネルの方向に注意する
高さ・幅寸法が僅差のため、付け間違いに注意する。

【サイドパネルの取り付け位置】

パネルはキッチン側と
リビング側へ均等に
配置してください

※ () 寸法は参考値

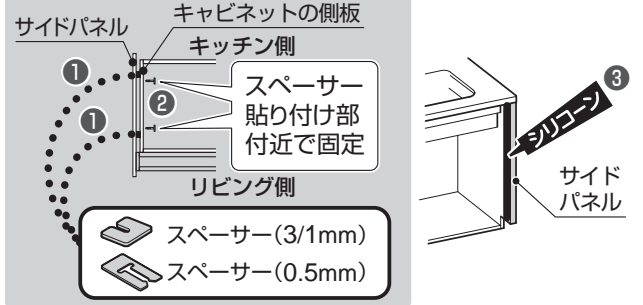


キャビネットとパネルの間にすき間ができる場合

シンクキャビネットに付属のスペーサーなどを利用して、サイド
パネルがキャビネットの側板と平行になるように設置する

- ① キャビネットの側板にスペーサーを貼り付ける
- ② サイドパネルをスペーサー貼り付け部付近で固定する
- ③ シリコンシーラ剤ですき間を埋める

〈上から見た図〉

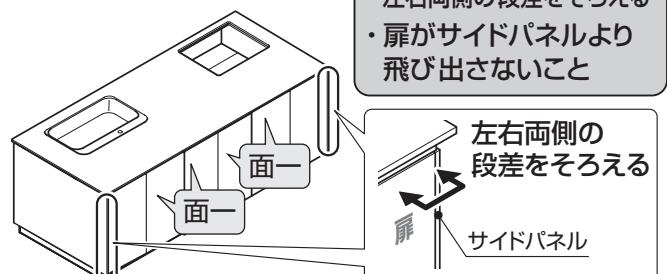


7 扉の取り付けと調整

参照 P41 着脱と調整

重要

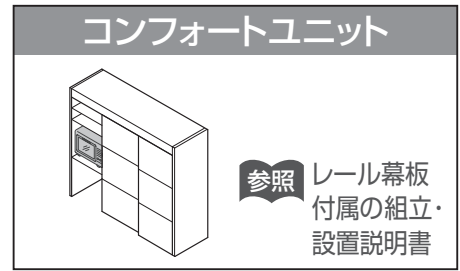
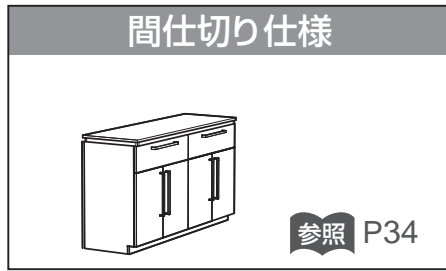
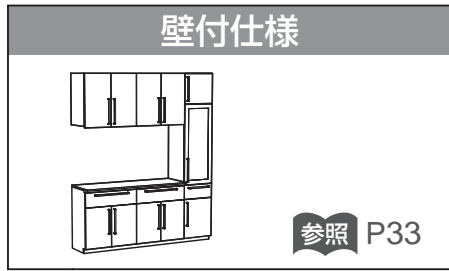
- 左右両側の段差をそろえる
- 扉がサイドパネルより飛び出さないこと



※図はアイランドタイプ

2 ユニットの取り付け【フラット対面型／D970 開き扉タイプ】

周辺ユニット



[単位: mm]

壁付仕様

周辺ユニット 取り付けの前に

配管まわしキャビネットがプランに含まれる場合は、周辺より先に取り付けてください。
※組立・設置説明書は配管まわしキャビネットに付属しています。

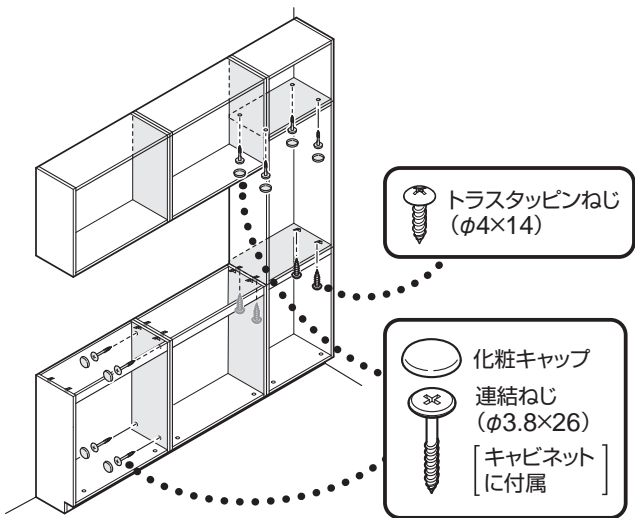
1 キャビネットの取り付け

〈事前準備〉

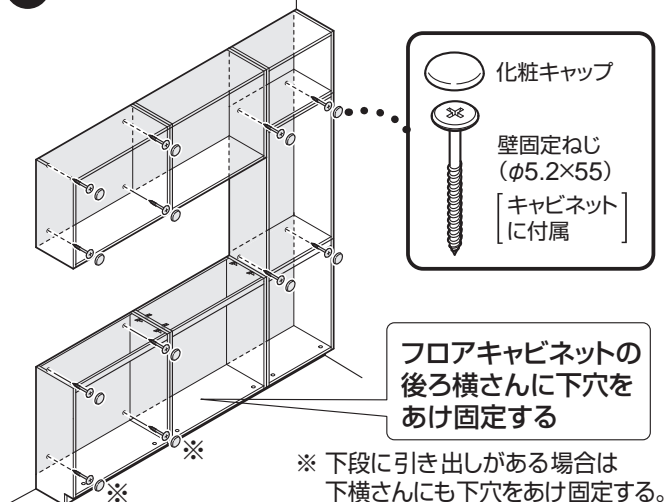
後横さんへキャビネット背面より固定用貫通穴をあける

1 連結

※ 上下連結は必ず下のキャビネットから連結する



2 壁固定



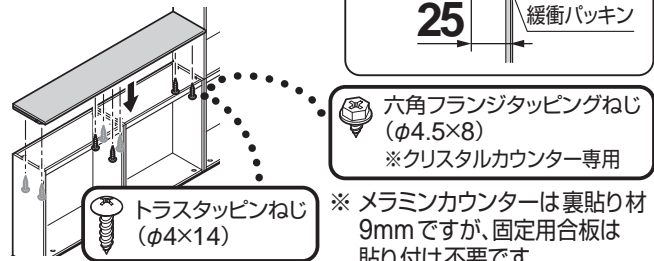
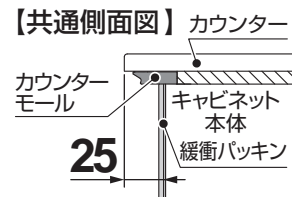
2 カウンターの取り付け

直接固定タイプ

対象品番	カウンター種類	裏貼り材厚み	固定ねじ長さ
KTCP~	メラミン※	9mm	14mm
KTCS~	ステンレス	20mm	14mm
KTCB~	ライトストーン	15mm	14mm
KTCC~	クリスタル	9mm	8mm

重要

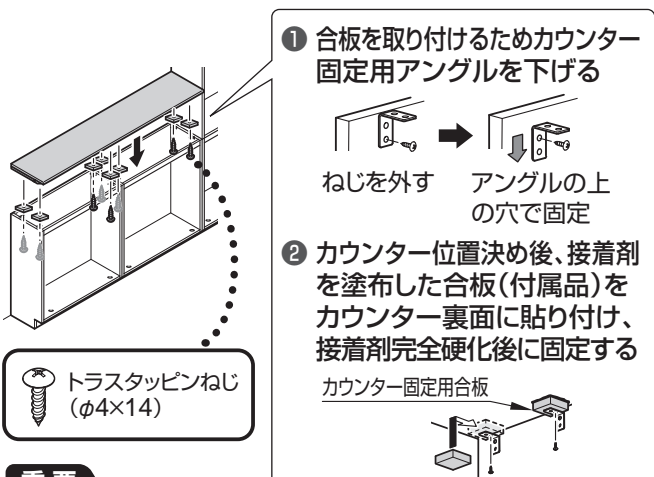
指定以外のねじは使用しない
固定が弱くなる、またはカウンターが
割れるおそれがあります。



合板接着固定タイプ

参照 カウンター固定セット付属の
組立・設置説明書

対象品番	カウンター種類	裏貼り材厚み (合板厚み)	固定ねじ長さ
KTCD~	コーリアン	15mm	14mm



重要

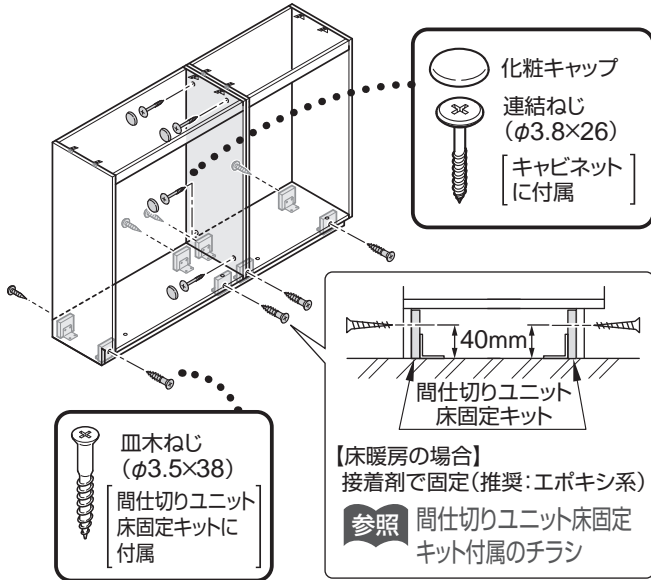
必ず付属品の15mm合板を貼る

3 けこみパネルの取り付け

参照 P35 けこみパネル

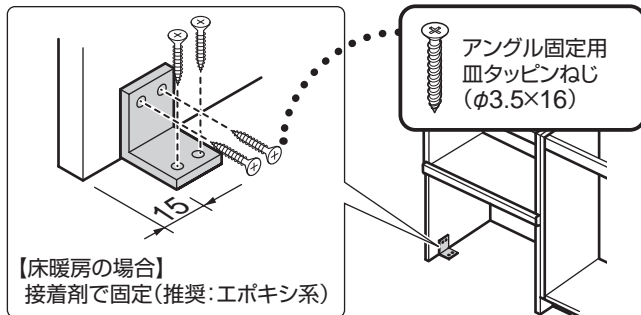
間仕切り仕様

1 連結・床固定



●オープンキャビネットの場合

隣接するキャビネットがない場合や側面がオープンの場合は、付属のLアングルで床面に固定する

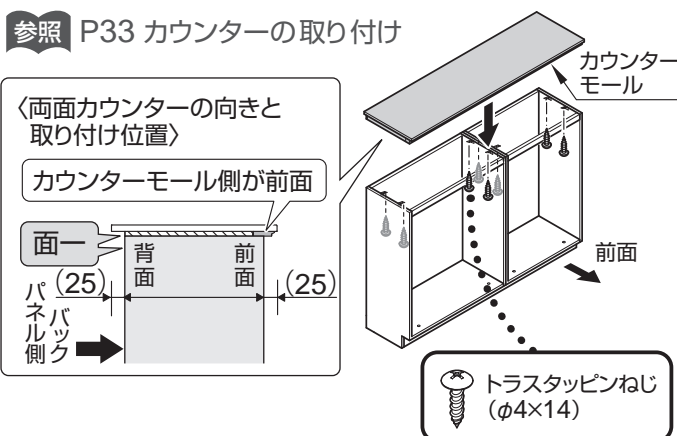


⚠注意

床暖房設備がある場合は、床にねじ固定しない
禁止 設備が破損するおそれがあります。

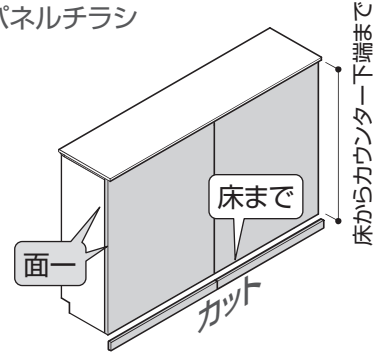
2 カウンターの取り付け

参照 P33 カウンターの取り付け



3 バックパネルの取り付け

参照 バックパネルチラシ



※ねじ袋は2つ、ねじは3種類付属します。

(バックパネルに付属)

固定するキャビネットによって使用するねじの種類が異なるため注意が必要です。

重要

ねじとキャビネットの組み合わせに注意する

4 けこみパネルの取り付け

参照 P35 けこみパネル

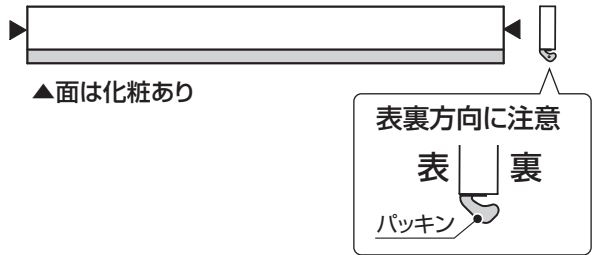
2 ユニットの取り付け【周辺ユニット】

3. 部材の取り付け

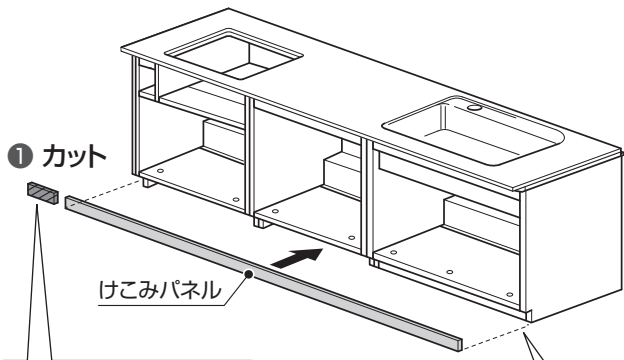
[単位: mm]

1 けこみパネル

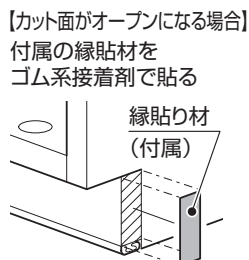
※ 設置床部の不陸に対応 (最大10mm) できる仕様です。



1 カット・位置決め

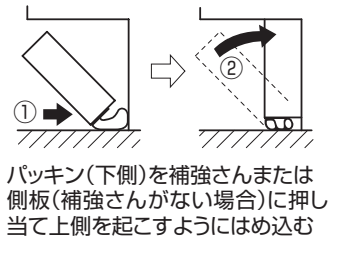


1 カット



[カット面がオープンになる場合] 付属の縁貼材をゴム系接着剤で貼る

2 位置決め

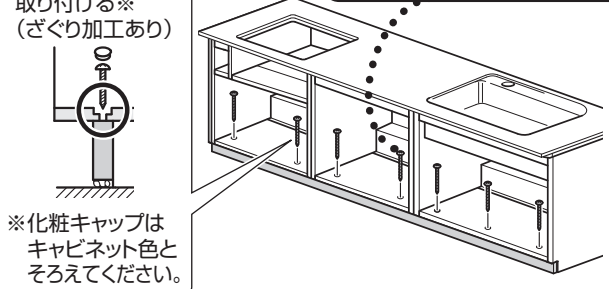
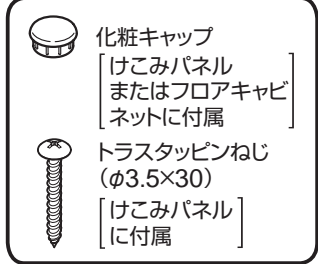


2 ねじ固定

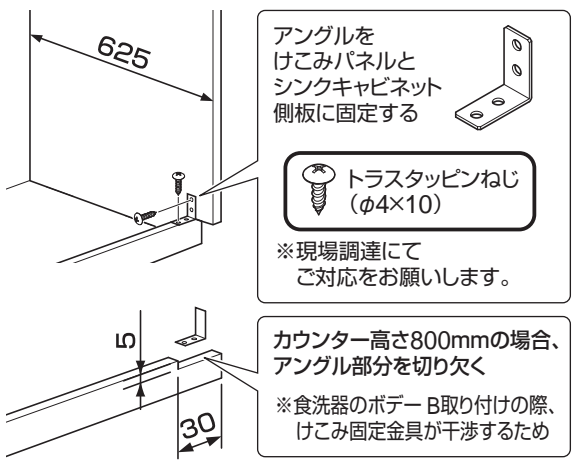
【引き出しの場合】化粧キャップ取付不要 (ざぐり加工なし)

【開き扉の場合】化粧キャップを取り付ける※ (ざぐり加工あり)

※化粧キャップはキャビネット色とそろえてください。



※ シンクキャビネット(オープン)の隣に深型食洗機が設置された場合

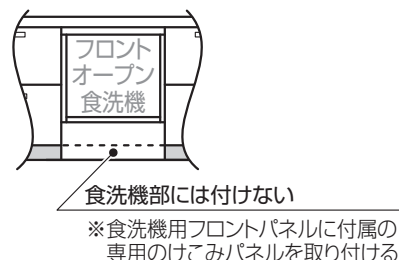


【おさまり例】

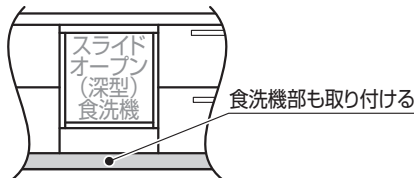
● オープンレンジがある場合



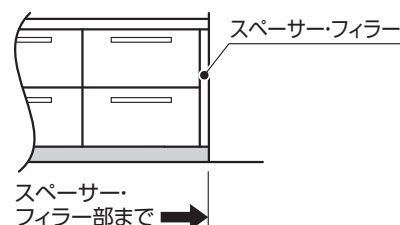
● フロントオープン食洗機がある場合



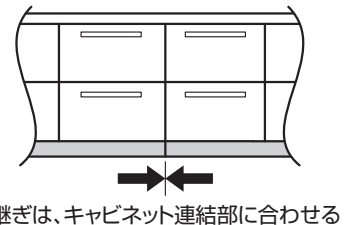
● スライドオープン(深型)食洗機がある場合



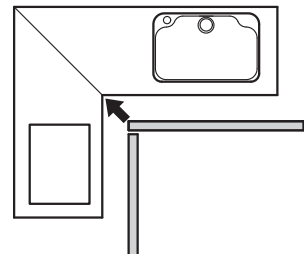
● スペース・フィラーがある場合



● 2枚使用する場合



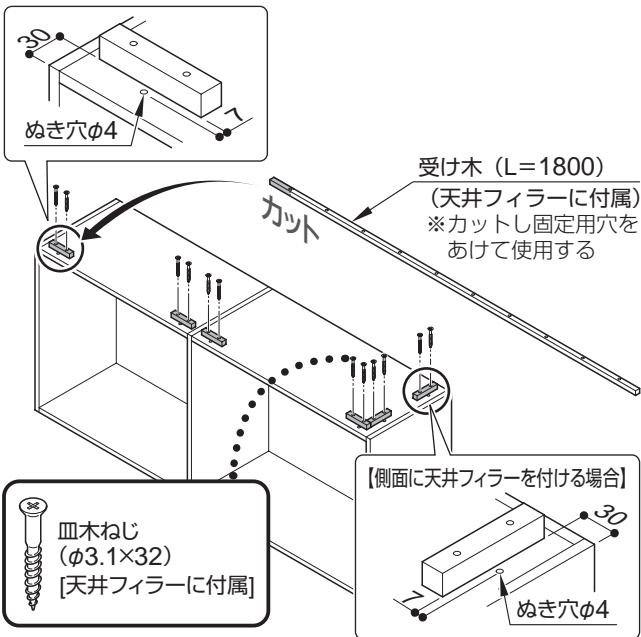
● L型の場合



2 天井フィラー

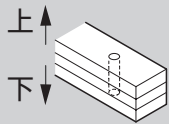
① 受け木の取り付け・ぬき穴あけ

※キャビネット設置前に取り付けてください。

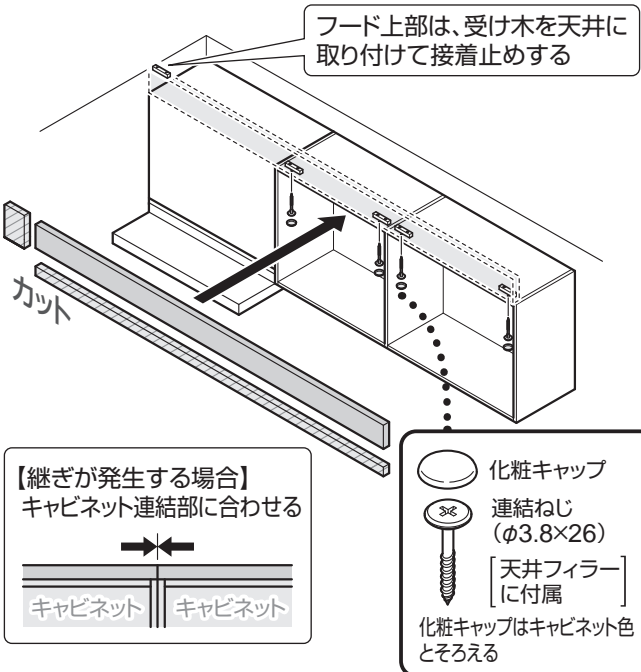


重要

受け木は穴のない部分を使用する場合、上下方向に注意する
積層面にねじを打たないでください。

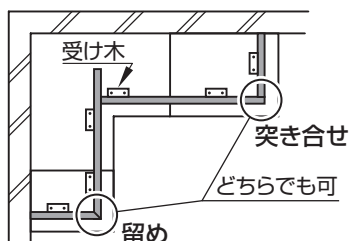


② 天井フィラーのカット・取り付け

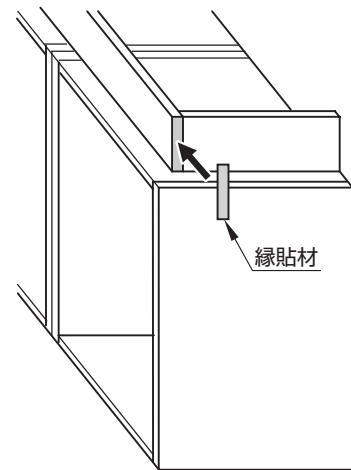


【おさまり例】

●L型の場合



- 突き合わせ接合でカット面がオープンになる場合
付属の縁貼材をゴム系接着剤で貼る



- フードのみ(ウォールキャビネットなし)の場合

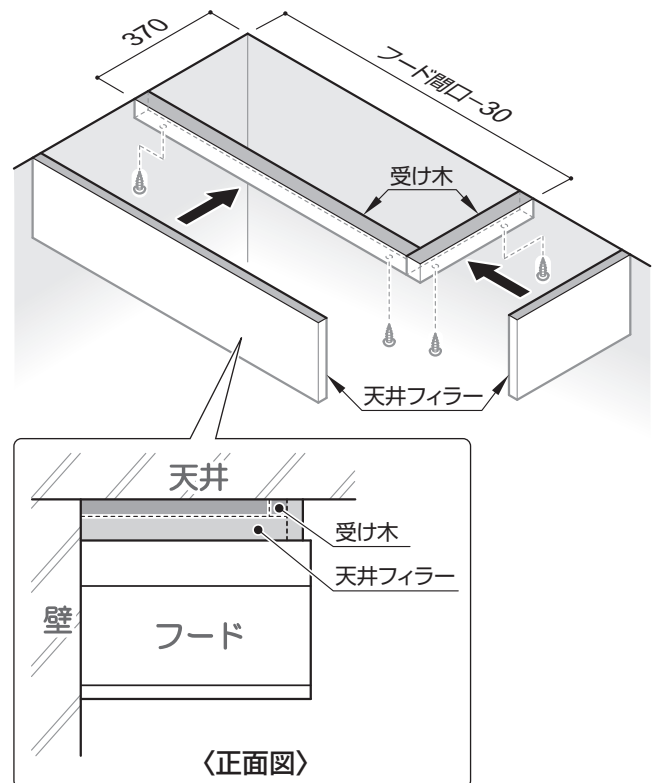
① 受け木(天井フィラー付属)の取り付け(天井面)

- ※ 野縁などに確実にねじ固定する
- ※ 必ずフードの取り付け前に取り付ける

② 天井フィラーの取り付け

- ※ キッチンパネル用の両面テープと接着剤(現場調達)または同等のもの

※図はフード左側が壁の場合



注意

- ！ 天井面への受け木取り付けおよび受け木への天井フィラー取り付けは確実に取り付ける
取り付けを誤ると天井フィラーが落下してけがをするおそれがあります。
- 必ず実行

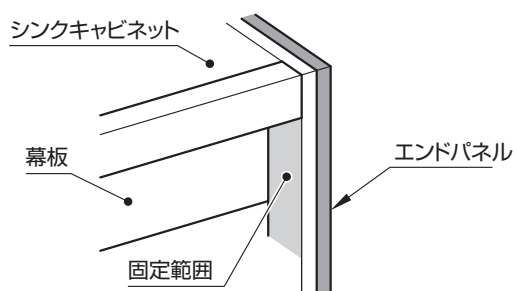
3

部材の取り付け

3 エンドパネル

●シンクキャビネットの場合

エンドパネルは下図の範囲内に固定する

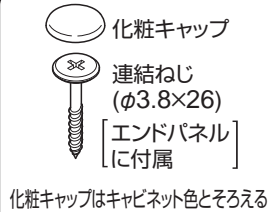
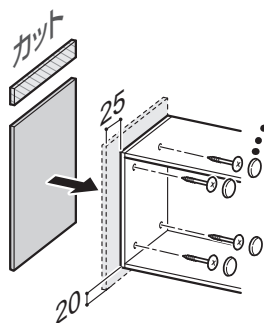


●アウトセット(片面仕様)の場合

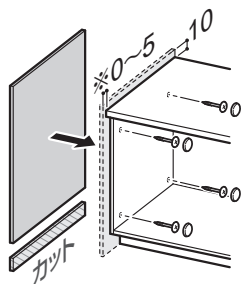
重要

- カットは高さ方向のみ
- 奥行き方向はカットしない
- エンドパネルよりカウンター前面が出ないこと

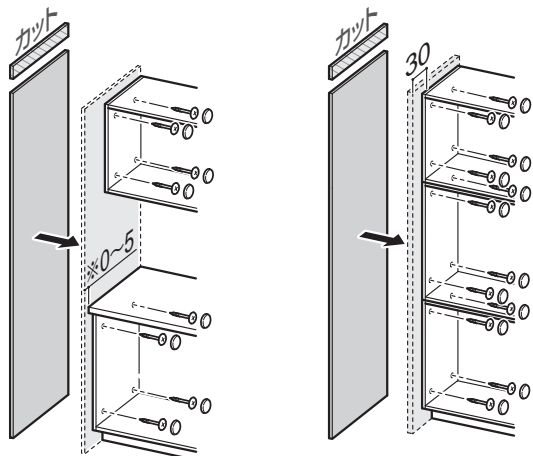
〈ウォール用エンドパネル〉



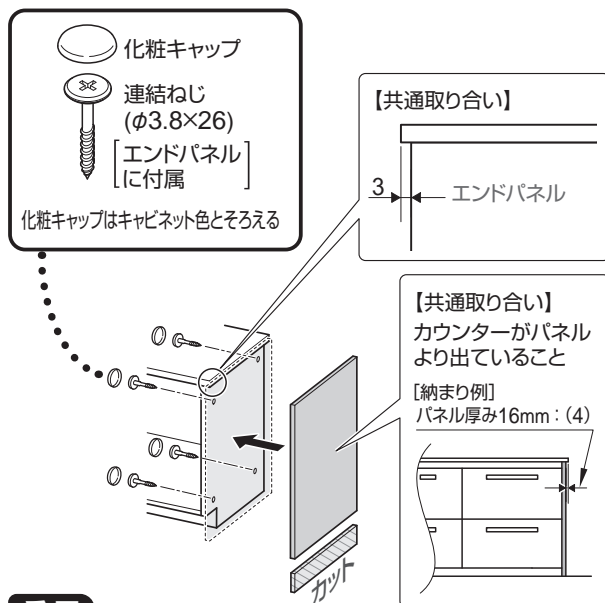
〈フロア用エンドパネル〉



〈トール用エンドパネル〉



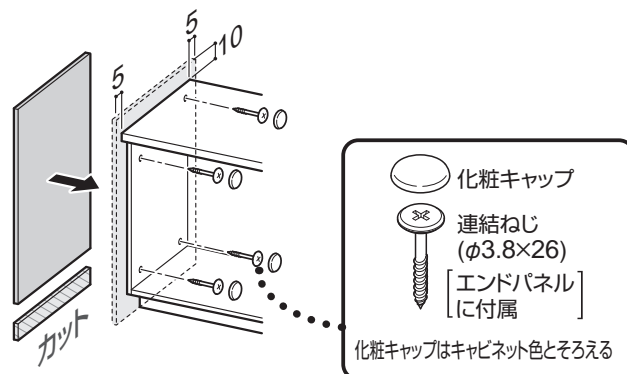
●インセットの場合



重要

- カットは高さ方向のみ
- 奥行き方向はカットしない

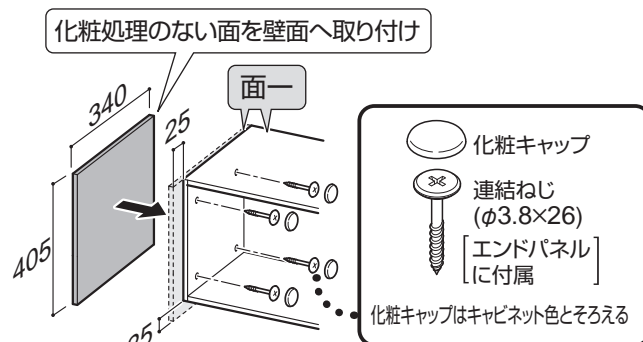
●アウトセット(間仕切り仕様)の場合



重要

- カットは高さ方向のみ
- 奥行き方向はカットしない
- エンドパネルよりカウンター前面が出ないこと

●アイレベルウォール用の場合



重要

- 化粧処理のない面を壁面に取り付ける
- カットは不要

4

キャビネット内の部材 (排水金具ガード・浄水器カートリッジホルダー・ラクラクボックス・その他)

※引き出しの底板がステンレスの場合は、青い保護シートを外してから部材を取り付けてください。

排水金具ガード

参照 排水金具カード付属の組立・設置説明書

2段引き出しシンク用キャビネット(D=625)に付属

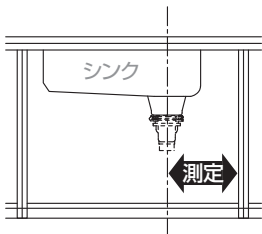
※I型スリム(D=600)プランには排水金具ガードは取り付け不要です。

1 位置決めをする

1 シンクの種類を確認する

シンク種類	スクエアすべり台シンク	スマイルクリーンシンク スペースアップシンク
		※スペースアップシンクS スマイルクリーンシンクS含む

2 シンクキャビネット内部を測る



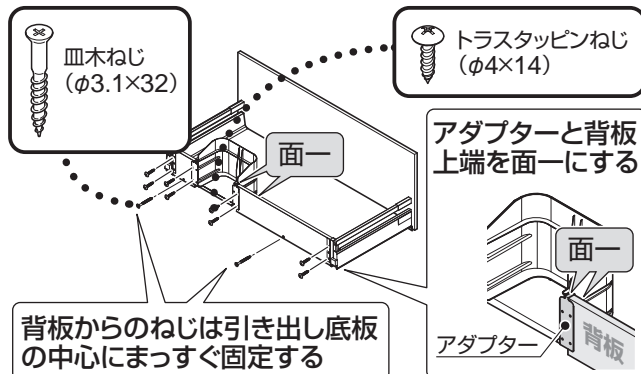
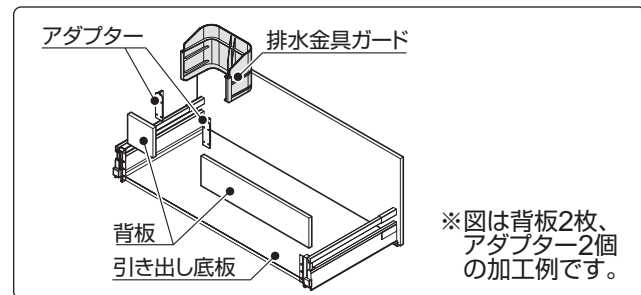
重要

各シンクの排水位置を確認し、排水金具ガードを取り付ける

引き出しに背板が付いていないため、付属の背板とアダプター、排水金具ガードを組み合わせて設置します。各シンク(排水金具)位置により、排水金具ガードの位置が異なります。

2 引き出しの背板を加工する

シンク用キャビネットの間口、シンクの排水位置により使用する部材と数量が異なります。



注意



必ず排水金具ガードを取り付ける

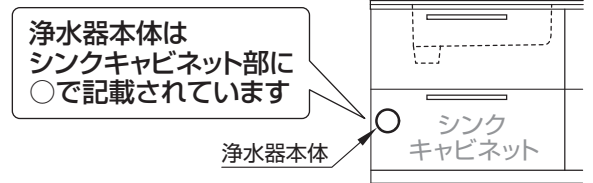
取り付けないと、排水金具と引き出し収納物とが干渉し、必ず実行 水漏れの原因になります。

浄水器カートリッジホルダー

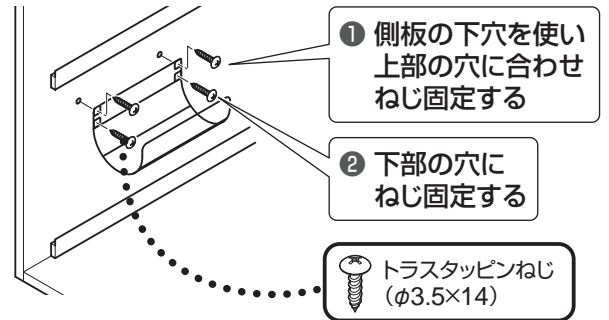
1 取り付け位置確認

レイアウト図面で浄水器本体の位置を確認する

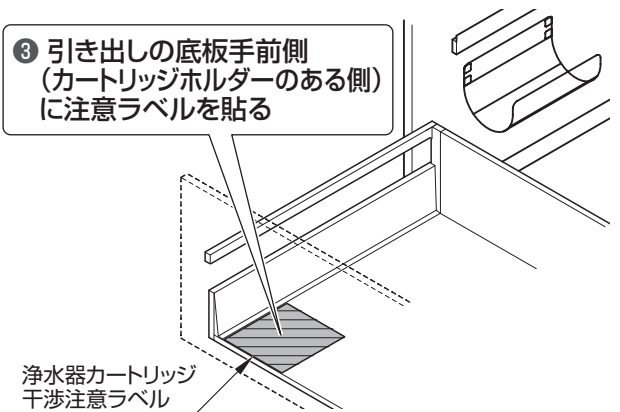
〈レイアウト例:左側設置〉



2 取り付け



3 引き出しの底板手前側 (カートリッジホルダーのある側) に注意ラベルを貼る



3

部材の取り付け

ラクラクボックス

2段引き出しシンク用キャビネット(D=625)に付属

1 ラクラクボックスを上を持ち上げて取り外す

2 付属ねじの取り付け

〈框扉以外の場合〉

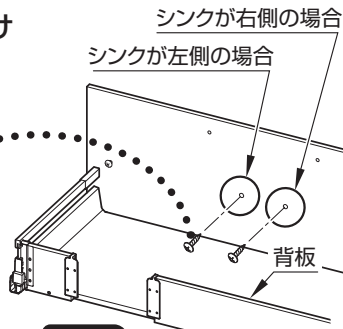
トラスタッピンねじ
(φ3.5×10)

〈框扉の場合〉

スペーサー
(φ4×5.5)

座金組込みなべ小ねじ
(φ3×8)

[シンクキャビネットに付属]



重要
取り付け位置に注意する

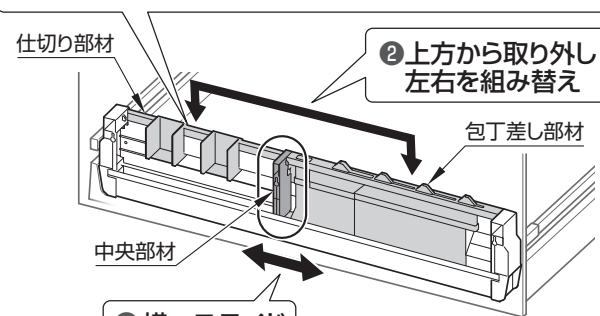
3 包丁差し部材、仕切り部材の左右を組み替え

〈シンクが左側の場合〉

〈シンクが右側の場合〉

包丁差し部材
(上から見て左側)

包丁差し部材
(上から見て右側)



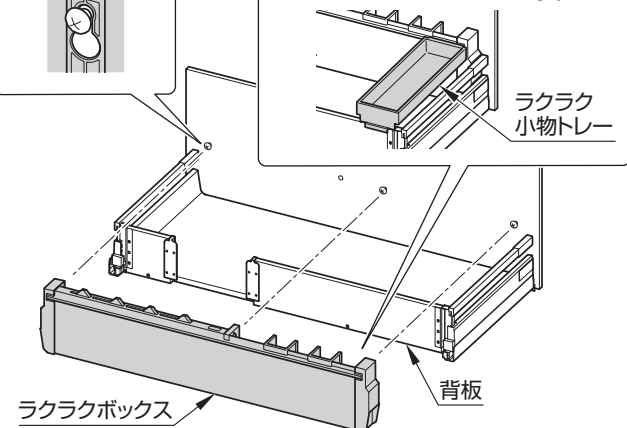
重要
取り付け位置に注意する

4 ラクラクボックスの取り付け

※ 図は右シンクの場合

1 ねじに掛ける

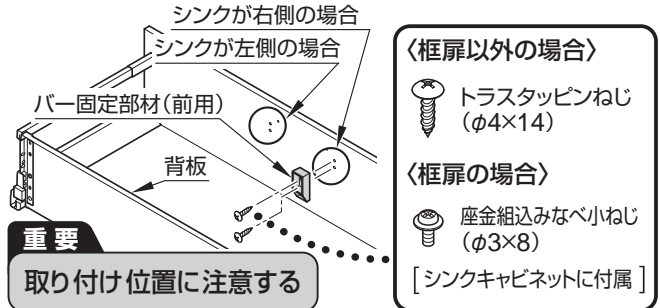
2 ラクラク小物トレーは背板とラクラクボックスに掛ける



スライドトレイ

2段引き出しシンク用キャビネット(D=625・スライドトレイ付き)の下段に付属

1 バー固定部材(前用)の取り付け



〈框扉以外の場合〉

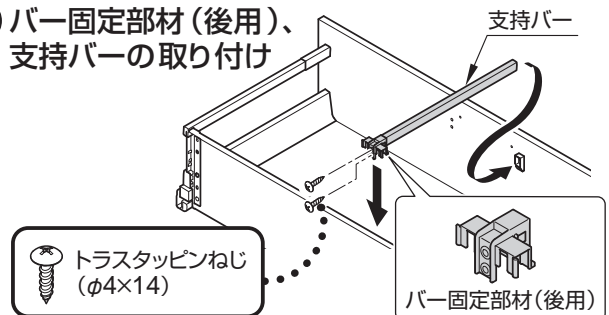
トラスタッピンねじ
(φ4×14)

〈框扉の場合〉

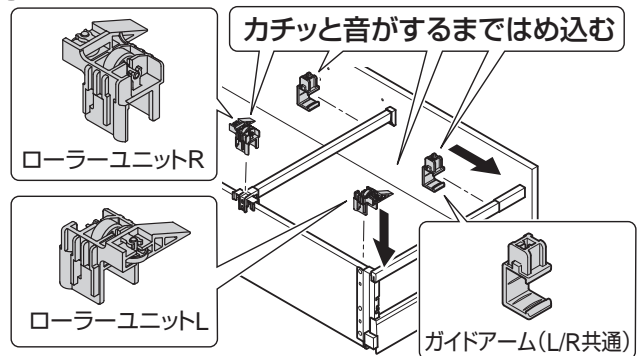
座金組込みなべ小ねじ
(φ3×8)

[シンクキャビネットに付属]

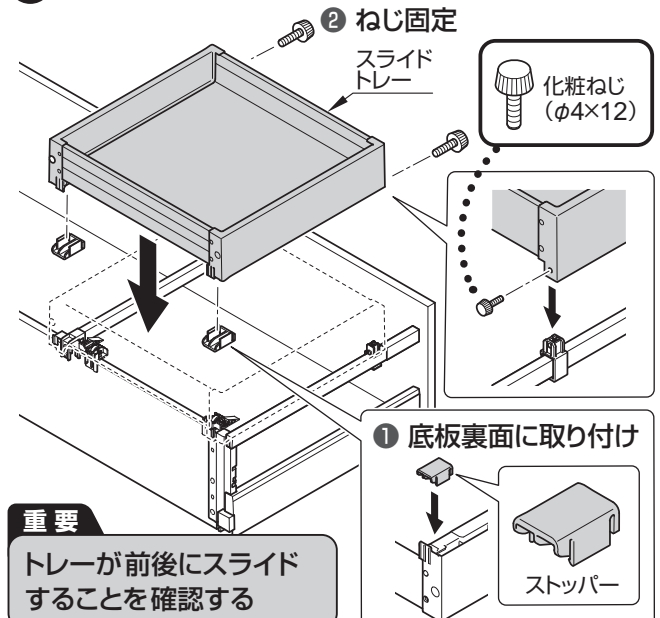
2 バー固定部材(後用)、支持バーの取り付け



3 ガイドアーム、ローラーユニットの取り付け



4 スライドトレイの取り付け



キャビネット内の部材 (つづき)

ガス配管保護カバー

コンロ用キャビネット上部の下穴に合わせて固定する

参照 ガス配管保護カバー付属のチラシ

※2段引き出しタイプでガスコンロが設置される場合に取り付けてください。

コンロ用キャビネット
ガス配管保護カバー

トラスタッピンねじ
(φ4×14)

注意



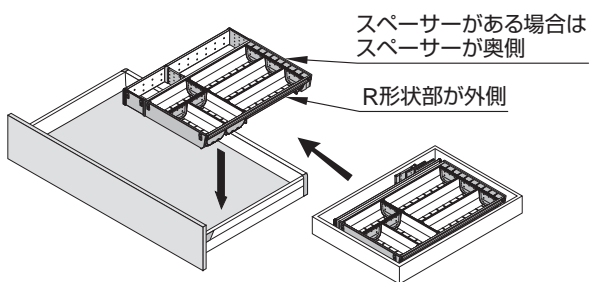
必ずガス配管保護カバーを取り付ける

取り付けないと、ガス栓やガス管と収納物が干渉し、
必ず実行 ガス漏れの原因になります。

カトラリーボックス(オプション)

調理スペース下キャビネットおよび周辺キャビネットの最上段に設置する

- 包装箱に表示されている完成図に合わせて、引き出しの片端に寄せて設置してください。
- 完成図が表示されていない場合はそのまま設置してください。

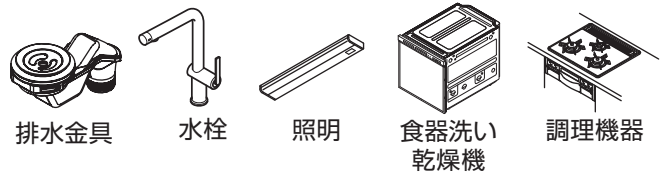


奥行きはピッタリ合いますが、
間口はスペースが空きます。

※ 図はW750用
(品番により形状・組み合わせが異なります。)

5 排水金具・水栓金具・機器類・その他

参照 それぞれに付属の組立・設置説明書



注意

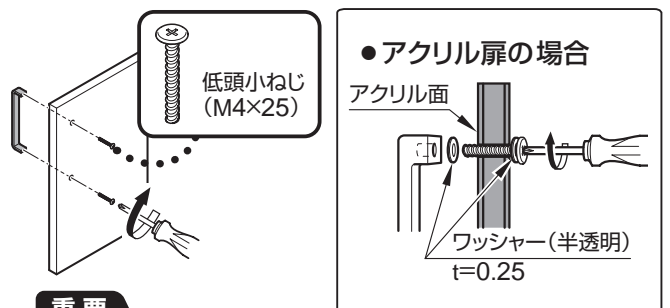


付属の組立・設置説明書および本体の注意表示を必ず確認し、正しい取り付けを行う

必ず実行 取り付け方法を誤ると、事故や故障の原因となるおそれがあります。

6 取っ手

扉、引き出し前板に付属の取っ手を取り付ける

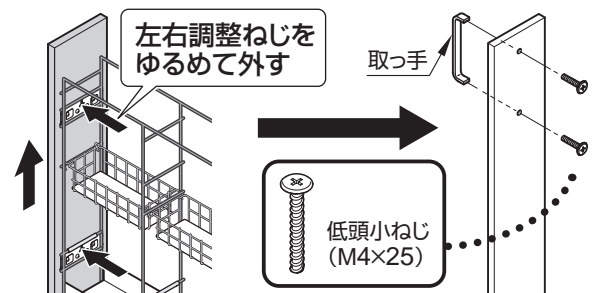


重要

- ワッシャーを必ず取り付ける(アクリル扉のみ)
- ハンドドライバーで締める
- 締めすぎに注意
締めすぎると破損の原因になります。
- ねじロック剤や接着剤は使用しない
破損の原因になります。(アクリル扉のみ)

調味料・一升びんラックの場合

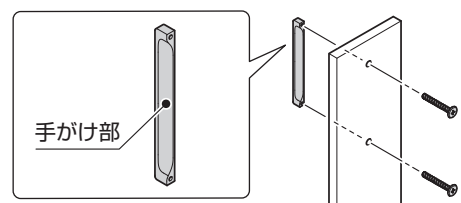
ラックが干渉して取っ手が取り付けられない場合は、
前板を外した状態で取り付ける



参照 P43 調味料・一升びんラック

スリム取っ手の場合

取っ手の手がけ部が外側になるように取り付ける



4. 着脱と調整

注意

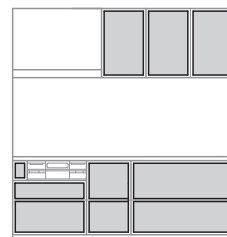


必ず実行

扉と引き出しの調整は電動工具を使わないで、ハンドドライバーを使用して必ず手回しで行う
破損の原因となり、使用中に落下してけがをするおそれがあります。

重要

扉や引き出し取り付け後は、扉と扉の左・右・上・下のすき間が均等、扉表面が面一となるように調整する

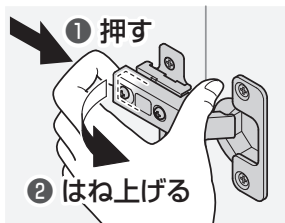


[単位: mm]

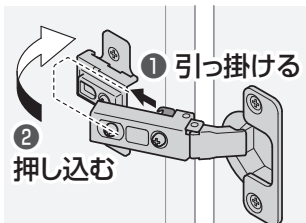
1 扉

開き扉

【取り外し】



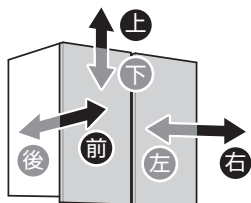
【取り付け】



【調整方法】

〈前後調整〉(±2)

調整ねじを回して調整



〈上下調整〉(±2)

調整ねじをゆるめて両手で支えながら調整し、調整後ねじを締める

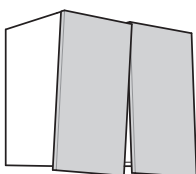
〈左右調整〉(±2)

調整ねじを回して調整
※回し過ぎに注意
(ねじが脱落(破損)し、調整できなくなります。)

● 上記調整で対応できない場合

ウォールキャビネットの固定時に、キャビネット自体をゆがめて取り付けしている可能性があります。キャビネットの取り付け状態を確認し、修正してください。

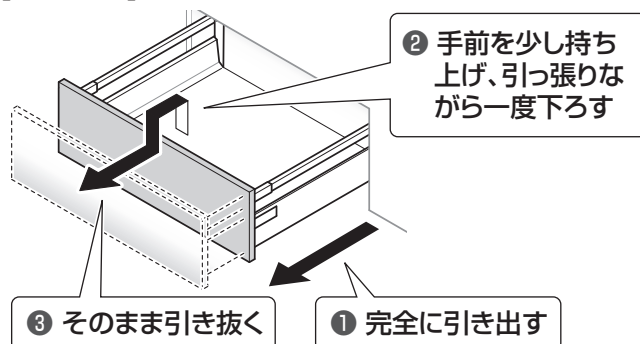
参照 P10・11 ウォールキャビネットの取り付け



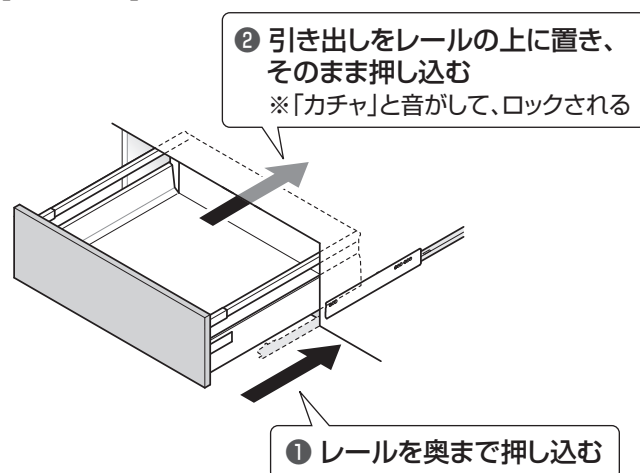
2 引き出し

1. 引き出し

【取り外し】



【取り付け】



注意



必ず実行

引き出し取り付け後は必ず引き出しを2~3回最後まで押し込み、引き出しを引き出した状態で扉を下に押ししても引き出しの背板が持ち上がらないことを確認する

正確に取り付けられていないと、使用中に引き出しが外れてけがをするおそれがあります。

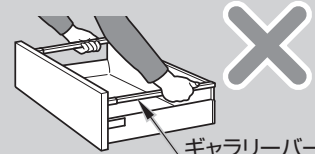
注意



禁止

ギャラリバー部分を持たない

ギャラリバーが外れて引き出しが落下し、けがをするおそれがあります。



ギャラリバー

4

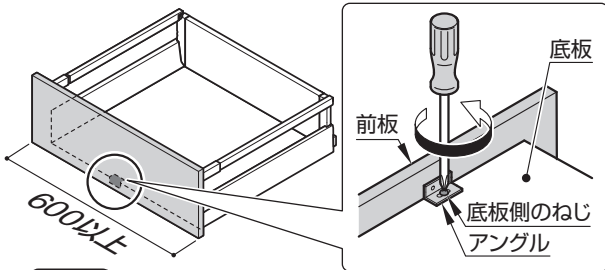
着脱と調整

引き出し(つづき)

1.引き出し(つづき)

【調整方法】

- W600以上の場合
引き出し底板裏面にあるアングルのねじをゆるめる



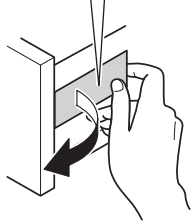
重要

調整後は必ず、ねじを締めつける

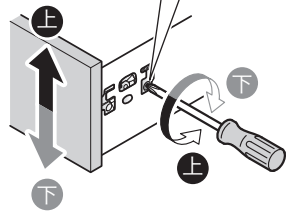
引き出しの扉と底板の間にすき間が発生、また底板のたわみの原因になります。

〈上下調整〉(±2.0)

- 1 引き出し側面のキャップを取り外す

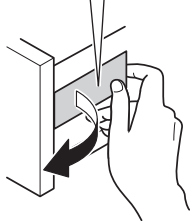


- 2 上下調節ねじを回して調整する

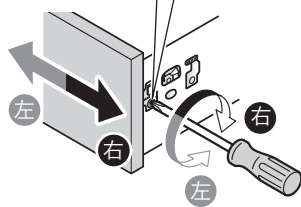


〈左右調整〉(±1.0)

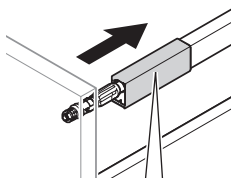
- 1 引き出し側面のキャップを取り外す



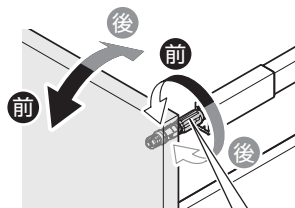
- 2 左右調節ねじを回して調整する



〈傾き調整〉



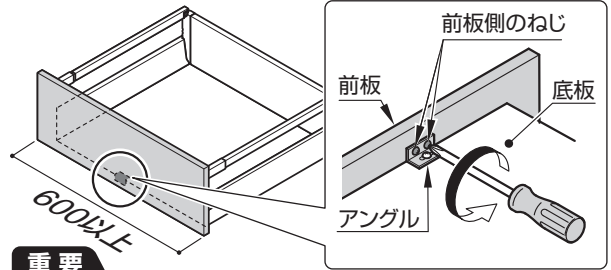
- 1 カバーキャップをキャビネット奥行き方向にスライドさせる



- 2 中の部品を回転させて調整する

【前板の取り外し】

- W600以上の場合
引き出し底板裏面にあるアングルのねじを外す



重要

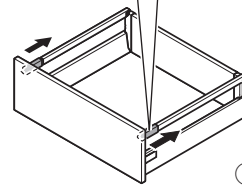
調整後は必ず、ねじを取り付ける

引き出しの扉と底板の間にすき間が発生、また底板のたわみの原因になります。

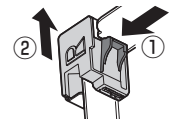
- ギャラリーバーがある場合

※ギャラリーバーを取り外さないと前板は外せません。

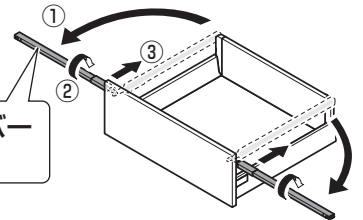
- 1 カバーキャップをキャビネット奥行き方向にスライドさせる



- 2 樹脂のツメを押し込んだ状態で上に引き抜く

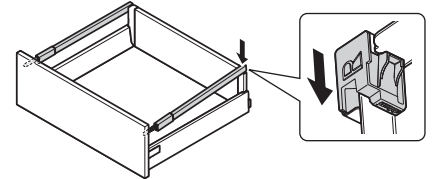


- 3 ギャラリーバーを取り外す

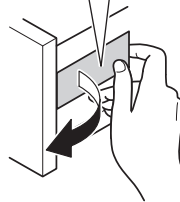


【ギャラリーバーの取り付け】

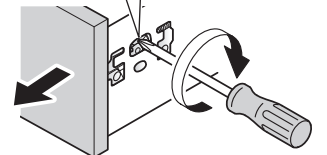
取り外しと逆の手順で取り付ける



- 1 引き出し側面のキャップを取り外す

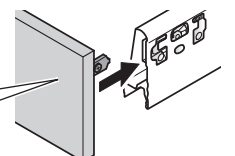


- 2 両側の前板取外ねじを回して取り外す



【前板の取り付け】

前板を前面から、カチッと音がするまではめ込む

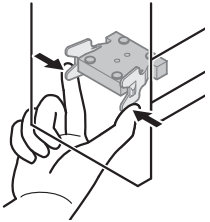


引き出し(つづき)

2. 調味料・一升びんラック

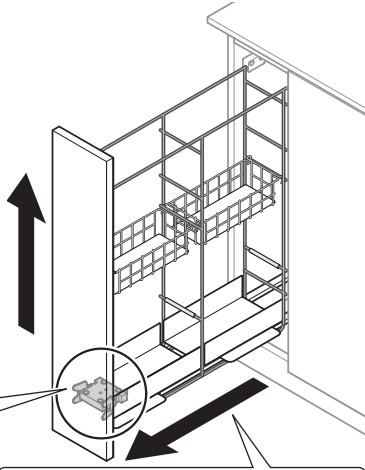
【取り外し】

- レバーを内側に押し込みながら、引き出しを上方へ持ち上げる



内側のトレーを外し、外側からレバーを操作することもできます。

- 引き出しを完全に引き出す



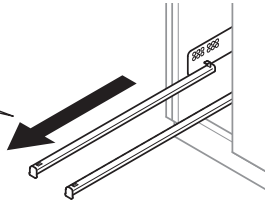
重要

無理に外さない

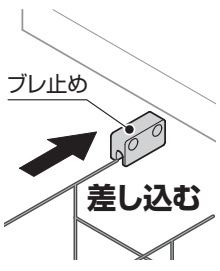
作動不良や破損のおそれがあります。

【取り付け】

- レールを完全に引き出す

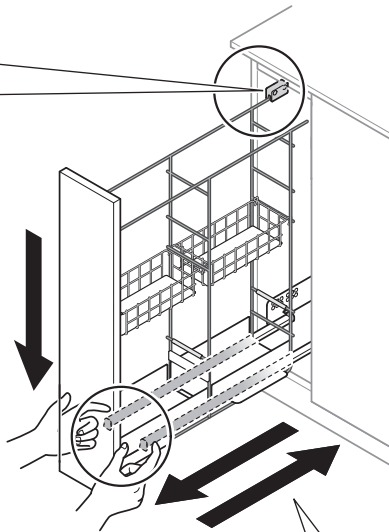


- プレ止めに通しながら、レールに置く



プレ止め

差し込む



- 左右のレールの先端部を前板側へ最後まで確実に引き寄せる

重要

必ず実施する

引き出しの落下・破損の原因になります。

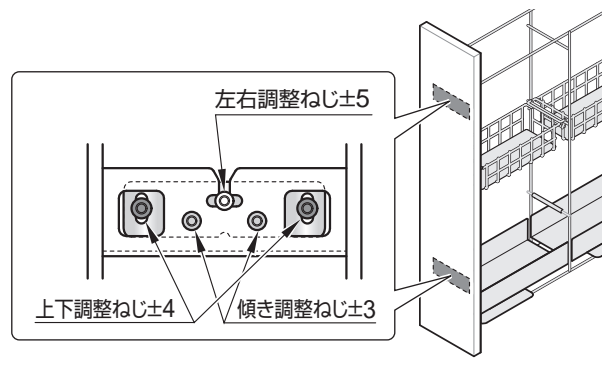
前板

レール先端部
約6~9mm

- そのまま押し込む

「カチカチ」と音がしてロックされます。取り付け後は2~3回開閉して、確実に取り付けられていることを確認してください。スムーズに動かない、ぐらつきはないか確認してください。

【調整方法】



〈上下調整〉(±4.0)

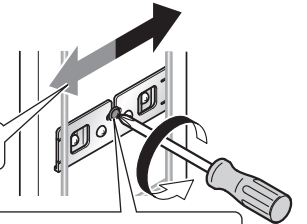
- 前板をずらす



- 上下調整ねじをゆるめる
- 上下調整ねじを締める

〈左右調整〉(±5.0)

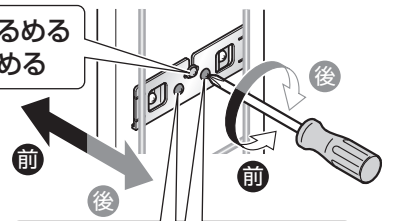
- 前板をずらす



- 左右調整ねじをゆるめる
- 左右調整ねじを締める

〈傾き調整〉(±3.0)

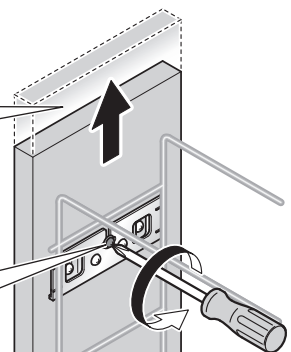
- 左右調整ねじをゆるめる
- 左右調整ねじを締める



- 傾き調整ねじを回して、傾きを調整すること。
※左右均等に調整すること。

【前板の取り外し】

- 前板をもちあげる



- 左右調整ねじをゆるめる

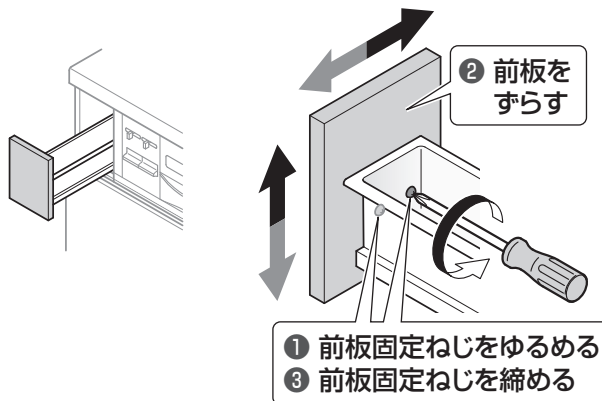
【前板の取り付け】

取り外しと逆の手順で取り付ける

引き出し(つづき)

3. コンロ用フロアキャビネット小引き出し

【調整方法】 (上下±1.5 / 左右±1.0)

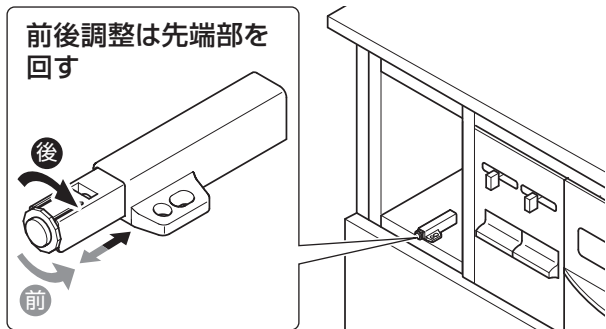


4. プッシュラッチ

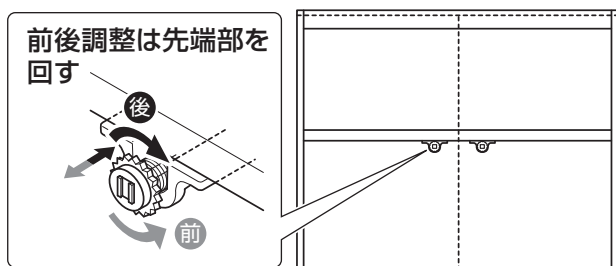
※製品によって使用するプッシュラッチの形状が異なります。

【調整方法】

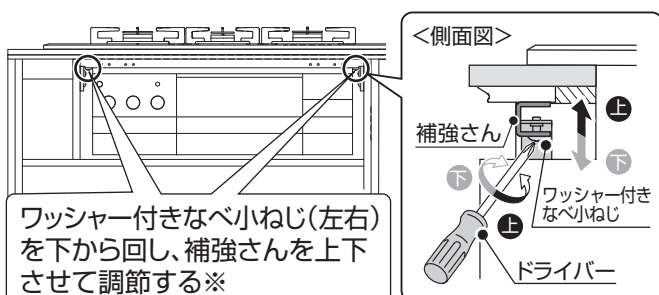
コンロ用キャビネット小引き出し部



フラット対面用開き扉



3 カウンター上下調整 (コンロ用キャビネット)



※グリルレスコンロ用キャビネット/オープンレンジは調整できません。

参照 P15 カウンターの取り付け

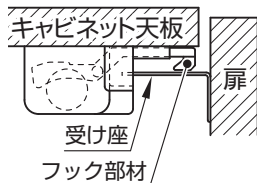
4 キャッチ機構

【特長】

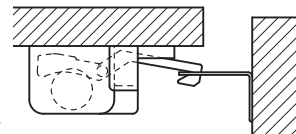
キャビネットが揺れていたり、傾いた状態のとき、内部のボールの動きにより、本体のフック部材が下がった状態を維持しようとします。

扉を閉めると自動的に開け閉めできる状態に戻ります。

【通常時】



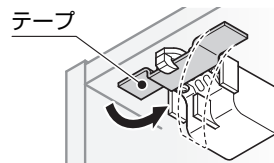
【作動時】



揺れ感知

【注意】

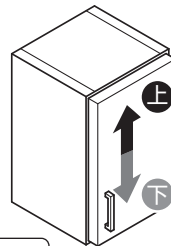
搬送中の破損防止対策として、ロック爪をテープで固定しています。組立・設置完了後、テープをはがしてください。



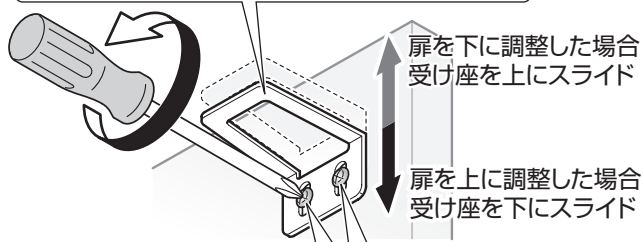
【調整方法】

● 扉を上下に調整した場合

キャッチ機構の受け座の位置を調整する



② 受け座を上下にスライドさせて調整する
受け座本体調整代(上:3.5mm 下:3.5mm)



扉を下に調整した場合
受け座を上へスライド

扉を上へ調整した場合
受け座を下へスライド

① 固定ねじをゆるめる
③ 固定ねじを締める

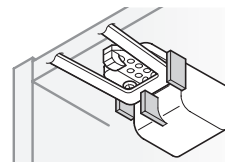
重要

以下のことを確認する

- 受け座が水平になっている
- 受け座が変形していない
- ねじが空回りして弱くなっていない

受け座が斜めになっていたり、変形していると正しく機能しない可能性があります。

〈調整後の確認〉



重要

扉が完全に閉まることを必ず確認する

扉が閉まらない場合や異音がある場合は再度、扉および受け座を調整して扉が完全に閉まるようにしてください。

5.コーキング処理

注意

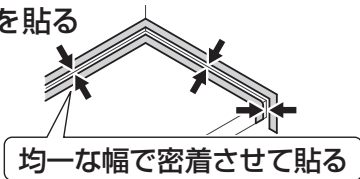


- 取り付け・仕上げに使われる、接着剤・洗剤・その他薬品類については、容器などに記載の注意表示に従って、正しく使う
誤った使いかたをすると、人体に影響が出たり、キッチン部材・床・壁の損傷や劣化の原因になります。
- 確実にシリコンシール剤でシールする
シールが不足や不完全な場合、水こぼれでキッチン全体やエンドパネルおよび壁や床をいためるおそれがあります。

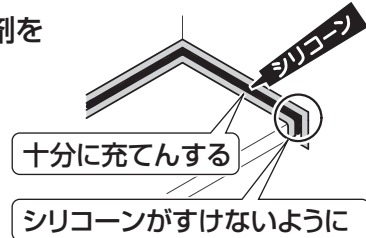
コーキング処理の手順

シリコンシール剤塗布部はエタノールなどで必ずふき取る

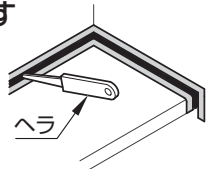
① マスキングテープを貼る



② シリコンシール剤を充てんする



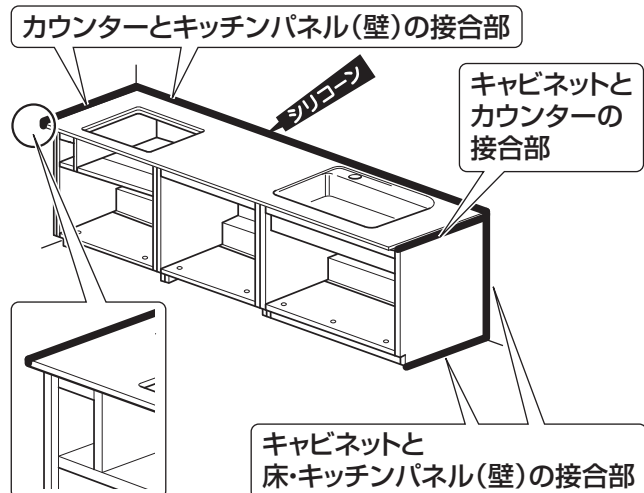
③ ヘラを使って凸凹がないように仕上げ、マスキングテープをはがす



コーキング部位

キッチンカウンター周辺の水はねや水だれなどのおそれのある部位は、シリコンシール剤でシールする

- ※ 壁面がキッチン取り付け後、建築工事による仕上げの場合は、コーキング処理も材工建築工事となります
- ※ 図はシンク側オープン、エンドパネルなしの場合



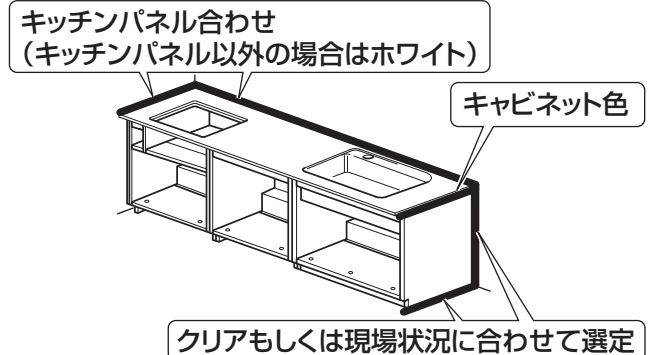
【シリコン使用部位と色】

※各接合部位に応じて使い分けてください。

接合部位		色
カウンター	壁 (キッチンパネルなし)	ホワイト
	壁 (キッチンパネルあり)	ホワイト・アイボリー・ライトグレー (キッチンパネル色合わせ)
	キャビネット	ホワイト・ダークグレー (キャビネット色合わせ)
	エンドパネル	クリア
キャビネット エンドパネル	躯体(壁・床)	クリア (もしくは現場状況に合わせて選定ください)

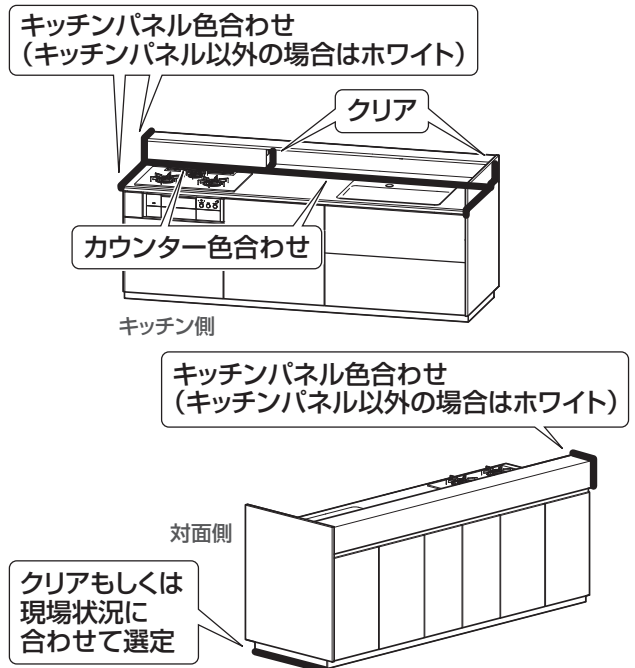
【例1: シリコン使用部位と色】

※ 図はシンク側オープン、エンドパネルなしの場合



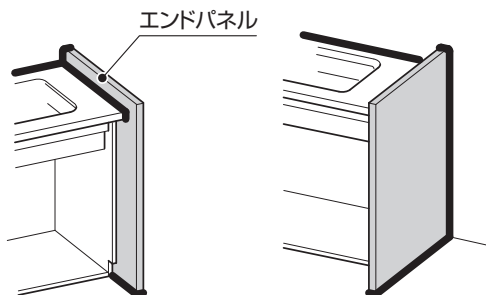
【例2: スリム対面・収納充実型のシリコン使用部位と色】

※ シリコン色の詳細は収納カウンター付属のチラシをご確認ください。

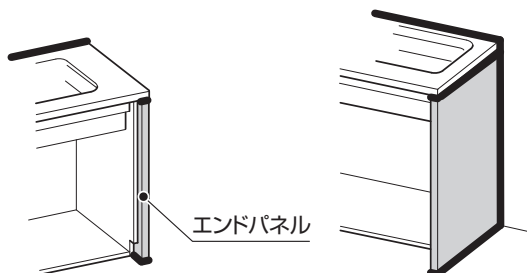


コーキング部位 (つづき)

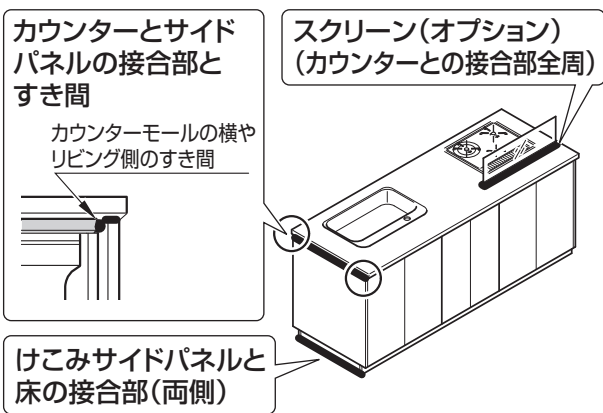
- エンドパネル(アウトセット)が付く場合



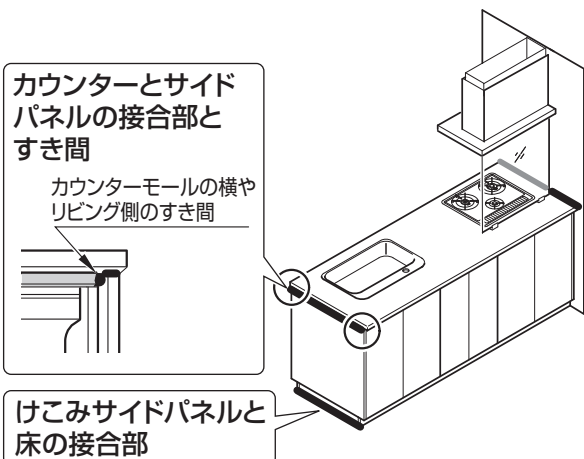
- エンドパネル(インセット)が付く場合



- フラット対面、スリム対面・フラット型 (アイランド) の場合

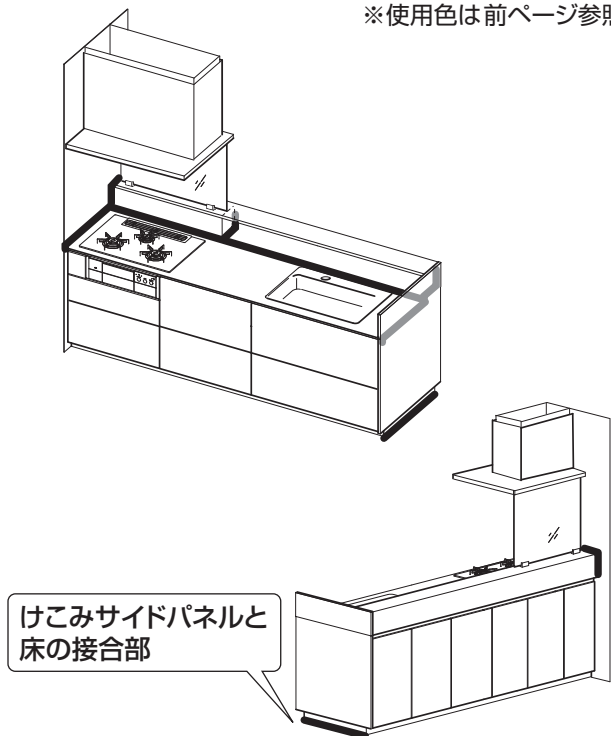


- フラット対面、スリム対面・フラット型
クリアパーティション(片側壁付)の場合

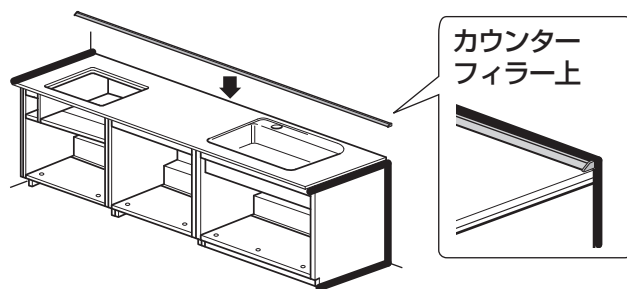


- スリム対面・収納充実型クリアパーティション(片側壁付)の場合

※使用色は前ページ参照



- カウンターフィラーの場合

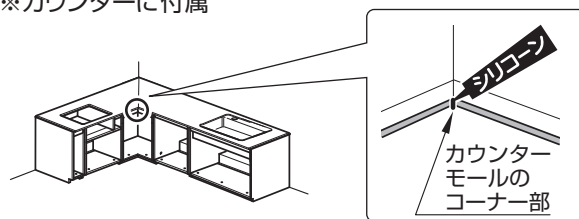


- I型コーナーが隣接する場合
(シリコン色はクリア)



- L型カウンターモールドコーナー部の場合
(シリコン色はライトグレー色、またはダークグレー色)

※カウンターに付属



※ 指定部以外で躯体とキャビネットにすき間が生じる場合などは、現場判断ですき間を埋めてください。(その場合のシリコンは現場調達です。)

6. 清掃・検査・養生

清掃

すべての作業完了後、清掃を行ってください。

検査

シンクキャビネットに付属の「組立・設置完了報告書」を使用して水漏れ・外観・機能・傷などの検査を必ず実施してください。

必ず検査を実施してください。

「組立・設置完了報告書」の現場貼り付け用紙(4枚目)を養生の上から貼ってください。

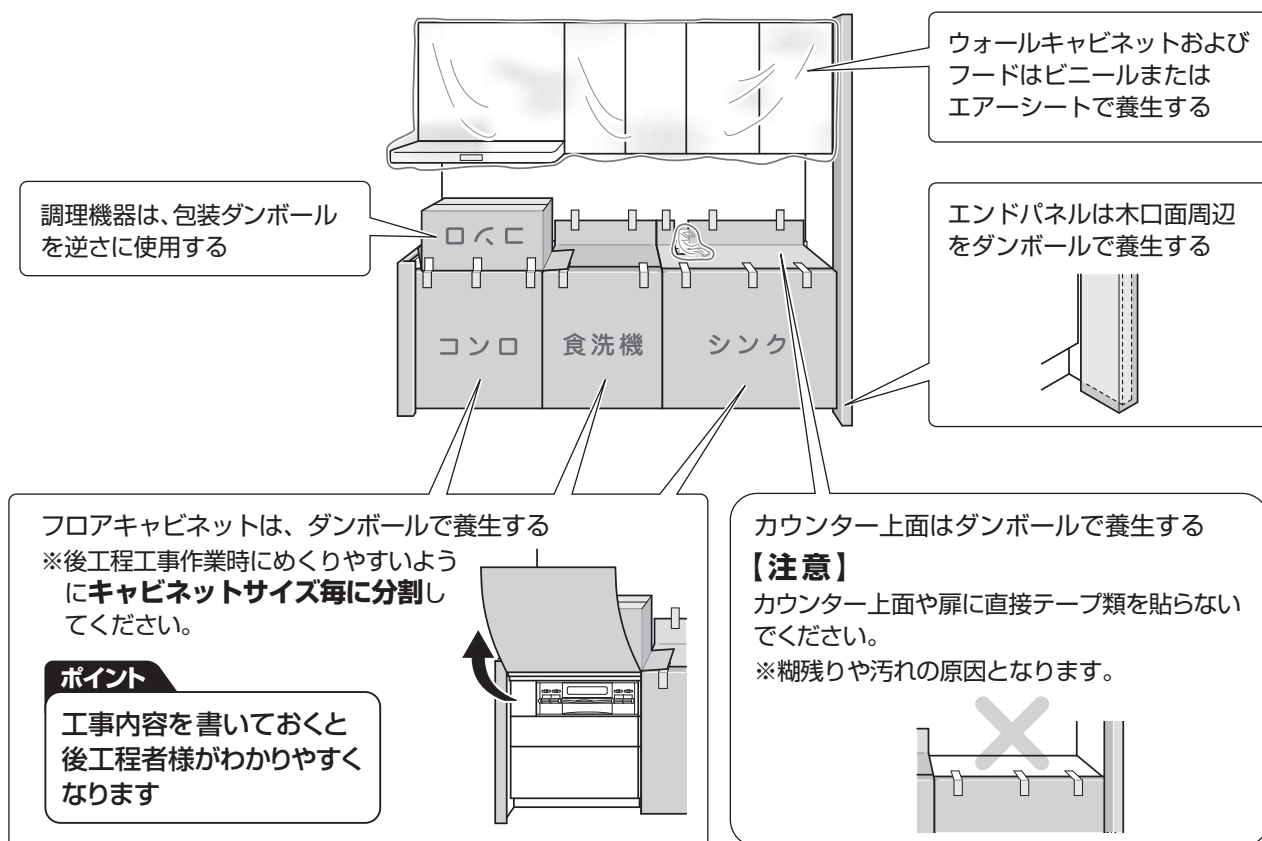
組立・設置業者様控え用紙(2枚目)は持ち帰り保管してください。
発注元提出用紙(3枚目)は発注元へ提出してください。

養生

- キッチン取り付け後の設備、建築工事などで汚されたり、傷つけられたりしないように厳重に養生しておいてください。
- カウンター・シンク面の養生は特に厳重に行ってください。
- 養生材は、包装に使ったダンボールを使うか、現場手配のエアシートを使うなどして保護してください。
- 後仕事(配管工事など)をする方のために組立・設置説明書を養生の上からマスキングテープで貼っておいてください。

【養生ポイント】

キッチン取り付け完了後は清掃をしたあと、下記要領で養生する



※ ステンレス底板の青いシート、表面にシートが付いた面材のフィルム、取っ手のビニール袋などはお客様がご使用になる前に取り外してください。

